

いなべ市教育要覧

令和5年度

いなべ市教育委員会

目 次

教育委員会

| | |
|---------------------------|----|
| いなべ市の概要 | 1 |
| 教育委員会の組織 | 2 |
| いなべ市教育大綱 | 4 |
| いなべ市教育振興ビジョン（令和3年度～令和7年度） | 7 |
| いなべ市人権教育基本方針 | 19 |
| いなべ市学校教育基本方針策定にあたって | 22 |
| いなべ市学校教育基本方針 | 24 |

令和4年度に実施した主な事業

| | |
|-------------|----|
| 教育総務課 | 26 |
| 学校教育課 | 31 |
| 生涯学習課(社会教育) | 43 |
| (社会体育) | 62 |
| 自然学習室 | 69 |

参考資料

| | |
|----------------------|-----|
| 令和5年度 児童及び生徒数、学級数 | 85 |
| 市内小中学校児童及び生徒数、学級数の推移 | 86 |
| 児童及び生徒数10年後推移 | 87 |
| 令和5年度 小中学校教職員数 | 88 |
| 小中学校教諭の男女別構成、年齢別構成 | 89 |
| 奨学金制度、私学助成制度 | 90 |
| 教育研究所資料 | 91 |
| いなべ市小中学校使用教科書一覧 | 96 |
| 放課後児童クラブの状況 | 97 |
| 国、県、市指定文化財一覧表 | 98 |
| 体育施設一覧表 | 100 |

いなべ市の概要

本市は、北部、西部が岐阜県と滋賀県に接し、東部、南部は桑名市と四日市市に接しています。市域は、北に多度山地、西に鈴鹿山脈をいただき、市のほぼ中央を流れる員弁川を挟んで緑豊かな自然と平野に囲まれています。なかでも、鈴鹿国定公園内にある藤原岳は、全国でも屈指の「花の山」として年中登山客が絶えることなく、また、同公園内の竜ヶ岳が育む宇賀溪も、鈴鹿の滝の景勝地として知られています。

本市を構成する北勢地区、員弁地区、大安地区、藤原地区は、古くから地形的にも文化的にも密接に交流し、純農村地帯として栄えてきました。

市名である「いなべ」は、約1,300年前の奈良時代に始まり、当地域に物部氏の支系・猪名部族が居住していたことから、郡名が「猪名部」と名づけられました。その後、「員弁」と表記されるようになりましたが、その歴史の長さが裏づけられています。本地域は、旧藩政時代の一時期を除いて桑名藩に属し、明治4年の廃藩置県により安濃津県（その後三重県と改称）に属しました。

明治22年の町村制の施行を経て、昭和28年の町村合併促進法が施行された当時、本地域は2町12村となりました。その後、合併が繰り返され、昭和30年代から40年代にかけて北勢町、員弁町、大安町、藤原町が誕生しました。

しかし、地方分権の推進や少子高齢化の進展など、社会情勢の急激な変化を見据えつつ、多様化・広域化する住民サービスへの適切な対応を行うためには、さらなる合併によってそのスケールメリットを活かし、自治体としての基盤の強化を図る必要性が高まりました。

その後、平成14年に「法定合併協議会」が設置され、合併に必要な協議を重ねた後、平成15年12月1日に「いなべ市」が誕生しました。

人口動態

(各年4月1日現在、単位：人)

| 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 平成31年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 46,162 | 46,074 | 45,874 | 45,721 | 45,485 | 45,527 | 45,602 | 45,250 | 44,763 | 44,691 |

資料：人口動態調査

教育委員会の組織

令和5年4月1日現在

教 育 長

| 役 職 名 | 氏 名 | 任期（特別職） |
|-------|-------|---------------------------|
| 教 育 長 | 小川 専哉 | 令和3年4月1日就任 令和6年3月31日まで |

教 育 委 員

| 役 職 名 | 氏 名 | 委員の任期 |
|-------------------|--------|----------------------------|
| 委 員 (教育長職務代理者) | 佐藤 貴志 | 令和5年1月30日就任 令和9年1月29日まで |
| 委 員 | 伊藤 典明 | 令和3年1月30日就任 令和7年1月29日まで |
| 委 員 | 長野 源悟 | 令和4年1月30日就任 令和8年1月29日まで |
| 委 員 | 位田 あけみ | 令和2年1月30日就任 令和6年1月29日まで |
| 委 員 | 近藤 由起子 | 令和2年10月1日就任 令和6年9月30日まで |

教育委員会事務局

| | |
|-------|---|
| 教育部長 | |
| 教育総務課 | |
| 事務局 | 課長 事務局職員 会計年度任用職員 教育委員会の会議に関する業務 条例、規則、規程等の審査 教育委員会 施策の企画及び調整業務 学校給食業務 学校その他教育財産の取得及び 管理業務 |
| 施 設 | 大安学校給食センター 藤原学校給食センター：所長（兼務） 会計年度任用職員 （調理業務は業者委託） |

| 学校教育課 | |
|-------|--|
| 事務局 | 課長 事務局職員（指導主事） 会計年度任用職員 教職員の人事管理及び服務規律 学級編成 外国人児童生徒教育 進路指導 児童生徒の健診業務 高校入学奨学、児童生徒の転出入等に関する業務 放課後児童クラブに関する業務 スクールバス運行管理業務 |
| 施設 | 教育研究所：所長 研究所職員 教職員（研修員） 会計年度任用職員 学校教育支援グループ：代表 学校教育推進員 小学校11校 中学校4校 |
| 生涯学習課 | |
| 事務局 | 課長 事務局職員 文化振興、文化財保護、市史編さん、青少年育成、生涯学習に関すること 公民館、文化施設、図書館、郷土資料館等の管理運営業務 社会体育施設の管理業務 生涯スポーツ関係事業の計画、振興奨励及び実施 ツアー・オブ・ジャパンいなバステージ開催に関する業務 |
| 施設 | 大安公民館：施設職員 北勢市民会館：施設職員 員弁コミュニティプラザ：事務局職員 施設職員 藤原文化センター：施設職員 北勢図書館：事務局職員 司書 司書補 施設職員 員弁図書館：司書 司書補 施設職員 大安図書館：司書 司書補 藤原図書館：司書 施設職員 郷土資料館：館長 施設職員 学芸員 |
| 自然学習室 | |
| 事務局 | 室長 事務局職員 会計年度任用職員 藤原岳自然科学館博物展示 屋根のない学校、ふるさとの森、大井田西部公園の活用 希少動植物の保全に関する業務 |
| 施設 | 屋根のない学校（藤原町地内）：会計年度任用職員 藤原岳自然科学館（藤原文化センター内） ：館長 会計年度任用職員 |

いなべ市教育大綱

健やかに育ち個性が輝く人づくり

1 大綱策定の趣旨

平成27年4月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が施行されました。この改正は、教育の政治的中立性、継続性及び安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化を図るとともに、地方に対する国の関与の見直しを図るためのものです。これにより、新「教育長」や「総合教育会議」の設置、首長による教育に関する「大綱」の策定など、教育委員会制度が大きく変わりました。

教育における「大綱」とは、教育の目標や施策の根本的な方針を示すものであり、教育基本法第17条に規定する基本的な方針を参酌して定めるものです。

本市では、令和3年度からスタートする「第2次いなべ市総合計画第2期基本計画」の策定において、基本目標3「健やかに育ち個性が輝く人づくり」として、教育に関する基本的な政策を掲げています。

今回、本市において策定するいなべ市「教育大綱」は、総合教育会議の協議を経て基本的な理念を定めるものです。本市第2次総合計画の基本目標3を「教育大綱」の方針として位置付けます。

2 対象期間

対象期間は、おおむね5年間とします。(令和3年度～令和7年度)

3 いなべ市まちづくりの主な課題

(1) まちの魅力の向上

本市がより住み続けたい、住んでみたい、訪れてみたいまちとなり、定住人口や交流人口の維持、増加を促進していくためには、まちの魅力を向上させ続けていくことが必要です。

そのためには、分野別の課題解決に取り組むとともに、多くの市民が住みよさの理由にあげている、自然に恵まれた環境をはじめ、固有の歴史文化の活用、企業誘致等による就業機会の創出、地域活動の活性化など、様々な視点からまちの魅力づくりを推進することが必要です。

また、「いなべブランド」の取組の強化や、多様な情報媒体を通じた魅力の発信により、市内外に広く本市の魅力を伝えていくことが必要となっています。

(2) 市民が主役のまちづくり

本市では、環境保全、健康増進、福祉、教育などの様々な分野で、主体的な市民活動が行われています。

市民がやりがいと責任をもって主体的に活動する機運が高まりをみせています。今後も、女性の就労支援や地域における活躍の機会の創出、元気で能力の高い高齢者が参加したくなる仕組みづくりなどに取り組み、市民のやりがいや生きがい、幸福感などの向上がともなった市民活動の活性化を推進していく必要があります。

また、全国的に都市部への人材の流出が進むなか、市民が主役のいなべ市独自の魅力的なまちづくりを推進することにより、まちづくりをリードする人材が集い、育まれる環境づくりを積極

的に推進する必要があります。

(3) 少子高齢化への対応

本市でも着実に少子高齢化が進行しており、経済活動や地域活動に大きな影響を与えていくことが予想されます。

まちづくり市民満足度調査では、将来どのようなまちになってほしいかについて、「高齢になっても生きがいを持って暮らせるまち」「医療や福祉が充実したまち」の割合が高くなっています。今後の高齢化対策では、医療や介護など多様な機関の連携によって在宅生活を支える「地域包括ケアシステム」の強化とともに、高齢者による主体的な活動を積極的に支援することが必要です。

また、成人世代は、経済活動を支えるとともに、地域活動の担い手としてまちの活力を生み出す世代でもあるため、働く場の確保や生活環境の整備などが不可欠です。

さらに、次代のまちを担う子どもたちのためには、安心して子どもを産み育てることができる環境の整備や、子どもたちが健やかに成長できる教育環境の充実が必要となっています。

(4) 安心安全の確保

まちづくり市民満足度調査においても防災や防犯対策についての市民ニーズは非常に高く、地震や土砂災害などの自然災害や、事故、犯罪などから市民の命と財産を守るため、各種対策の充実が重要となっています。

日頃からの備えによる地域の防災防犯力の向上や日常の家族や地域のつながりを強め、災害時にも対応できる地域ネットワークを構築するとともに、市民、企業、行政などの連携と協力による総合的な地域防災防犯体制の強化により、子どもから高齢者まで全ての市民が安心して暮らせるまちづくりを進めることが必要です。

また、市民が安心して暮らすためには地域医療や救急医療体制の充実が重要であり、特に小児科医などをはじめとした医師の人材確保が必要です。

(5) 都市拠点の創造とネットワーク化の推進

建設が進められている東海環状自動車道の開通により、多くの人が本市を訪れる可能性が高まっています。経済産業面はもとより、観光や地域間交流、高度医療機関へのアクセス、災害時の交通確保など、様々な効果への期待が高まるなか、効果的な活用策の確立が必要となっています。一方、まちづくり市民満足度調査では、住みにくい理由として「交通事情や交通の便が良くないから」「通勤、通学に不便だから」「買い物に不便だから」が多くなっており、公共交通の利便性の向上についても、市民ニーズに対応した継続的な対策が必要です。

(6) 環境保全への取り組み

本市は緑豊かな自然環境に恵まれたまちです。今後も自然環境を大切にするとともに、様々な生き物や生態系を保護する取り組みを継続的に進めていく必要があります。まちづくり市民満足度調査でも、多くの市民が自然に恵まれた環境を大切だと感じており、今後も土地開発に伴う景観の保全や都市部の緑化など、暮らしと調和した環境保全に取り組む必要があります。

また、地球温暖化対策や循環型社会への移行については、まちづくり市民満足度調査では市民から一定の評価を得ていますが、引き続き市民、事業者、行政が一体となり、それぞれの立場からごみの減量化やリサイクルなど、環境にやさしい地域循環型社会に向けた取組を進める必要があります。

4 いなべ市の教育基本目標（健やかに育ち個性が輝く人づくり）

子どもたちの未来づくりに向け、学校、家庭、地域が一体となって、総合的に子どもや青少年の教育を推進します。また、市民一人ひとりが生涯を通じて学習活動やスポーツ活動、文化芸術活動に取り組める環境を整えます。

学校教育

児童生徒一人ひとりの「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」を育み、主体的に自らの未来を切り拓く力や豊かな人間関係を結ぶ力を最大限に引き出す、きめ細やかな教育を推進します。

また、教職員の資質向上を図るとともに、児童生徒が安心して学習できる学校環境の整備を進めます。さらに、障がいのある児童生徒についても、その個性と能力に応じた適切な教育を進めます。

《施策：「豊かな心・確かな学力・健やかな体」の育成、創意と活気に満ちた特色ある学校づくりの推進、教職員の資質の向上》

生涯学習

地域組織や関係団体との連携のもと、青少年とともに育み、見守る地域づくりを進めます。また、生涯学習を通じ、個人の知識と技能の習得や自己実現を支援するとともに、市民が主体的に生涯学習に取り組み、その学習の成果を社会に還元できる地域づくりをめざします。

《施策：青少年の夢を育む地域づくりの推進、生涯学習の充実》

文化芸術

文化や芸術に市民が触れることができる機会の提供を図るとともに、団体や個人の主体的な文化芸術活動を促進します。また、本市の特徴的な文化財については、共通の財産として、保護や継承を進めます。

《施策：文化芸術活動の充実》

スポーツ

健康増進や生きがいづくり、仲間づくりに寄与するスポーツ活動を促進します。市民のスポーツ活動の活性化に向け、誰もが参加し、楽しむことができる身近なスポーツの機会づくりや、自己の技術等を高める競技スポーツへの支援などを通じ、総合的なスポーツの推進を図ります。

《施策：総合的なスポーツの推進》

自然学習

鈴鹿山脈と養老山地に囲まれたいなべ市には、多くの動植物が生息生育している自然環境があります。この恵まれた自然の魅力や大切さを市内外に発信するとともに、環境に配慮した適切な活用方法を検討し、有効な利用を図ります。

《施策：自然環境の保全・充実》

いなべ市教育振興ビジョン

第1章 基本的事項

1 策定の趣旨

いなべ市が策定する総合計画（平成28年度～平成37年度）の第2期基本計画（令和3年度～令和7年度）に沿って、今後の本市の教育施策の方向性を示す新しい指針として、いなべ市教育振興ビジョンを策定します。

2 位置づけ

教育基本法第17条第2項に基づいて策定する、いなべ市における教育振興の施策に関する基本的な計画

3 計画期間

5年間(令和3年度～令和7年度)

4 対象範囲

- (1) いなべ市内の公立学校教育、社会教育、スポーツに関すること
- (2) 上記(1)と密接な関係を有し、いなべ市教育委員会が、多様な主体との協働・連携のもとに、推進を働きかけることのできる分野

5 ビジョンとしての性格

- (1) 中期的視点からいなべ市の教育施策の方向性を示します。
- (2) いなべ市総合計画と一体となった施策展開を図ります。
- (3) いなべ市の学校・家庭・地域が一体となり、社会全体で教育に取り組むための拠り所とします。

6 進捗状況の点検と見直し

- (1) 計画の実施過程においては、PDCAサイクルの考え方に基づいて、各年度に重点的に取り組んだ事業についてまとめた「いなべ市教育要覧」を作成し、これを公表し、計画の着実な実施に努めます。
- (2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとなっています。この「教育委員会の点検及び評価報告書」を市ホームページに掲載することにより、計画の進捗状況を、市民に報告していきます。
- (3) 「教育委員会の点検及び評価報告書」の結果を、次年度の施策の見直しや改善等に生かすよう努めます。

第2章 基本理念

1 「豊かな心・確かな学力・健やかな体」の育成

「一人ひとりを大切にする教育の推進」「人権教育内容の充実」「確かな学力の向上」「小中一貫教育の推進」「健やかな体の育成」

2 創意と活気に満ちた特色ある学校づくりの推進

「地域に開かれた学校づくりの推進」「学校環境整備の充実」

3 教職員の資質の向上

「教育相談・支援体制の充実」

4 青少年の夢を育む地域づくりの推進

「青少年健全育成の推進」

5 生涯学習の充実

「学びの機会の充実」「生涯学習施設の充実」「図書館の利便性向上」

6 文化芸術活動の充実

「文化財の保存活用支援」

7 総合的なスポーツの推進

「生涯スポーツの充実」「スポーツ施設運営の充実」「スポーツ団体の育成支援」

8 自然環境の保全・充実

「自然環境の保全」「自然学習施設の充実」

第3章 各論

1 「豊かな心・確かな学力・健やかな体」の育成

【現状と課題】

目の前の子どもの姿を出発点とし、「一人ひとりを大切にした授業づくり・集団づくり」と「地域に根ざした教育活動」に、学校と地域が一体となって取り組みを重ねてきました。本市の子どもたちが高い自己肯定感を持ち、学校生活に満足感を持つことができるよう、今後も継続した取り組みが必要です。

近年では、コミュニケーション能力の低下や、それに基づく人間関係の希薄化、個の確立ができていくなどの課題がみられます。

「生き抜く・生き合う・生き拓く」の3つの力を育み、義務教育9年間の学びと育ちをつなぐ教育を推進するため、小中一貫教育による新たな学校づくりを進めています。その際、地域が子育て支援に継続して取り組めるような工夫が必要です。

【基本方針】

- ・小中一貫教育を展開し、質の高い教育を実現することで、「生き抜く力(智)・生き合う力(絆)・生き拓く力(志)」が生まれ、子どもたちの幸せを保証します。
- ・一人ひとりの状況を的確に把握し、その子にあった支援を行うことで、全ての子ども安心して学べる学級、学校づくりを実現します。
- ・心を耕す教育を進めるとともに、人権尊重の意識と実践力を養うことで、人権文化を構築する子どもたちを育みます。

【施策：一人ひとりを大切にする教育の推進】

- ・小中学校における一人ひとりを大切にする教育の充実を図るために、支援が必要な子どもへの支援、教師の専門性の育成、外部（一人ひとりを大切にする教育の推進機関）との連携等を推進します。また、小中学校における特別支援教育等の充実を図ります。

【指 標】

| | | | | |
|-----|----------------------------|--------|------------|--------|
| 指標名 | 教育委員会主催の特別支援・不登校対策の研修会参加者数 | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 1,090人 | 目標 (R7) | 1,700人 |

| | | | | |
|-----|---------------------------|-----|------------|-----|
| 指標名 | 県スクールソーシャルワーカーや関係機関との連携件数 | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 31件 | 目標 (R7) | 50件 |

【施策：人権教育内容の充実】

- ・子どもたちの育ちを人権の視点で捉え、中学校区において保小中の連携を進めるための研修会を実施します。また、東員町とも連携を図り員弁地区人権フォーラムを開催し、小学校・

中学校の児童生徒による、各校の取組や交流、話し合いを通じて、いじめ等の人権問題についての感性を養います。

【指 標】

| | | | | |
|-----|-----------------------------|------|------------|------|
| 指標名 | 人権研修会の参加率（各年）（研修参加教員数/総教員数） | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 100% | 目標 (R7) | 100% |

【施策：確かな学力の向上】

- ・少人数教育や特別支援教育等を充実させるために非常勤講師を配置し、児童生徒の「生き抜く力（豊かな心、確かな学力、健やかな体）」を育成します。
- ・学級満足度調査（QU）を実施し、いじめや不登校の未然防止や、学習意欲の向上、居心地のよい学級集団づくりに活かします。

【指 標】

| | | | | |
|-----|--|-----|------------|-----|
| 指標名 | 学級満足度調査（QU）において、満足群に位置する児童・生徒の割合が60%を超えた学校の割合（小学校） | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 67% | 目標 (R7) | 63% |
| 指標名 | 学級満足度調査（QU）において、満足群に位置する児童・生徒の割合が60%を超えた学校の割合（中学校） | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 72% | 目標 (R7) | 72% |

【施策：小中一貫教育の推進】

- ・各校の地域的な特色を活かしたテーマ（環境、食育、国際理解、福祉など）による学習活動の充実を図ります。
- ・ゲストティーチャー等を活用することで地域との交流促進を図ります。
- ・体験活動、アクティブラーニングによる教育内容の深化を図ります。

【指 標】

| | | | | |
|-----|--|-------|------------|-------|
| 指標名 | 全国学力状況調査において「将来の夢や目標を持っています」と答えている中学3年生の割合 | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 73.0% | 目標 (R7) | 83.0% |

| | | | | |
|-----|-----------------|------|------------|------|
| 指標名 | 小中一貫教育研究発表会参加者数 | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 286人 | 目標 (R7) | 190人 |

【施策：健やかな体の育成】

- ・耳鼻科、眼科、歯科、内科、尿、心電図、ぎょう虫卵検査を実施します。
- ・中学校の生徒に部活動への意欲・関心を高め、体力・技術・精神力の向上を図ります。

【指 標】

| | | | | |
|-----|---------------------------|------|------------|------|
| 指標名 | 学校における検診受診率（検診受診児童数/総児童数） | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 100% | 目標 (R7) | 100% |

2 創意と活気に満ちた特色ある学校づくりの推進

【現状と課題】

地域の実情に応じて、環境や福祉の教育、米づくりや栽培など様々な体験活動を通して、各校が特色ある学校づくりを展開するとともに、家庭や地域との連携、協働関係を強化しながらコミュニティ・スクールの指定や学援隊、学び舎事業の推進等を通じて、地域とともに歩む学校づくりを進めており、今後も継続した取り組みが必要です。

I C T機器の整備による情報教育の推進や国際化の進展、社会の変化等に柔軟に対応できる能力を育成する教育を推進しています。

家庭、地域及び行政、関係機関等、社会全体で学校を支援する体制を整えながら、創意と活気に満ちた特色ある学校づくりを行っていくことが重要です。

義務教育の9年間を見通した小中一貫教育を小学校再編とともに進めてきました。また、小中一貫教育の実施にあたっては、保護者、地域、学校の連携がより深まるよう工夫することが重要です。

学校施設の耐震補強は完了していますが、老朽化した施設があるため、改築や改修が必要です。

大安学校給食センター及び藤原学校給食センターから小学校11校と中学校4校に給食を供給していますが、北勢町内の4小学校は自校式給食となっています。子どもたちの心身の健康と正しい食習慣の定着につながる、安全・安心な学校給食の提供が必要です。

【基本方針】

- ・P T Aや地域、関係機関との連携によって学校への協力支援体制が確立され、子どもたちが安心して学べる教育環境の整備を進めます。
- ・コミュニティ・スクールや学援隊の充実により、創意と活気に満ちた特色ある学校づくりを推進します。
- ・各小中学校の生徒数や学級数等の規模が適正化であり、義務教育9年間を見通した連続性、一貫性のある小中一貫教育を展開します。
- ・児童生徒が安心安全で快適に過ごせる学校環境を確保します。

【施策：地域に開かれた学校づくりの推進】

未来いなべ科、学援隊事業、コミュニティ・スクールの各事業を密接に関連づけ、それぞれの事業での地域との交流及び支援の機会を増やすとともに、支援内容の広がりを図り、特色あ

る学校づくりを推進します。

【指 標】

| | | | | |
|-----|--------------|--------|------------|--------|
| 指標名 | 各校に登録する学援隊員数 | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 1,023人 | 目標 (R7) | 1,500人 |

【施策：学校環境整備の充実】

- ・複式学級を解消し、適正な学級・学校規模を維持します。
- ・学校安全管理及び児童生徒の防犯、防災対策のための物品を配布します。
- ・安全で安心な学校給食を安定的に提供する体制を維持します。
- ・学校施設を適正に維持管理し、児童生徒が安心して過ごせる環境を確保します。
- ・老朽化した学校施設の改築・改修を進め、児童生徒の安全を確保します。

【指 標】

| | | | | |
|-----|--------------------------------------|----|------------|----|
| 指標名 | 建築後30年以上経過しているが改築・改修を行っていない施設を有する学校数 | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 4校 | 目標 (R7) | 2校 |

3 教職員の資質の向上

【現状と課題】

本市では、確かな学力の獲得と豊かな人間性の育成のためには、安心して学べる学習環境がその基盤にあると考え、学級、学校の集団づくりに力を入れており、その実現のために、全教職員が共通理解のもと、一つのチーム（学校力）として取り組みを進めることが大切です。

教育研究所の活動を推進し、研修、研究機能を高めるとともに、研修体制を構築する必要があります。

教職員の研究組織を見直し、市として機能する教育研究組織の再編を行い、質の高い教育実践を行う必要があります。

【基本方針】

- ・市の教育水準を向上が図られるとともに、教育研究所における調査、研究により、今日的な課題や市独自の教育課題の解決につなげます。
- ・教職員の専門的知識、技能が高まり、資質及び指導力の向上を図ります。

【施策：教育相談・支援体制の充実】

研究指定校による研究の推進及び教育研究所の教職員研修の充実により、今日的な教育課題やいなべ市独自の教育課題の調査、研究を進めるとともに、教職員一人ひとりの資質、指導力の向上を図ります。

【指 標】

| | | | | |
|-----|----------------|--------|------------|--------|
| 指標名 | 教育研究所研修講座等参加者数 | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 1,074人 | 目標 (R7) | 1,350人 |

4 青少年の夢を育む地域づくりの推進

【現状と課題】

近年では、集団遊びや仲間との活動経験が乏しい子どもの増加や地域のつながりの希薄化により、青少年を取り巻く環境の悪化が懸念されています。

インターネットやスマートフォン等の情報取得手段の多様化により、問題行動の低年齢化や青少年の規範意識の低下が課題となっています。

両親の共働きなどにより、子どもの居場所づくりの必要性が増加しています。

【基本方針】

- ・家庭、学校、地域、関係機関等の連携により地域の青少年の育成能力を向上させます。
- ・地域の教育力を活かした子どもの居場所づくりを進めるとともに学校などの教育機関との連携により、休日や長期休暇などを利用した感性豊かな子どもの育成を支援します。

【施策：青少年健全育成の推進】

- ・地域や家庭、関係機関と連携を図り、地域力を活かした青少年の育成に取り組みます。
- ・子どもの居場所を確保し、子どもの社会性や協調性、自立性を育み活動機会の創出を図ります。

【指 標】

| | | | | |
|-----|----------------------|--------|------------|--------|
| 指標名 | 青少年育成市民会議諸事業への市民参加者数 | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 4,069人 | 目標 (R7) | 4,200人 |

| | | | | |
|-----|----------------|---------|------------|---------|
| 指標名 | 放課後子ども教室への参加者数 | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 10,538人 | 目標 (R7) | 11,000人 |

5 生涯学習の充実

【現状と課題】

価値観の多様化の進展等により、自らが学習し、教養を深めることのできる多様な環境づくりが求められています。また、市民の学習ニーズに応え、より一層幅広い世代が参加できるよ

うに取り組む必要があります。

インターネットの進展にともない、読書習慣の減少や活字離れが進む中、読書活動の重要性が指摘されています。

旧町ごとに設置されている生涯学習施設等について、適正な維持管理を行っています。

【基本方針】

- ・市民の需要に応じた生涯学習講座が開催され、幅広い世代における市民の学習、教養及び技能習得の機会を効率的に提供します。
- ・施設及び付属施設等の維持管理並びに施設貸出業務を適切に行い、安全で快適な利用を図ります。

【施策：学びの機会の充実】

- ・体系的で効果的な学習機会の提供と拡充を行い、幅広い世代における生涯学習を通じた人づくりを推進します。
- ・小学校の児童を対象とした「屋根のない学校」を開催し、子どもたちが自然と触れ合うことにより、ふるさといなべの自然のすばらしさ、大切さを感じられるようにします。

【指 標】

| | | | | |
|-----|--------------------|------|------------|------|
| 指標名 | 生涯学習講座参加者数 | | | |
| 指標値 | 現状 (H29-R1 平均値) | 603人 | 目標 (R7) | 700人 |

| | | | | |
|-----|---------------|------|------------|------|
| 指標名 | 「屋根のない学校」受講者数 | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 778人 | 目標 (R7) | 850人 |

【施策：生涯学習施設の充実】

生涯学習施設予約管理システム等の情報ネットワークシステムを適切に運用し、利便性の向上により、生涯学習環境の充実を図ります。

【指 標】

| | | | | |
|-----|------------|--------|------------|--------|
| 指標名 | 年間施設利用件数 | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 5,279人 | 目標 (R7) | 5,300人 |

【施策：図書館の利便性向上】

市内図書館の図書資料情報を一元管理して連携を強化するとともに、読書活動の推進と、図書館の利便性向上を図ります。

【指 標】

| | | | | |
|-----|-----------------------|--------|------------|--------|
| 指標名 | インターネットを利用した図書館書籍予約件数 | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 3,910人 | 目標 (R7) | 4,300人 |

| | | | | |
|-----|--------------|---------|------------|---------|
| 指標名 | 図書館の貸出利用登録者数 | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 18,729人 | 目標 (R7) | 19,400人 |

6 文化芸術活動の充実

【現状と課題】

文化や芸術に触れる機会と、自ら活動を行うための情報交換の場や連携の機会が求められています。

市内の文化財や天然記念物等について、環境の変化による滅失や個体の減少が懸念されています。

【基本方針】

- ・市民と行政が連携し、文化の高揚とふるさと意識を醸成することにより、多彩で個性ある文化環境を創造します。
- ・市民、行政、専門家が互いに交流して、天然記念物をはじめとする文化財の適切な保存と活用を行い、文化財への理解と愛着を深めるとともに、次の世代につなげる永続的な保護活動を進めます。

【施策：文化財の保存活用支援】

市民と行政が連携し、文化意識の高揚とふるさと意識の醸成により、多彩で個性ある文化の創造を図ります。

【指 標】

| | | | | |
|-----|--------------|------|------------|--------|
| 指標名 | いなべ市文化協会の会員数 | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 538人 | 目標 (R7) | 1,100人 |

| | | | | |
|-----|-----------------|-----|------------|-----|
| 指標名 | 天然記念物ネコギギの飼育施設数 | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 7施設 | 目標 (R7) | 8施設 |

7 総合的なスポーツの推進

【現状と課題】

市民の安全な利用のために、老朽化した施設の適正な維持管理業務が必要です。

本市では、参加者は子どもから高齢者まで幅広い世代がスポーツ団体やサークルで活動しており、それぞれのニーズにあったスポーツライフが求められています。

競技スポーツから心身のリフレッシュや仲間づくりまで、スポーツやレクリエーション活動の目的や内容が多様化する中で、市民の自主的なスポーツ活動を支援するとともに、誰もが気軽に継続的なスポーツ活動を行うことができる環境づくりが求められています。

地域における公共スポーツ施設や学校体育施設を拠点に、地域住民が主体的に運営や指導に携わり、多様な技術、技能レベル、多様な趣味、目的をもつ誰もがスポーツに気軽に親しむことができる環境の整備が必要です。

【基本方針】

- ・市民誰もがスポーツを楽しむことができるニュースポーツ、軽スポーツや体力づくりを行うための機会や情報交換、連携、協力できる体制を確立します。
- ・アマチュアスポーツ活動を支えるNPOの強化及び自主財源を確保し、市民のスポーツ活動及び競技力向上を支援する体制を確立します。
- ・誰もが利用しやすいスポーツに適した施設の適正な維持、管理に努めます。

【施策：生涯スポーツの充実】

様々な世代が多様なスポーツ活動に参加できるよう、スポーツ、レクリエーション活動の普及・啓発を行います。

【指 標】

| | | | | |
|-----|--------------|--------|------------|--------|
| 指標名 | スポーツイベント参加者数 | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 1,052人 | 目標 (R7) | 1,200人 |

| | | | | |
|-----|------------------------|--------|------------|--------|
| 指標名 | ニュースポーツ、軽スポーツ講習会年間参加者数 | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 1,189人 | 目標 (R7) | 1,450人 |

【施策：スポーツ施設運営の充実】

- ・多様なスポーツ活動の需要に応えることができるよう、環境の整備を行います。
- ・市民が安全にスポーツを楽しめるよう、スポーツ施設を適正に維持管理します。

【指 標】

| | | | | |
|-----|--------------|----------|------------|----------|
| 指標名 | スポーツ施設年間利用者数 | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 227,402人 | 目標 (R7) | 234,000人 |

| | | | | |
|-----|-----------------|------|------------|------|
| 指標名 | スポーツ施設年間利用団体登録数 | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 607人 | 目標 (R7) | 600人 |

【施策：スポーツ団体の育成支援】

指導者の養成とコーディネーターの発掘、養成を行い、スポーツ団体の育成を支援します。

【指 標】

| | | | | |
|-----|---------------|-----|------------|------|
| 指標名 | 全国大会出場選手数（累計） | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 98人 | 目標 (R7) | 100人 |

| | | | | |
|-----|---------------|------|------------|------|
| 指標名 | スポーツ少年団団員登録者数 | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 666人 | 目標 (R7) | 700人 |

8 自然環境の保全・充実

【現状と課題】

藤原文化センター内で、藤原岳を中心とした鈴鹿山系の動植物を展示しています。また、一般市民を対象とする自然教室を開催し、鈴鹿山系を中心に四季折々のいなべの自然を紹介するとともに、毎年、子どもたちの自然科学作品展を実施しています。

ふるさとの森や大井田西部公園などにおいて、多様な植物の植栽や市内に生息する魚類が見られる水槽の設置などを行っています。

自然環境の保全・充実のため、各種取り組みを持続的に行っていくことが必要です。

【基本方針】

- ・市民がふるさとの自然環境を観察できるような環境に整備します。

- ・自然保護や動植物に関する情報を発信し、豊かな自然環境の保全、充実に向けた意識を高めます。
- ・大井田西部地区水環境整備事業（県事業）の施設に適応した植生を整備します。

【施策：自然環境の保全】

ふるさとの森公園の整備や大井田西部公園の適切な管理を行います。また、希少動植物の保全に取り組みます。

【指 標】

| | | | | |
|-----|-----------------------|---------|------------|---------|
| 指標名 | 市ホームページ「いなべ市の自然」アクセス数 | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 11,644人 | 目標 (R7) | 12,500人 |

【施策：自然学習施設の充実】

市民を対象に「藤原岳自然科学館自然教室」を開催し、鈴鹿山系を中心とするいなべの自然を広く紹介するとともに、自然に触れ合う機会を設け、ふるさとへの誇りを喚起します。

【指 標】

| | | | | |
|-----|--------------------|------|------------|------|
| 指標名 | 「藤原岳自然科学館自然教室」参加者数 | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 444人 | 目標 (R7) | 500人 |

| | | | | |
|-----|---------------|--------|------------|---------|
| 指標名 | 藤原岳自然科学館の来館者数 | | | |
| 指標値 | 現状 (R1) | 9,956人 | 目標 (R7) | 12,000人 |

いなべ市人権教育基本方針

はじめに ～ いなべ市人権教育基本方針改訂に当たって ～

人は誰もがみな、自由かつ平等であり、決して奪われることのない様々な権利を有しています。これらの権利は、人類の多年にわたる努力の成果として確立されました。日本国憲法においても、基本的人権は現在及び将来において不当に侵害されることのない権利として宣言され、その保持は国民の不断の努力によらなければならないとされています。

全ての人々の人権が尊重され、平和で希望と活気にあふれ、個人の能力を生涯にわたって十分に発揮できる社会を構築するには、一人ひとりがかけがえのない存在として大切にされるとともに、お互いの違いを認め合う多様性（ダイバーシティ）が推進されなければなりません。

しかしながら、私たちを取り巻く環境は、これまでの同和問題、障がい者、外国人、子ども、女性の人権に関わる問題に加え、近年はインターネット環境を媒体とする人権侵害、高齢者、患者、犯罪被害者、性的マイノリティ、虐待、DV、貧困又は災害を起因とする人権問題、特定の国籍の外国人に対するヘイトスピーチ、職場における各種ハラスメント等人権を取り巻く課題はますます多様化かつ複雑化しています。

国はこのような状況を踏まえ、平成25年に「いじめ防止対策推進法」並びに平成28年に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」及び「部落差別の解消の推進に関する法律」を施行し、人権が尊重される社会環境整備に取り組んでいます。

いなべ市（以下「本市」という。）でも、このような社会情勢を踏まえて、学校、家庭、地域及び行政が一体となり、人権、福祉及び教育が大切にされる町づくりを目指して取組を進めています。今後も、多様化かつ複雑化する人権問題の解決と差別意識の解消により生まれる、全ての人の人権が共存する人権尊重の持続可能な社会の実現を目指して、より一層、学校、家庭、地域及び行政が連携し、学校教育と社会教育を通じて人権尊重の精神を育む教育及び啓発を積極的に推進していくことが重要です。

本市教育委員会においては、平成19年に「いなべ市人権教育基本方針（以下「本方針」という。）」を策定し、平成25年には改訂を行い、人権施策を推進してきましたが、社会や子どもたち等の現状を踏まえ、これまでの取組を継承し発展させるとともに、新たな課題に対応するために、さらに改訂を行います。

なお、本方針については、人権問題をめぐる情勢の変化に対応し、必要に応じて適宜、見直していきます。

平成31年4月1日

1 学校教育における人権教育

小中学校においては、生涯にわたる人格形成の基礎が培われる極めて重要な時期であることを踏まえ、各教科を始め特別活動や道徳、総合的な学習の時間等全ての学校生活を通じて、お互いをかけがえのない人間として尊重する心や個性を認め合う心を育て、あらゆる人権侵害を許さない実践力の育成を図る必要があります。

(1) 目標

全ての子どもたちが、自らの未来を切り拓き、人権文化を創造する主体者として、より良く生きるための力を育む

(2) 基本方針

ア 自尊感情を育み、個性が輝く人権教育の推進

全ての子どもたちの学力及び進路を保障していくために、自らの存在をかけがえのないものとして肯定的に受け止め、個性を発揮しながら将来の夢や希望に向かって前向きに生きることができるよう、自己実現を目指す人権教育を推進します。

イ 多様性を認め合い、豊かにつながる人権教育の推進

様々な人との出会いや交流を通してお互いの違いや良さに気付き、共に生き共に学ぶ喜びを得られる人間関係が育まれるよう、人権教育における仲間づくりを推進します。

ウ 計画的かつ組織的な取組を進め、実践力を育む人権教育の推進

人権に対する正しい理解と認識を深めるとともに一人ひとりの人権感覚を高め、様々な人権問題を解決しようとする実践力を身に付けることができるよう、就学前から義務教育終了までの一貫性のある人権教育カリキュラムを教育計画に適切に位置付け、児童生徒の発達段階に即し各教科等の特質に応じながら、学校の教育活動全体を通じた人権教育を推進します。

エ 学校、家庭、地域及び行政とのつながりを強め、協働による人権教育の推進

人権教育の一層の充実を図るためには、多様な主体が緊密に連携し、それぞれの教育機能を十分に生かしながら、地域ぐるみの人権教育推進体制の確立を推進します。

また、学校、家庭及び地域をつなぐ役割として、各校に設置する学校運営協議会（コミュニティースクール）を中心に、地域住民等の学校運営への参画を推進します。

2 社会教育における人権教育

これまでの施策により、人権問題に対する市民の理解と認識は深まっているものの、人権及びお互いの違いを認め合い、多様性が尊重され、差別や偏見のない社会を構築するためには、市民一人ひとりの積極的な取組が家庭や地域社会において促進されるよう、人権教育を継続していく必要があります。

(1) 目標

人権を現代的な生涯学習テーマの一つと捉え、人権に関する多様な学習機会の提供を通して、人権が市民一人ひとりの身近な問題であるとの認識を広め、お互いを尊重し、より良く生き合うことのできる地域社会の構築を目指します。

(2) 基本方針

ア 多様な学習機会の提供

様々な人権問題や身近な生活課題を取り上げた講演会や講座、映画会等、継続的な学習機会を提供し、市民の学習や取組の広がりや深まりを支援できるよう、事業を進めます。

イ 学習情報の提供

市民の自主的かつ主体的な学習に対して適切な支援ができるように、積極的に学習情報の提供を図り、地域や家庭における人権意識を高めます。

ウ 市民及び地域交流活動の推進

一人ひとりの人権を保障し、お互いの違いを認め合い、尊重し合える豊かな人間関係が築けるように、様々な世代が交流できるような市民及び地域交流活動の推進及び支援

を図ります。

エ 社会教育関係団体の活動支援並びに指導者の育成及び活用

社会教育関係団体に対する講演会、研修会等を通して、自主的かつ主体的な人権学習活動の支援を図るとともに、地域において主体的に人権教育を推進する指導者を育成し、人権に関し幅広い識見のある人材を学習活動等に活用します。

3 指導上の留意点

- (1) 学校や地域の実情に応じ、人権に関する現状を正しく把握して取り組むとともに、教育の中立性の確保に努めます。
- (2) 生涯学習の観点に立って、就学前教育、学校教育、社会教育及び家庭教育の主体性を尊重しながら、相互の連携を図り、総合的かつ効果的な推進に努めます。
- (3) この基本方針の実施に当たっては、「日本国憲法」及び「教育基本法」の精神にのっとり、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」、「三重県人権教育基本方針」、「人権が尊重される三重をつくる条例」、「三重県いじめ防止条例」、「三重県いじめ防止基本方針」、2015年に国連で採択された、誰一人取り残さない世界を目指す「持続可能な開発目標(SDGs)」等を踏まえ、人権教育を全市的な取組体制の中で推進します。

いなべ市学校教育基本方針策定にあたって

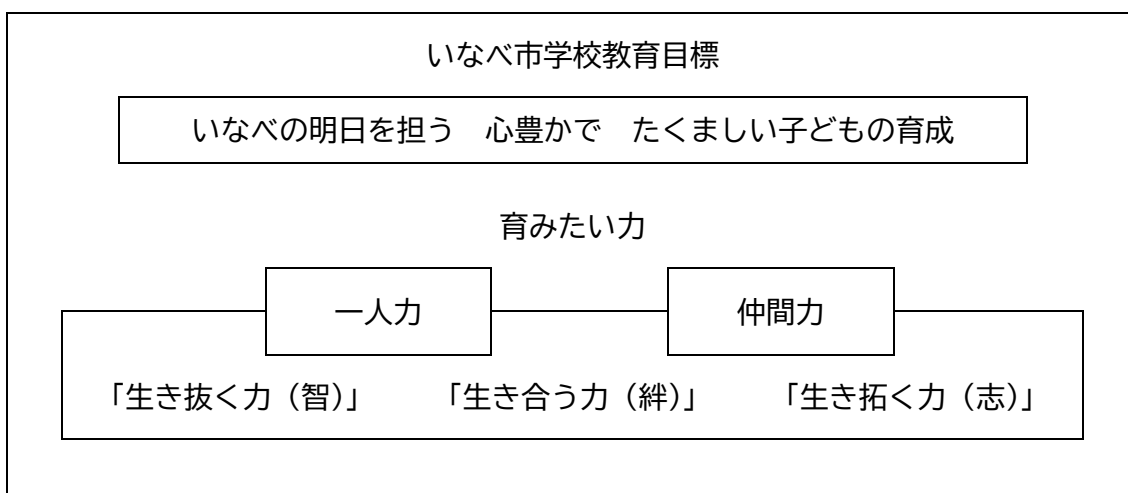
子どもたちの幸せを願って

エージェンシー ウェル ビーイング
 ～ 子どもがAgencyを発揮し Well-being溢れる学校に ～

「自分の夢や目標を持ち、多様な人とつながりながら、心豊かに、たくましく生きていってほしい。」目の前のすべての子どもたちの幸せを願う気持ちは、教育に携わる私たち、保護者、地域住民の共通の思いです。

これから子どもたちは、予測困難な時代を生きていくことになります。様々な変化を前向きに受け止め他者と協働して課題を解決していく力や、幸福な人生と平和で持続可能な共生社会の創り手としての当事者意識を育むことは、今の学校教育に求められている重要な役割です。私たちは、子どもたちの命と健康、幸せな未来に責任を持ち、日々の教育実践に邁進していかねばなりません。

いなべ市は、これまで積み上げてきた「員弁の教育」を土台にしながら、「子どもがAgencyを発揮し Well-being 溢れる学校づくり」を「いなべの教育」として推進していきます。子どもが学校生活の主体者となり、幸せを実感できる教育活動を展開することによって、「智」「絆」「志」を育み、「一人力（自律）」と「仲間力（共生）」をさらに高めていきます。



◆ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を

子どものよさや可能性を最大限に引き出せるよう、一人一人の成長やつまずき、興味や関心を的確に把握し、個に応じた学びを支援していきます。また、多様な感性や考え方に触れて自分の考えを広げ深めることができるよう、対話的な学びを重視します。誰一人取り残さない個別最適な学びと、人や社会とつながる協働的な学びを一体的に充実させることで、子どもたちの Well-being を高め、多様な個人の幸せと社会全体の幸せをめざす意欲と姿勢を育んでいきます。

◆ 子どもたちの意思決定や自己実現を大切にした活動の充実を

子どもは、自ら育ち、より良く生きようとする意志ある存在です。その潜在能力を引き出し、自ら動き出す姿を支え励まし、最後までやり遂げられるように支援し伴走するのが私たちです。自由で自主的で創造的な活動を大切にしている学校風土の中でこそ、子どもたちは自分で決めたことに責任を持ち、仲間と協働して達成する経験を積み重ねていくことができます。子ども主体の授業や学校行事、自治的な学級活動や児童及び生徒会活動のさらなる充実を図り、子どもたち自身が Agency を発揮し、自分たちの学校をより良い学び舎にしていく主体者に育てていきます。

◆ 学校・家庭・地域の協力・連携から共創・共鳴へ

学校や家庭、地域に居場所があり、愛されている実感や心理的安全性が保たれていれば、子どもは安心して挑戦と失敗を積み重ねていくことができます。学校、家庭、地域が、子どもたちの夢と健やかな成長を応援するためにつながり、愛され育つ環境を醸成していきます。さらに、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を充実させ、子どもたちの豊かな学びを創造していきます。

いなべ市では、中学校区内の学校が一体となり、創意と特色ある小中一貫教育の取組を展開しています。これまで築いてきた基盤の上に、目の前の子どもの姿から出発する実践をさらに積み上げていくことで、「学びと育ちのつながり」を深化させていきます。

令和5年4月1日

いなべ市教育委員会事務局
学校教育課

● Agency

自ら考え、主体的に行動し、責任を持って社会変革を実現していく姿勢・意欲。
(文部科学省)

● Well-being

目標に向かって努力する喜びや生きがい、社会的つながりや人生における価値を感じるような良い状態。

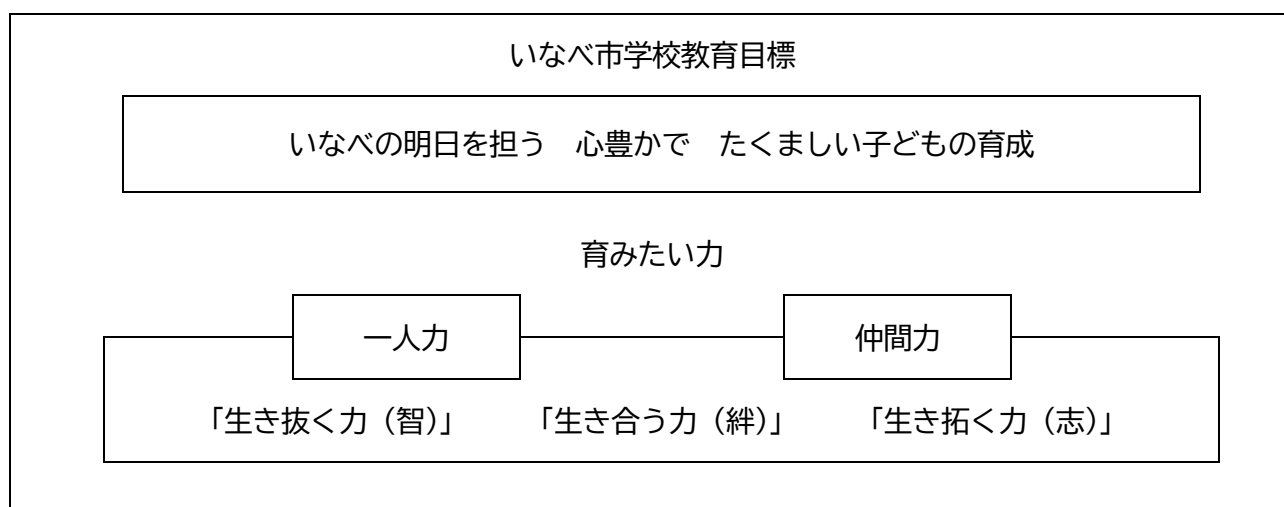
● 員弁の教育

目の前の子どもの姿から出発し、一人ひとりを大切にしたい授業づくり、集団づくりに取り組み、家庭や地域との連携を大切にしたい、地域に根ざした特色ある教育活動。

● いなべの教育

未知の状況にも対応しながら生きていくための「生き抜く力(智)」、多様な人々と共に生きていくための「生き合う力(絆)」、これからの社会の創り手として未来をたくましく生きるための「生き拓く力(志)」を育み、一人力と仲間力を高めることを重点とする小中一貫教育を柱にした教育活動。

いなべ市学校教育基本方針



1. 愛されている実感と心理的安心感を基盤とした「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」の育成

(1) 生き抜く力“智”を育む教育の創造

【目 標】 ● 生きて働く“知識・技能”の習得

● 未知の状況にも対応できる“思考力・判断力・表現力”の育成

● “学びに向かう力・人間性”の育成

【主な取組】 ◇ 学習者主体の授業づくり(「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善)

◇ ICTの効果的な活用

◇ 健康教育の充実

(2) 生き合う力“絆”を育む教育の創造

【目 標】 ● 多様性を認め合い、豊かにつながる心の育成

● 主体的・協働的に、課題解決に向かう力の育成

● よりよい人間関係を築く力の育成

【主な取組】 ◇ 学びの基盤となる集団づくり

◇ 道徳教育の充実

◇ 人権教育の充実

(3) 生き拓く力“志”を育む教育の創造

【目 標】 ● 自己の生き方について考えを深め、目標に向かって挑戦する態度の涵養

● 自分よさや可能性に気づき、前向きに将来を設計する力の育成

● 自らの意志と責任で、より良い選択・決定をする力の育成

【主な取組】 ◇ キャリア教育の推進

◇ ふるさと“いなべ”を愛する教育の推進

◇ 持続可能な開発のための教育の充実

2. 創意と活気に満ちた特色ある学校づくり

(1) 豊かな学びを育む教育環境整備

- ◎ 学力フォローアップ事業
- ◎ 小中一貫教育推進事業
- ◎ 夢・未来プロジェクト 2030 事業（JAL、いなベンチャー）
- ◎ 体力向上プログラム事業（コーディネーショントレーニング）
- ◎ 学校 I C T 活用事業
- ◎ 外国人英語指導事業
- ◎ 学校図書館事業
- ◎ 人権教育推進事業
- ◎ 不登校児童及び生徒対策事業
- ◎ 生徒指導事業（S C、S S W、生徒指導特別指導員の派遣）
- ◎ 児童・生徒特別支援推進事業

(2) 地域とともにある学校づくり

- ◎ 未来いなべ科事業
- ◎ 地域学校協働事業
- ◎ 集落支援員事業（放課後学習支援「いなべ学び舎」）
- ◎ 放課後児童健全育成事業
- ◎ スクールバス運行事業

3. 教職員の資質向上（教職員の研修及び研究の充実）

- ◎ 教育研究所事業
 - ・ 教職員の資質及び指導力向上を図る研修の実施
 - ・ 今日的な教育課題の調査及び研究と支援
 - ・ 教育図書及び視聴覚資料の提供
- ◎ 教育内容充実事業
- ◎ 研究指定校事業（いなべ市教育研究指定校による研究の推進）

令和4年度に実施した主な事業

令和4年度に実施した主な事業

1 教育総務課

(1) 教育委員会の運営

ア 教育委員会審議事項

令和4年第4回定例会

開催日 令和4年4月12日（火）

- 内 容
- ・教育長報告
 - ・教育委員会事務局人事異動について
 - ・専決処分の報告（いなべ市教育委員会文書管理規程の一部改正）
 - ・事業報告及び事業計画

令和4年第5回定例会

開催日 令和4年5月11日（水）

- 内 容
- ・教育長報告
 - ・令和4年度一般会計補正予算案の提出について
 - ・いなべ市就学援助費支給条例施行規則の一部改正について
 - ・専決処分の報告（いなべ市教育委員会後援名義使用に関する取扱要綱の一部改正）
 - ・事業報告及び事業計画

令和4年第6回定例会

開催日 令和4年6月13日（月）

- 内 容
- ・教育長報告
 - ・専決処分の報告（いなべ市家庭学習用モバイルルーター機器貸与要綱の制定）
 - ・事業報告及び事業計画
 - ・教育施設の視察（員弁西小学校）

令和4年第7回定例会

開催日 令和4年7月8日（金）

- 内 容
- ・教育長報告
 - ・専決処分の報告（藤原小学校開校準備協議会設置要綱の廃止）
 - ・事業報告及び事業計画
 - ・教育施設の視察（員弁図書館）（石樽小学校）

令和4年第8回定例会

開催日 令和4年8月8日（月）

- 内 容
- ・教育長報告
 - ・令和3年度いなべ市一般会計歳入歳出決算認定について

- ・令和4年度いなべ市一般会計補正予算案の提出について
- ・いなべ市図書館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
- ・専決処分の報告（いなべ市いじめ防止基本方針の改定）
- ・教育委員会の点検及び評価報告書について
- ・事業報告及び事業計画

令和4年第9回定例会

開催日 令和4年9月12日（月）

- 内 容
- ・教育長報告
 - ・事業報告及び事業計画
 - ・教育施設の視察（藤原岳自然科学館）

令和4年第10回定例会

開催日 令和4年10月12日（水）

- 内 容
- ・教育長報告
 - ・いなべ市立学校の管理に関する規則の一部改正について
 - ・事業報告及び事業計画
 - ・教育施設の視察（藤原小学校、藤原中学校）

令和4年第11回定例会

開催日 令和4年11月9日（水）

- 内 容
- ・教育長報告
 - ・いなべ市文化資料保存施設条例の一部改正について
 - ・令和4年度いなべ市一般会計補正予算案の提出について
 - ・専決処分の報告（教育委員会所管体育施設使用料の減免に関する内規の一部改正）
 - ・事業報告及び事業計画

令和4年第12回定例会

開催日 令和4年12月9日（金）

- 内 容
- ・教育長報告
 - ・いなべ市立学校の管理に関する規則の一部改正について
 - ・事業報告及び事業計画

令和5年第1回定例会

開催日 令和5年1月11日（水）

- 内 容
- ・教育長報告
 - ・事業報告及び事業計画
 - ・教育施設の視察（教育研究所）

令和5年第2回定例会

開催日 令和5年2月10日（金）

- 内 容
- ・教育長報告

- ・いなべ市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ・令和4年度一般会計補正予算案の提出について
- ・令和5年度一般会計予算案の提出について
- ・事業報告及び事業計画

令和5年第1回臨時会

開催日 令和5年2月22日（水）

内 容 ・教職員人事異動の内申について

令和5年第3回定例会

開催日 令和5年3月10日（金）

内 容 ・教育長報告

- ・いなべ市教育委員会が保有する個人情報の保護に関する規則の廃止について
- ・いなべ市図書館条例施行規則の一部改正について
- ・いなべ市学校教育基本方針の策定について
- ・事業報告及び事業計画

イ 教育委員会の点検評価

(ア) 令和3年度の教育委員会事務事業について、3人の外部者による点検評価を7月に実施しました。

(イ) 令和3年度の教育委員会の点検評価報告書をいなべ市議会9月定例会に報告、その後、ホームページで公表しました。

(2) 教育環境

小中学校施設整備事業

令和4年度実施事業は以下のとおりです。

三里小学校駐車場用地整備工事

(請負者) 有限会社光輝

員弁中学校エレベーター設置工事

(請負者) 石川建設株式会社

藤原学校給食センターNo. 1 ボイラー改修工事

(請負者) 有限会社十社電気商会

(3) 学校保健

独立行政法人日本スポーツ振興センター適用の事故災害発生件数・医療費給付額
令和4年度

| 月 | 小学校 | | 中学校 | | 合計 | |
|----|-----|------------|-----|-----------|-----|------------|
| | 件数 | 給付額 (円) | 件数 | 給付額 (円) | 件数 | 給付額 (円) |
| 4 | 20 | 83,600 | 5 | 32,752 | 25 | 116,352 |
| 5 | 25 | 175,244 | 2 | 2,084 | 27 | 177,328 |
| 6 | 18 | 80,608 | 13 | 62,880 | 31 | 143,488 |
| 7 | 41 | 172,276 | 62 | 424,998 | 103 | 597,274 |
| 8 | 15 | 55,144 | 45 | 205,864 | 60 | 261,008 |
| 9 | 10 | 63,456 | 13 | 53,044 | 23 | 116,500 |
| 10 | 26 | 257,696 | 5 | 15,872 | 31 | 273,568 |
| 11 | 20 | 328,208 | 63 | 493,565 | 83 | 821,773 |
| 12 | 44 | 258,876 | 32 | 185,050 | 76 | 443,926 |
| 1 | 14 | 74,372 | 23 | 172,951 | 37 | 247,323 |
| 2 | 18 | 95,360 | 29 | 179,666 | 47 | 275,026 |
| 3 | 26 | 128,407 | 4 | 24,588 | 30 | 152,995 |
| 計 | 277 | 1,773,247 | 296 | 1,853,314 | 573 | 3,626,561 |

(4) 学校給食実施状況

北勢地区：4小学校が自校で調理、1中学校に藤原学校給食センターから調理配送

員弁地区：2小学校、1中学校に大安学校給食センターから調理配送

大安地区：4小学校、1中学校に大安学校給食センターから調理配送

藤原地区：1小学校、1中学校に藤原学校給食センターから調理配送

ア 学校給食センター

| 名 称 | 配 食 校 |
|------------|---|
| 大安学校給食センター | 笠間小学校、三里小学校、石榑小学校、丹生川小学校、大安中学校 員弁西小学校、員弁東小学校、員弁中学校 |
| 藤原学校給食センター | 藤原小学校、藤原中学校 北勢中学校 |

イ 北勢学校給食（自校式）令和4年度実施日数

| | 1学期 | | | 2学期 | | | 3学期 | | | 合 計 | | | 人数 (年度末) | 給食費 (月額) |
|--------|-----|----|----|-----|----|----|-----|----|----|-----|----|-----|-------------|-------------|
| | 米飯 | パン | 計 | 米飯 | パン | 計 | 米飯 | パン | 計 | 米飯 | パン | 計 | | |
| 阿下喜小学校 | 54 | 13 | 67 | 60 | 15 | 75 | 40 | 10 | 50 | 154 | 38 | 192 | 138 | 4,000 |
| 治田小学校 | 55 | 13 | 68 | 60 | 15 | 75 | 40 | 10 | 50 | 155 | 38 | 193 | 118 | 4,000 |
| 十社小学校 | 54 | 13 | 67 | 60 | 15 | 75 | 40 | 9 | 49 | 154 | 37 | 191 | 108 | 4,000 |
| 山郷小学校 | 53 | 13 | 66 | 60 | 15 | 75 | 40 | 10 | 50 | 153 | 38 | 191 | 221 | 4,000 |

ウ 大安学校給食センター（調理業務は業者委託）令和4年度実施日数

| | 1学期 | | | 2学期 | | | 3学期 | | | 合 計 | | | 人数 (年度末) | 給食費 (月額) |
|--------|-----|----|----|-----|----|----|-----|----|----|-----|----|-----|-------------|-------------|
| | 米飯 | パン | 計 | 米飯 | パン | 計 | 米飯 | パン | 計 | 米飯 | パン | 計 | | |
| 笠間小学校 | 55 | 13 | 68 | 59 | 15 | 74 | 40 | 10 | 50 | 154 | 38 | 192 | 180 | 4,000 |
| 三里小学校 | 55 | 13 | 68 | 59 | 15 | 74 | 40 | 10 | 50 | 154 | 38 | 192 | 266 | 4,000 |
| 石樽小学校 | 55 | 13 | 68 | 60 | 15 | 75 | 40 | 9 | 49 | 155 | 37 | 192 | 258 | 4,000 |
| 丹生川小学校 | 55 | 13 | 68 | 59 | 15 | 74 | 40 | 10 | 50 | 154 | 38 | 192 | 108 | 4,000 |
| 員弁西小学校 | 55 | 13 | 68 | 60 | 15 | 75 | 39 | 9 | 48 | 154 | 37 | 191 | 351 | 4,000 |
| 員弁東小学校 | 55 | 13 | 68 | 57 | 15 | 72 | 40 | 10 | 50 | 152 | 38 | 190 | 225 | 4,000 |
| 大安中学校 | 53 | 12 | 65 | 56 | 14 | 70 | 39 | 9 | 48 | 148 | 35 | 183 | 441 | 4,300 |
| 員弁中学校 | 53 | 12 | 65 | 56 | 13 | 69 | 40 | 9 | 49 | 149 | 34 | 183 | 291 | 4,300 |

エ 藤原学校給食センター（調理業務は業者委託）令和4年度実施日数

| | 1学期 | | | 2学期 | | | 3学期 | | | 合 計 | | | 人数 (年度末) | 給食費 (月額) |
|-------|-----|----|----|-----|----|----|-----|----|----|-----|----|-----|-------------|-------------|
| | 米飯 | パン | 計 | 米飯 | パン | 計 | 米飯 | パン | 計 | 米飯 | パン | 計 | | |
| 藤原小学校 | 54 | 12 | 66 | 60 | 15 | 75 | 39 | 9 | 48 | 153 | 36 | 189 | 225 | 4,000 |
| 藤原中学校 | 52 | 13 | 65 | 55 | 15 | 70 | 38 | 8 | 46 | 145 | 36 | 181 | 118 | 4,300 |
| 北勢中学校 | 53 | 12 | 65 | 55 | 15 | 70 | 37 | 8 | 45 | 145 | 35 | 180 | 311 | 4,300 |

2 学校教育課

(1) 不登校児童・生徒対策事業

ア 全体事業概要

平成26年度以降、各校から報告される不登校の児童及び生徒数は横ばい状態であり、継続的な支援と対策を講じてきました。しかし、令和4年度の不登校出現率（1,000人当たりの不登校児童生徒数）は小学校12.0人、中学校29.0人であり、小学校と中学校ともにやや増加している状況です。

このような状況を踏まえて、教育委員会では、いなべ東員教育支援センター（ふれあい教室）の指導員、ふれあいサポーター、スクールソーシャルワーカー、指導主事等で、本市の不登校の児童及び生徒の未然防止、早期発見、早期対応及び社会的自立の具体的な支援について協議を重ね、下記の取組を行いました。

イ 具体的な取組

(ア) 不登校の未然防止、早期発見及び早期対応

- ・ 毎月の理由別長期欠席者調査及び聴き取りによる実態把握と情報の共有
- ・ 学校関係者、スクールカウンセラー、ふれあいサポーター、スクールソーシャルワーカー、指導主事等によるアセスメントに基づいた支援
- ・ 各関係機関と連携したケース会議の開催
- ・ Q-U調査等を活用した児童及び生徒の分析と情報提供
- ・ 「欠席連絡受付票」「欠席シート」「小中連携シート」の提供
- ・ 「不登校の未然防止・早期対応システム」の構築
- ・ 市内小中学校のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、臨床心理士等による交流学習会の開催
- ・ 不登校児童生徒の「指導要録上の出欠の取り扱い」及び「学習評価」に係るガイドラインの策定

(イ) 不登校が長期化している児童及び生徒の社会的自立に向けた支援

- ・ 中学校における校内教育支援センターの設置と運営
- ・ 毎月の理由別長期欠席者調査及び聴き取りによる実態把握と情報の共有
- ・ 学校関係者、スクールカウンセラー、ふれあいサポーター、スクールソーシャルワーカー、指導主事等によるアセスメントに基づいた支援
- ・ 各関係機関と連携した継続的なケース会議の開催
- ・ いなべ東員教育支援センターの機能強化と広報活動
- ・ 各関係機関と連携した教育相談体制の構築
- ・ 小中高への途切れのない情報の共有

(2) ことばの教室事業（通級指導教室事業）

ア 全体事業概要

言語発音障がい、LD等発達障がいによる支援が必要な児童及び生徒のための通級指導教室を4校に設置しています。通級指導教室において、児童及び生徒の特性を分析し、早期の専門的指導を行うことで、児童及び生徒が意欲的に学校生活を送り、学習に取り組めるよう

に支援と指導を進めています。必要に応じて、保護者相談にも応じます。

イ 「通級指導教室の種類」と「通級による指導の対象」

(ア) ことばの教室（石榑小学校）

・・・言語発音障がい

通常学級に在籍し、機能的な構音障がい、吃音等話し言葉におけるリズムの障がい、話す、聞く等言語機能の基礎的事項に発達の遅れがあり、そのほかこれに準ずるもので、通常学級での学習におおむね参加ができ、一部特別な指導を必要とする児童。

（就学前相談利用を経て、就学までに課題の残った園児は、前年度末実施の通級指導教室担当者会にて、通級担当教員に入級見込みの引継ぎを行っています。）

(イ) スマイル教室（山郷小学校）、おひさま教室（石榑小学校）、レインボー教室（北勢中学校）

・・・LD等発達障がい

通常学級に在籍する知的な遅れを伴わない発達障がい等（自閉症スペクトラム、注意欠陥多動性障がい、学習障がい等）、または情緒障がいで、通常学級での学習におおむね参加ができ、一部特別な指導を必要とする児童。

ウ 主な指導内容

| 教室 | 主な指導内容 |
|---------|--|
| ことばの教室 | 構音指導、言語指導、吃音指導 |
| おひさま教室 | 特殊音節の読み書きの練習、ソーシャルスキルトレーニング、感覚統合運動、ビジョントレーニング、読み書きを中心とする学習、学習補充、ワーキングメモリーのトレーニング、視覚認知機能向上のためのトレーニング等 |
| スマイル教室 | |
| レインボー教室 | |

エ 他校からの通級について

通級指導教室を設置している学校では、学校教育法施行規則第141条に基づき、他校に在籍する児童及び生徒の指導が可能となっています。他校通級においては、原則保護者の送迎によるものとしています。

(3) 人権教育推進事業

本市では、「三重県人権教育基本方針」と「いなべ市人権教育基本方針」に基づき、児童及び生徒の発達段階に応じた人権教育を総合的に推進しています。

人権教育は、人権の意義、内容や重要性について理解し、自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、それが様々な場面や状況下での具体的な態度や行動に現れるとともに、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につながるようにするための取組です。

教育委員会では、各校の人権教育カリキュラムを基にした授業実践の推進、人権教育の視点に立った集団づくり、教職員の意識や指導力の向上、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりの取組等の支援を行っています。また、いなべ市教育研究会人権教育部会では、いなべ市人権教育基本方針、子どもの権利条約、人権が尊重される学級づくり等の研修を行いました。性の多様性に対応するための人権教育については、講師を招いた出前授業や教職員研修を行い、理解と認知を深めました。

ア いなべ市中学校区人権教育研修会

都留文科大学特任教授の品田笑子さんによる「Q-Uを活用した学級づくり」、メシエレいなべの黒淵泰博さんによる「いなべの人権同和教育の歴史」、SSWによる「不登校に関する学習会」、教育委員会指導主事による「いなべ市の人権教育基本方針」の研修会を、各中学校区において行いました。

イ 員弁地区人権フォーラム 2022

新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、昨年度に引き続き、いなべ市と員弁郡の各校の代表者が集う員弁地区人権フォーラムを中止しました。

令和4年度も、各校で「校内人権フォーラム」を開催し、全校児童及び生徒で身近な人権問題について話し合い、一人ひとりの人権意識を高め、解決する意欲と実践力を養いました。

(4) 学力フォローアップ事業

ア 学力調査（NRT）

市内小学校2年生から中学校3年生の児童及び生徒を対象に学力調査を実施し、学力の充実（学力保障及び学力向上）に向けた取組を進めました。調査結果をもとに学力の状況を把握及び分析し、指導内容や指導方法についての改善に取り組みました。

| 校種 | 実施学年 | 児童及び生徒数 | 教科 | 実施時期 | 主な取組 |
|-----|------|---------|----------------|------|---|
| 小学校 | 2～6年 | 約1,900人 | 国語 算数 | 4月 | 学力の状況の把握及び分析 指導内容や指導方法の改善 個に応じた支援と指導の充実 |
| 中学校 | 全学年 | 約1,100人 | 国語 数学 英語 | 4月 | |

イ 学級満足度調査（Q-U調査）

市内全ての児童及び生徒を対象にQ-U調査を実施しました。Q-U調査によって学級集団の状況を把握及び分析し、いじめや不登校など問題行動等の未然防止に役立てるとともに、安心して学べる学級集団をつくることによって学力の充実を目指しました。

| 校種 | 実施学年 | 児童及び生徒数 (延べ人数) | 実施時期 | 主な取組 |
|-----|------|-------------------|--------------|-----------------------------------|
| 小学校 | 全学年 | 約4,000人 | (1回目) 5月 | 児童及び生徒の個別支援や学級集団づくりへの活用 研修会の実施 |
| 中学校 | 全学年 | 約2,300人 | (2回目) 11月 | |

ウ 学力向上特別指導員巡回訪問指導

2人の学力向上特別指導員が市内各校を巡回訪問し、研修や指導機会の少ない非常勤講師をはじめ、常勤講師、若手教員、実践に悩みを持つ教員等の授業参観及び指導を行い、指導力向上支援を行いました。また、管理職の相談も随時受けました。

| 期間 | 訪問校数（延べ数） | 指導支援教員数（延べ数） |
|-----|-----------|--------------|
| 1学期 | 51校 | 97人 |
| 2学期 | 66校 | 128人 |
| 3学期 | 36校 | 71人 |
| 計 | 153校 | 296人 |

エ いなべ学び舎事業

支援を必要とする家庭の児童に学習支援や進路相談等を行うことで、学力の向上を目指し、将来的な進路選択の幅を広げ、自立した生活を送れるようにすることを目的として、平成27年8月から実施しています。

学び舎事業では、宿題等の支援を中心に、放課後や夏休みを利用して、退職教職員を中心とした学習支援員（学びのアドバイザー）による指導を行いました。また、学び舎事業の日程・アドバイザー派遣調整等の諸事務を行うコーディネーターを3人配置しました。

令和4年度は、新型コロナウイルス禍ではありましたが、3年ぶりに1年間を通して行うことができました。

【通常時における開催】

| 学校名 | 開催曜日 | 開催回数 | 延べ参加人数 |
|------|------|------|--------|
| 阿下喜小 | 火・金 | 64回 | 4,257人 |
| 三里小 | 木・金 | 54回 | 3,639人 |
| 笠間小 | 木・金 | 53回 | 2,196人 |
| 山郷小 | 木 | 29回 | 1,237人 |
| 員弁東小 | 火 | 24回 | 1,496人 |
| 北勢中 | 月・水 | 22回 | 300人 |
| 大安中 | 月・水 | 20回 | 261人 |

※学びのアドバイザー 63人

(5) 学校ICT活用事業

ア 全体事業概要（電子黒板、タブレットパソコン設置の目的、経緯）

ICT機器の活用により、児童の興味関心を向上させ、知識や理解を向上させる授業を実施することを目的としています。その目的の実現のため、電子黒板やタブレット端末などのICT機器とICT機器活用支援員の配置の両面で教育環境整備を進めています。

平成28年度からICT機器活用パイロット校として十社小学校で効果を検証し、平成30年度より市内全小学校へ展開をしました。また、令和元年度には、中学校特別支援学級にタブレット端末を整備しました。令和2年度国のGIGAスクール構想の実現に向け、中学校及び小学校1～4年生においてタブレット端末の整備を行いました。これにより、小中学生の一人1台環境が整いました。現在、市内小中学校では、ICT機器を用いた授業改善、基礎学力の向上に取り組んでいます。さらに、家庭学習の充実のため、タブレット端末活用の試行を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う非常時（学年閉鎖時等）の学び、不登校や

入院等で学校に登校できない児童生徒の学びの保障として、ICT機器を活用したオンライン学習を行いました。

イ ICT教育推進のための取組

(ア) ICT教育定例会（12回開催）

<参加者>

教育委員会事務局2人（学校教育課・教育研究所）、法務情報課2人、ICT導入業者4人、ICT機器活用支援員派遣会社2人

<主な内容>

ICT支援員サポート報告、ICT活用事例報告、ICT機器ヘルプデスク報告、今後の取組内容

(イ) 情報教育担当者会議

<参加者>

各校情報教育担当者

<開催日及び内容>

第1回 令和4年5月24日 令和4年度ICT活用について

第2回 令和4年11月15日 情報モラル教育研修、デジタルドリル学習研修

第3回 令和5年2月14日 日常的なタブレット活用についての意見交流

(6) 小中一貫推進事業

ア 「いなべ市小中一貫教育実施要領」に基づく取組

平成30年4月1日付けで、「いなべ市小中一貫教育実施要領」を施行しました。

(ア) いなべ市小中一貫教育推進委員会（INB9）

関係機関との連携と調整を図りながら、いなべ市の小中一貫教育を一体的にマネジメントし、検討を進めました。

(イ) 中学校区小中一貫教育推進WG会議

中学校区小中一貫教育ランドデザインをもとに、9年間の学びのつながりを意識した取組を進めています。

(ウ) 保護者及び地域向け小中一貫教育リーフレットの作成

いなべ市が進めている小中一貫教育について、保護者及び地域に伝えるためのリーフレット第8号を作成しました。（令和5年4月配付）

(I) 取組の推進に向けた条件整備

a 各中学校区への「小中一貫教育コーディネーター」の配置

平成28年度から各中学校区に2人配置しています。

b 推進体制の構築

いなべ市小中一貫教育推進委員会、いなべ市教育研究会、いなべ市校長会等小中一貫教育を推進する組織との連携を図っています。

(オ) 小中一貫教育研究発表会の開催

小中一貫教育の研究成果を内外に発表することを目的に、研究発表会を開催しています。

令和3年度・・・藤原中学校区

令和4年度・・・北勢中学校区

(7) 未来いなベ科事業

地域の自然・歴史・文化・産業、また福祉・環境、進路等を教材に、子どもたちが主体的に問題解決学習を行う総合学習を支援しています。

| 学校名 | 主なテーマ | 学校名 | 主なテーマ |
|------|---|------|---|
| 阿下喜小 | 地域と関わり、地域を知り、地域から学び、地域とともに生きる子を育てる | 治田小 | たくましく学び、豊かに生き合い、自分の未来を描く |
| 十社小 | 自然や人と触れ合う中で、自ら考え、課題を持って自ら動き出し、学んだことを自己の生き方に活かそうとする子を育てる | 山郷小 | 【自分発見・人発見・地域発見】 ～地域に学び、人と関わりながら自分自身を発見しよう～ |
| 員弁西小 | 主体的で対話的な活動を高めていく ～子ども同士がつながることで～ | 員弁東小 | 地域とともに「人・もの・自然」 |
| 笠間小 | 自ら学び、考え、主体的に判断し、仲間を大切にする笠間っ子集団をめざして ～地域の人、自然、文化、労働・生産と関わる学習を通して～ | 三里小 | 人・自然・文化と関わる体験学習、課題解決学習を通して、「生き抜く力・生き合う力・生き拓く力」を育む ～地域に学ぶ三里っ子 人との関わりを通して学ぶ三里っ子～ |
| 石樽小 | 石樽の郷土を愛し、誇りに思い、自分たちの地域をより良くしようと積極的に活動する子どもを育成する | 丹生川小 | 子どもが未来に向かって学び続ける力の育成 |
| 藤原小 | 学び合い 磨き合い 未来を生き拓く 子ども | | |
| 北勢中 | 「ふるさと&みらい」 ～確かな学力とキャリア育成～ | 員弁中 | 未来へ向かってたくましく生きる子 ～力ある生徒に 心ある生徒に 夢ある生徒に～ |
| 大安中 | 自ら考え自ら学び、仲間と共に問題を解決する生きる力の育成及び学び方や考え方の習得を通して、地域を大切にしながら伝統を守り引き継ぐ | 藤原中 | 「感性を育む教育の創造」 ～一人ひとりが輝く「WAVE」をめざして～ |

(8) 夢・未来プロジェクト2030事業**ア いなベンチャー**

いなベンチャーとは、プロジェクトアドベンチャーの手法を取り入れた、いなベ市の新しい体験学習プログラムのことです。心がワクワクするグループチャレンジによる課題解決活動の実体験を通して、安心できる学級、支え合う学級、豊かな人間関係づくりに取り組む中

で、一人ひとりの主体的な学びを促進し、困難にチャレンジする気持ち、自己肯定感の向上及び思いやりの心を育むことを目的としています。

令和3年度は、株式会社プロジェクトアドベンチャー日本の難波克己さんを講師に迎え、市内全小中学校でいなベンチャーを実施しました。令和4年度は4校の研究推進校を中心にいなベンチャーの実践研究を進めました。

イ ふるさと応援隊の学校活動

(ア) 事業目的（趣旨）

人、社会、世界、そして未来へとつながる「ホスピタリティ」の精神を日本航空株式会社客室乗務員のキャリアや対人コミュニケーション技術等から学び、次代を担う児童生徒が人としての立居振舞を身につける機会にするとともに、SDGsの取組やキャリア教育を推進します。

(イ) 事業実績（令和4年度）

学校活動の実施内容・・・令和4年度の実施内容結果

| 講座内容 | 校種 | 学校数 | | 授業回数 | 対象学年 | 児童生徒数 |
|-------|-----|-------|-----|------|----------|-------|
| お仕事講座 | 小学校 | 8校 | 11校 | 21回 | 1年～6年 | 532人 |
| | 中学校 | 3校 | | 8回 | 2年 | 357人 |
| マナー講座 | 小学校 | 9校 | 11校 | 31回 | 3・4・5・6年 | 822人 |
| | 中学校 | 2校 | | 8回 | 1・3年 | 254人 |
| 情報伝達 | 小学校 | 9校 | 11校 | 21回 | 3・4・5・6年 | 529人 |
| | 中学校 | 2校 | | 6回 | 1・2・3年 | 229人 |
| SDGs | 小学校 | 4校 | 5校 | 8回 | 3・4・5・6年 | 290人 |
| | 中学校 | 1校 | | 2回 | 1・2年 | 88人 |
| 計 | | のべ38校 | | 105回 | | 3101人 |

(ウ) 事業内容（令和4年度）

- a 年間を通じて、各学校が2回程度の学校活動を実施しました。
- b 学校活動では、客室乗務員が授業をしました。
- c 各学校は、昨年度までの実施状況を踏まえて、下記の4つの講座の中から希望する内容や実施学年・学級を選択して学校活動を設定しました。

講座A : 「客室乗務員お仕事講座」

講座B : 「マナー講座」

講座C : 「情報伝達：プラス受信・発信」

講座D : 「SDGsの取り組み」 ～クイズにチャレンジしながら～

※ 中学校は、上記の各講座にキャリア教育の内容を加えました。

(9) 楽器寄附受入事業

全国に眠る使われなくなった楽器を寄附いただき、楽器が不足しているいなべ市の中学校、高校及び教育機関へ届けます。寄附を希望する人が、専用サイトから申し込むと、連携するマーケットエンタープライズが買取査定を行い、査定額に納得していただけた場合、寄附が成立します。楽器は市へ物納され、寄附者は買取額に応じて、税金控除が受けられます。

一般的なふるさと納税と違って、返礼品はありません。子ども達からお礼の手紙をお送りすることと、コンサートへの招待を行っています。楽器が足りないという、市内の学校の困りごとを解決するだけでなく、自分や家族が大事にしてきた楽器を、想いとともに、次の世代につなげるという新しい寄附文化が醸成されつつあります。

| 申込件数 | 楽器寄附（物納） | 楽器査定額寄附（現金寄附） |
|------|----------------|-----------------|
| 45件 | 3件（査定額69,500円） | 6件（査定額197,000円） |

(10) 地域学校協働事業

令和4年度から、市内全ての学校が「コミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）」となりました。また、地域と学校が同じ目標に向かって協働する活動（地域学校協働活動）を推進していく団体として、学校の教職員、保護者、地域住民とで構成する「地域学校協働委員会」が各学校区に組織されました。これまで「いなべ市学援隊」として各校の活動を支えてくださるボランティアの方々を中心に、保護者や地域住民が地域学校協働活動に参画し、昨年度は次のような取組が行われました。

- 学習支援（ミシンや裁縫の支援、マラソン練習の見守り、宿題の見守り等）
- 体験活動支援（米づくり、野菜づくり、しめ縄づくり等）
- 子ども、保護者、地域住民、教職員の交流行事（祭り）の開催
- 登下校の見守り（街頭指導、付き添い登下校等）
- 学校及び地域の環境整備（窓拭き、樹木の伐採、草刈り等）
- 広報誌の発行（自治会回覧、HPへの掲載等）

これまでも、いなべ市内の学校は、保護者や地域住民の参加・参画による教育活動を展開してきました。今後も各校において、学校運営協議会における熟議を通じた学校教育活動の充実と、地域学校協働委員会が推進する地域学校協働活動の充実を図り、「地域とともにある学校づくり」及び「学校教育を通じた地域づくり」を一体的に推進していきます。

(11) スクールバス運行事業

ア 内容と経過

遠距離地区通学児童及び生徒の通学手段を確保するため、在籍校の5校に対して、業務委託により20台のスクールバスで送迎を行いました。

本事業においては、北勢中学校、十社小学校、員弁西小学校の通学バスについては公益社

団法人いなべ市シルバー人材センターへ、藤原小学校、藤原中学校の通学バスについては三岐鉄道株式会社へ委託しました。

令和4年度の運行にあたっては、大きなトラブルや事故もなく、安全に児童及び生徒を送迎することができました。

イ 運行対象地区（令和4年度実績）

- (ア) 北勢中学校ルート
川原（10人）
- (イ) 十社小学校ルート
川原（16人）、貝野（31人）、小原一色（4人）
- (ウ) 員弁西小学校ルート
市之原（11人）、坂東新田（3人）、平古（9人）
- (エ) 藤原小学校ルート
鼎（21人）、川合（8人）、旧東藤原小（12人）、古田（17人）、坂本（18人）
東藤原①（22人）、東藤原②（24人）、立田（25人）、山口（23人）
白瀬①（10人）、白瀬②（10人）、日内（11人）
- (オ) 藤原中学校ルート
古田（5人）、篠立（5人）

ウ 運行対象日

- (ア) 通常の授業実施日
- (イ) 土曜授業
- (ウ) 長期休業中における学校行事
 - ・全校登校日
 - ・クラブ活動（中学校）
 - ・プール実施日の送迎（小学校）

(12) 外国人英語指導事業

継続的で安定した英語指導、国際理解教育を保障するために、平成19年度からALT（外国語指導助手）派遣、配置業務を民間委託し、事業を実施してきました。平成22年度からは派遣事業とし、授業者とALTの緊密な連携の下、中学校においては基礎基本の徹底と語学力の向上を目指した指導が行われました。

また、小学校においては平成30年度から継続して、専門講師を派遣して、コミュニケーション能力の育成を目指した小学校教員向け授業づくり研修を実施しています。

令和4年度のALTは以下のとおりです。

| ブロック | ALT国籍・性別 | 担当校 |
|------|----------|-----------------------|
| A地区 | フィリピン・女性 | 北勢中、山郷小 |
| B地区 | アメリカ・男性 | 員弁中、員弁西小、員弁東小 |
| C地区 | フィリピン・女性 | 藤原中、藤原小、石樽小 |
| D地区 | アメリカ・男性 | 大安中、三里小 |
| E地区 | アメリカ・男性 | 治田小、十社小、笠間小、丹生川小、阿下喜小 |

(13) 生徒指導事業

国の緊急雇用創出事業として、平成23年度に生徒指導特別指導員を配置しました。平成24年度からは市費で2人（元警察官と元中学校長）を配置しています。市内各校を巡回訪問し、暴力行為等の問題行動の未然防止と再発防止、児童及び生徒への個別指導、安全な学校秩序維持のための支援を行いました。また、交通安全及び不審者対策として、市内のパトロールも実施しました。学校訪問回数は、中学校1校あたり月4～5回、小学校1校あたり月1～2回、市内パトロールは月10～12回でした。

(14) 研究指定校事業

令和4年度は、北勢中学校区、大安中学校区を対象に「小中一貫教育推進のための研究」として、ブロック指定をしました。

研究発表会は、以下の日程で実施しました。

- ・北勢中学校区・・・令和4年11月2日（研究2年次発表）

(15) 学校保健**ア 就学前健診事業**

| 健診・検査 | 対象者 | 実施時期 |
|------------|----------|--------|
| 視力・聴力検査 | 小学校入学予定者 | 9～11月 |
| 問診・内科・歯科健診 | 小学校入学予定者 | 10～11月 |

イ 学校健診事業

| 健診・検査 | 対象者 | 実施時期 |
|------------|---------------|-------|
| 内科健診（結核健診） | 全小学生・全中学生 | 4月～6月 |
| 眼科健診 | 小学1年生 | 4月～6月 |
| 耳鼻科健診 | 小学1年生・中学1年生 | 4月～6月 |
| 歯科健診 | 全小学生・全中学生 | 4月～6月 |
| 尿検査 | 全小学生・全中学生 | 5月～6月 |
| 心電図検査 | 小学1・4年生・中学1年生 | 5月～6月 |

(16) 教育研究所事業

ア 研修事業

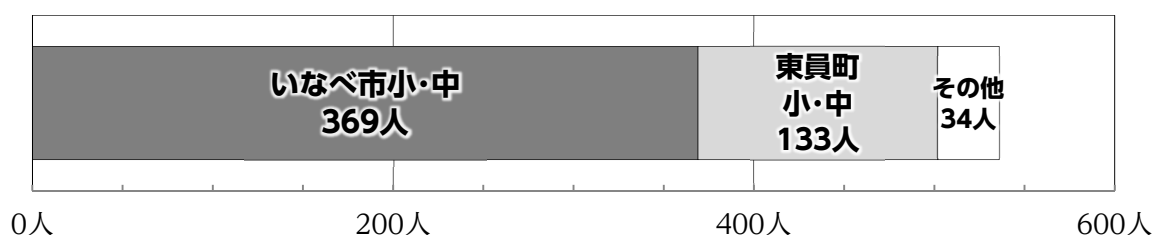
(ア) 研修会の実施回数

年間を通して、下記のように研修講座を開催しました。

| | | |
|----|-------------------|--------------|
| A | スペシャリスト直伝・教科研修 | 5回 |
| B | 一人力 仲間力UP! 教育課題研修 | 7回 |
| C | 夢・未来プロジェクト2030 | 2回 |
| D | 出前研修 | 2回 |
| 合計 | | 16回 の研修講座を実施 |

(イ) 研修会参加状況

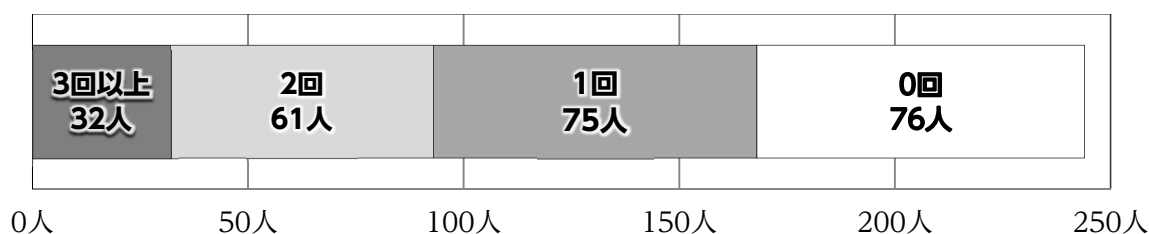
a 参加者数 (A~D 講座)



参加のべ人数は 536 人でした。

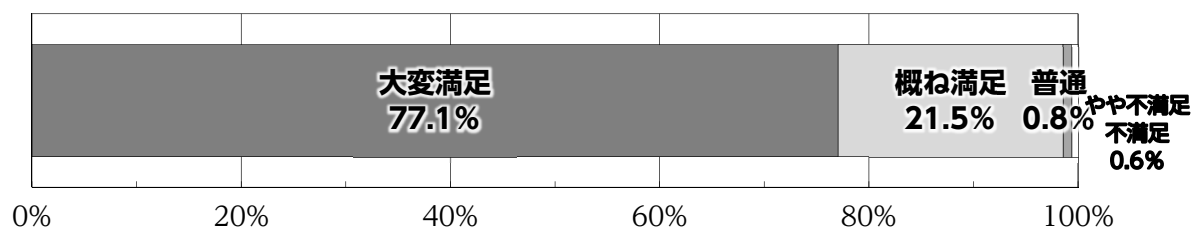
その他・・・他市町教育関係者、いなべ市職員等

b A・B 講座における受講回数分布 (いなべ市教職員)



一昨年度より受講回数3回以上および2回の人数が増加しています。また、0回
の人数が減少しています。一昨年度、新型コロナウイルス対策などから受講を控え
ていた方が、昨年度学びを再開されたと考えられます。

c A・B 講座における参加者の満足度



研修講座毎のアンケート調査では、満足度「大変満足、概ね満足」が約 99% でした。

イ 研究事業

(ア) 教育課題の研究

研究主題 I

国語科における教員の指導観と指導方法について

研究主題 II

今年度のいなベンチャーの取組みと今後の方向性についての一試案

(イ) 調査・統計・資料作成

全国学力・学習状況調査、Q-U調査等、各種調査統計に関する分析を進め、資料作成や提供を行いました。

ウ 教育支援事業

(ア) 教育資料の貸し出し

<研究用書籍>

(冊)

| | いなべ市内 | いなべ市以外 | 計 |
|-----|-------|--------|-----|
| 中学校 | 21 | 0 | 21 |
| 小学校 | 97 | 0 | 97 |
| その他 | 28 | 0 | 28 |
| 合計 | 146 | 0 | 146 |

その他・・・教育委員会等

<視聴覚資料>

(本)

| | いなべ市内 | いなべ市以外 | 計 |
|-----|-------|--------|----|
| 中学校 | 0 | 0 | 0 |
| 小学校 | 10 | 6 | 16 |
| その他 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 10 | 6 | 16 |

(イ) 調査・研究・授業づくり支援

- a 関係機関と連携しながら、効果的な指導方法や指導内容について情報提供を行いました。
- b 校長会、市内小中学校からの研修会内容や講師に関する相談及び依頼に応じて情報提供をおこなったり、研修会を開催したりしました。
- c ICT支援員と連携して校内研修や情報教育部会を開催するとともに、学校からの要請に応じてアプリ追加等の支援を行いました。
- d 書籍については、授業づくり、特別支援教育、教育相談・カウンセリングに関して、DVDについては、平和教材、情報モラルに関する問い合わせが多く、関連のある内容のものを紹介し、貸し出しを行いました。

3 生涯学習課（社会教育）

(1) 社会教育委員の活動

社会教育委員は学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会によって委嘱された委員です。令和4年度は8人の委員が委嘱され、7月と3月開催の社会教育委員定例会では市の社会教育活動について意見をしました。また委員の知見を高めるため、県内の研修会にも参加しています。

(2) 生涯学習講座の開講

ア 日常生活を豊かにするための講座

| 事業名 | 参加者 | 内容 |
|---|--|---|
| 「いなべ市民大学講座」（計8回） 市民が趣味、教養、特技などを高め、生きがいにつながる各講座を一般社団法人いなべ市芸術文化協会と共催で実施しました。 | 【定員】100人 【受講料】500円 【会場】員弁コミュニティプラザ 【開催時間】午後1時30分から午後3時まで 【参加者総数】938人 | |
| 第1回 政治・経済 【演題】コロナ時代に於ける各国財政政策の現状と今後の日本経済 | 91人 | 【講師】藤井 聡 (京都大学大学院教授) 【開催日】6月18日(土) |
| 第2回 文化・歴史 【演題】ニュース力で世界を観る～テレビを活用してデジタル時代を楽しもう～ | 57人 | 【講師】大村 朋子 (ジャーナリスト) 【開催日】6月25日(土) |
| 第3回 生き方・考え方 【演題】落語から学ぶコミュニケーション論～人生、オチがよければすべてよし！～ | 74人 | 【講師】立川 談慶(落語家) 【開催日】7月16日(土) |
| 第4回 政治・経済 【演題】JALホスピタリティ・SDGs | 66人 | 【講師】野澤 まどか (JALふるさと応援隊) 【開催日】7月23日(土) |
| 第5回 政治・経済 【演題】夢と絆 | 209人 | 【講師】蓮池 薫 (新潟産業大学経済学部准教授) 【開催日】1月21日(土) |
| 第6回 趣味・生きがい 【演題】老いてこそデジタルを～シニアがコンピューターを使うと世界が変わる～ | 149人 | 【講師】若宮 正子 (デジタルクリエイター) 【開催日】1月28日(土) |
| 第7回 健康・生活 【演題】悪性リンパ腫〈がん〉ステージ4からの生還 | 181人 | 【講師】笠井 信輔 (フリーアナウンサー) 【開催日】2月18日(土) |
| 第8回 健康・生活 【演題】食品ロスを減らす！冷蔵庫収納と食品保存 | 111人 | 【講師】島本 美由紀 (料理研究家・食エコ研究所代表理事) 【開催日】2月25日(土) |

| 事業名 | 参加者 | 内容 |
|---|-----|--|
| 「歴史と文化の講座」（計2回） 歴史・文化の分野について、より専門性のある内容の講座を実施しました。 | | 【受講料】500円 【参加者総数】37人 【開催時間】午後1時30分から午後3時まで |
| 第1回 【演題】 荘園の歴史といなべ ～伊勢神宮の御厨の広がり～ | 21人 | 【講師】伊藤 俊一（名城大学人間学部教授） 【開催日】10月23日（日） 【場 所】大安公民館 |
| 第2回 【演題】 秦の始皇帝と兵馬俑の謎～中国美術史入門～ | 16人 | 【講師】藤田 伸也 （三重大学人文学部教授・学部長） 【開催日】10月29日（土） 【場 所】藤原文化センター |

イ 家庭教育を支援する事業

親子のふれあいや本に親しむことを目的に、次の事業を実施しました。

| 事業名 | 参加者 | 内容 |
|------------------------------|------|---|
| 子どもの読書週間イベント | 164人 | 【内 容】読み聞かせ、絵本の配布など 【開催日】4月23日（土） 【場 所】大安公民館外 |
| 子育て支援センター絵本講座 | 43人 | 【内 容】絵本の紹介 【開催日】8月2日（火）、8月30日（火）、 3月16日（木） 【場 所】支援センター（石樽、員弁、笠間） |
| 図書館で健康づくり夏休み特別企画オリジナル聴診器を作ろう | 55人 | 【内 容】聴診器づくり、健康診断 【開催日】8月20日（土） 【場 所】員弁図書館 |
| 図書館まつり～おやこブックフェスティバル～ | 356人 | 【内 容】読み聞かせ、リコーダー演奏など 【開催日】10月30日（日） 【場 所】藤原文化センター外 |



子どもの読書週間イベント



図書館で健康づくり夏休み特別企画

(3) 文化芸術活動促進に対する支援

ア 一般社団法人 いなべ市芸術文化協会への事業委託

一般社団法人 いなべ市芸術文化協会に文化芸術事業の委託をしました。このことによって、市民の文化芸術活動を市民自らが互いにサポートし、より自主的な取り組みが図られ、市民文化の裾野の広がりが期待されます。

| 事業名 | 参加者 | 内容 |
|-----------------|--|--|
| いなべ市民祭 展示発表会 | 作品出展451人 来場者1,050人 | <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品展示 絵画、書道、文芸、写真、陶芸、伝統工芸、手工芸など いなべ総合学園高等学校陶芸専攻者作品 放課後子ども教室「ほくせい」作品 ・体験教室 焼き絵 <p>【開催日】 10月8日(土)～10月10日(月) 10月15日(土)～10月17日(月)</p> <p>【場 所】 北勢市民会館</p> |
| いなべ市民祭 舞台発表会 | 秋の部 出演者 211人 来場者 603人 春の部 出演者 193人 来場者 700人 | <p>【内容】 舞踊、民謡、三味線、フラダンス、大正琴、箏曲など</p> <p>【開催日】 11月27日(日) 3月5日(日)</p> <p>【場 所】 北勢市民会館</p> |



市民祭展示発表会

イ 文化芸術の鑑賞機会の充実

優れた舞台芸術や人文に関する講演、造形美術に関する鑑賞事業を一般社団法人いなべ市芸術文化協会との協働で自主文化事業として実施しました。

| 事業名 | 参加者 | 内容 |
|--|-------|-------------------------------------|
| しげちゃん一座 絵本ライブショー | 436人 | 【開催日】7月31日（日） 【場所】北勢市民会館さくらホール |
| いなべ市親善大使 川瀬賢太郎プロデュース 名フィルのオーケストラ傑作選 in いなべ Vol.12～ 声で奏でるハーモニー～ | 372人 | 【開催日】9月23日（金・祝） 【場所】北勢市民会館さくらホール |
| 宝くじ文化公演 EBIKEN THE ENTERTAINMENT | 382人 | 【開催日】10月1日（土） 【場所】北勢市民会館さくらホール |
| おかあさんといっしょ ファンターネ！とあそぼ | 1209人 | 【開催日】11月3日（木・祝） 【場所】北勢市民会館さくらホール |
| 北海道歌旅座 ザ・コンサート 2022 | 170人 | 【開催日】11月13日（日） 【場所】北勢市民会館さくらホール |
| かるクラ・ウィンドオーケストラコンサート in いなべ ～いなべに響く～ | 235人 | 【開催日】12月17日（土） 【場所】北勢市民会館さくらホール |
| いなべ市ワンコインコンサート Full Bras Five&東員アンサンブルオーケストラ ニューイヤーコンサート | 182人 | 【開催日】1月15日（日） 【場所】北勢市民会館さくらホール |

ウ その他文化振興事業

| 事業名 | 参加者 | 内容 |
|---------------------------------|------|------------------------------------|
| さくらホールでスタインウェイピアノを弾こう | 4組 | 【開催日】12月10日（土） 【場所】北勢市民会館さくらホール |
| いなべ市民オペラ制作 ・公開イベントオペラとふれあおう！ | 372人 | 【開催日】3月26日（日） 【場所】いなべ市役所ビックコア1階 |

(4) 文化財「保存と活用」

市内に存する文化財の保存と有効活用への支援を行い、本市の歴史的及び文化的財産の伝承を市民と協働で行うとともに、文化財が開発行為や制度の不知によって滅失又は損傷されることのないように適正な保護のための普及啓発に努めました。

ア 文化財保護審議会

文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議する文化財保護審議会を置いています。第1回は7月13日に、第2回は3月24日に開催し、令和4年度文化財保護事業について報告し、指導助言を得ました。

会 長 藤井 樹巳 氏
副会長 瀧川 和也 氏
委 員 伊藤 和孝 氏
委 員 蒔田 英彦 氏
委 員 民上眞由美 氏

イ 国指定天然記念物の保護

(ア) 員弁川水系天然記念物ネコギギ保護増殖事業

a 事業概要

ネコギギは、ナマズ目に属する日本固有の純淡水魚で、伊勢湾と三河湾に注ぐ一部の河川にしか生息しない夜行性の魚です。国内では三重県、愛知県、岐阜県にしか生息しないという地理的に特異な分布を示し、遺伝的な希少性も高いことから1977年（昭和52年）に国の天然記念物に指定されています。

員弁川水系のネコギギは、個体群が激減し危機的な状況であるため、平成18年度から国及び県の補助を受けて個体の保護増殖事業に取り組んでいます。

一方、十社小学校が総合学習で取り組む川の環境学習をテーマとした学習では、ネコギギの生態を学ぶ授業を取り入れたり、十社小学校親師会が主体となってネコギギの勉強会などを開催したりして地域ぐるみの活動が進められました。

b 体制

本事業は、文化庁の指導助言を受けるとともに、各分野の専門家によって構成する員弁川水系ネコギギ保護増殖指導委員会の指導のもと平成18年度から継続して実施してきました。

員弁川水系ネコギギ保護増殖指導委員会

| | | |
|-----|----------------|--------|
| 委員長 | 岐阜協立大学 | 森 誠一 氏 |
| 委 員 | 京都大学 | 渡辺勝敏 氏 |
| 委 員 | 名古屋大学 | 田代 喬 氏 |
| 委 員 | 近鉄レジャーサービス株式会社 | 里中知之 氏 |

飼育増殖機関 滋賀県立 琵琶湖博物館（滋賀県）
 株式会社江ノ島マリンコーポレーション
 世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ（岐阜県）
 危険分散飼育及び増殖 三重県立水産高等学校（志摩市）

c 結果

員弁川水系で採捕したネコギギを創始個体として、いなべ市直営の増殖施設のほか、琵琶湖博物館、県立水産高等学校等で、約600個体のネコギギを飼育しています。地域活性化起業人として里中知之氏が飼育繁殖に携わり、人為下での繁殖が成功しました。また、平成28年から試験放流を開始しており、近年では毎年放流したネコギギの河川繁殖を確認しています。

一方、ネコギギの保護増殖とあわせて、三重県桑名建設事務所、市建設課及び農林課等の建設部局等が行う河川工事では、施工時にネコギギの調査保護や工事によって影響を受ける魚類の調査保護及び生息実態調査並びに適切な工法の協議検討を実施しました。

ウ 文化財の保護事業

(ア) 市内に所在する文化財の普及啓発事業

| テーマ | 概要 |
|----------------|---|
| ネコギギ（淡水魚）保護の取組 | 国指定天然記念物ネコギギ保護増殖事業の取組を、写真などを用いて紹介しました。 6月22日 十社小学校 全校児童 ネコギギ学習会 10月29日～11月27日 特別企画展「ネコギギといなべの川にすむ魚たち」 11月16日 三重県立水産高等学校 2年生 ネコギギ飼育協定に係る保護事業説明 |
| 消防訓練の取組 | 8月26日にネコギギ飼育室で消防訓練を行いました。 |



市立十社小学校



県立水産高等学校



特別企画展
「ネコギギといなべの川にすむ魚たち」

(1) 指定文化財等保存活用支援事業

| 指定区分 | 文化財等の名称 | 事業内容 | 補助金交付 | |
|------|---------|-------------|-------|----|
| | | | 県費 | 市費 |
| 市 | 坂本曳山囃子 | 無形民俗文化財保存伝承 | | ○ |
| 市 | 八幡祭 | 無形民俗文化財保存伝承 | | ○ |
| 市 | 大榎の木 | 天然記念物管理保存 | | ○ |

令和4年度は新型コロナウイルスの影響もあり、いくつかの祭礼が延期、中止となりました。補助金の交付数は3件となりました。

(り) 市内に存する遺跡情報の公開と保護協議

土木工事などによる遺跡の破壊や滅失を防ぐため、埋蔵文化財包蔵地の所在、範囲、性格等を明らかにし、開発事業と埋蔵文化財保護の円滑な調整を図っています。

一方、市内遺跡地図を関係機関に配布するとともに、市ホームページの地図情報では市内の最新遺跡情報も公開しました。また、周知の埋蔵文化財包蔵地内（遺跡内）で土木工事等を行う場合は、文化財保護法の規定によって、施工者（原因者）の届出に基づき保護協議を行いました。

(I) 土木工事等に係る埋蔵文化財の保護

周知の埋蔵文化財包蔵地内での土木工事等実施に伴う届出に基づき、事前の保護協議の結果、現状を保存できないものについては、三重県教育委員会からの指示に基づき、記録保存のための発掘調査等の実施、市埋蔵文化財専門職員による工事立会い、又は遺跡への負荷を最小限度に留めるための慎重施工を指示しました。

〔確認調査〕

| 遺跡名 | 所在地 | 調査原因 |
|------|--------|------|
| 芽指遺跡 | 員弁町下笠田 | 共同住宅 |

〔工事立会〕

| 遺跡名 | 所在地 | 調査原因 |
|-------|---------|-------|
| 二俣遺跡 | 北勢町阿下喜 | 個人住宅 |
| 二俣遺跡 | 北勢町阿下喜 | 個人住宅 |
| 垣内遺跡 | 北勢町垣内 | 電柱建設 |
| 垣内遺跡 | 北勢町垣内 | 電柱建設 |
| 其原遺跡 | 北勢町其原 | 個人住宅 |
| 其原遺跡 | 北勢町其原 | 電柱 |
| 縄手遺跡 | 北勢町鼓 | 携帯基地局 |
| 中山遺跡 | 北勢町中山 | 個人住宅 |
| 西条遺跡 | 北勢町東貝野 | 携帯基地局 |
| 芽指遺跡 | 員弁町笠田新田 | 個人住宅 |
| 暮明前遺跡 | 員弁町暮明 | 個人住宅 |
| 暮明前遺跡 | 員弁町暮明 | 個人住宅 |
| 下笠田城跡 | 員弁町下笠田 | 電柱 |
| 神明遺跡 | 大安町石樽下 | 宅地造成 |
| 神明遺跡 | 大安町石樽下 | 個人住宅 |
| 御畑遺跡 | 大安町宇賀 | 電柱 |
| 下松崎遺跡 | 大安町平塚 | 個人住宅 |

〔慎重工事〕

| 遺跡名 | 所在地 | 調査原因 |
|-------|--------|----------|
| 西別当遺跡 | 北勢町阿下喜 | 水素ステーション |
| 其原遺跡 | 北勢町其原 | 個人住宅 |
| 東村遺跡 | 北勢町東村 | 個人住宅 |
| 宮山遺跡 | 大安町片樋 | 工場造成 |

〔保護協議継続中〕

| 遺跡名 | 所在地 | 協議原因 |
|--------|---------|--------|
| 丹生川上城跡 | 大安町丹生川上 | 土砂埋め立て |

(オ) 郷土資料調査研究事業

近年、仏像の盗難が発生しています。三重県内においても事例があるため、今年度も引き続き市内の仏像管理状況の確認と盗難防止の注意喚起を行っています。今年度も藤原町内の寺院への呼びかけを行いました。また、国登録有形文化財の候補物件として北勢町阿下喜内の建築物の調査を行いました。

(カ) 地域文化財総合活用推進事業

令和3年度から文化庁の補助金を受け、市内文化財の活用事業を実施しています。事業では地域の文化財を対象に、フィールドワークを通じてガイドの育成を行いました。また、文化財の紹介映像やパンフレットの作成も行いました。今年度で事業は終了となります。来年度はいなべ市による効果検証の事業を行います。

| 事業名 | 実施団体 | 事業内容 |
|----------------|---------|----------------------------|
| いなべ市文化遺産活用推進事業 | 立田地区委員会 | 立田文化遺産ガイド等育成 立田文化遺産普及啓発 |

(キ) 文化資料保存施設事業

旧中里小学校への移転作業のため、9月1日から休館となりました。休館中は移転先への収蔵品の選別などを行いました。収蔵品等の移設は2月中に実施し、その後は4月のリニューアルオープンに向け新たな郷土資料館で展示作業を行いました。

また、休館中でしたが、市内小学校の社会見学の受け入れを行いました。

[社会見学一覧]

| 月 日 | 学 校 | 人 数 |
|------|--------|---------------|
| 2月2日 | 笠間小学校 | 3年生児童28人 教師3人 |
| 2月2日 | 員弁西小学校 | 3年生児童54人 教師3人 |
| 2月3日 | 阿下喜小学校 | 3年生児童28人 教師2人 |

(ク) 郷土資料館移転事業

現在の郷土資料館の老朽化により、旧中里小学校への移転事業を始めました。令和3年度に改修工事の設計、施工の発注、契約を行い、令和4年度に校舎と駐車場の改修工事を行いました。また、2月には旧郷土資料館からの収蔵品移転作業を行いました。

| 業務名 | 契約金額 | 契約業者 |
|-----------------|-------------|--------------|
| 郷土資料館移転工事 | 57,547,000円 | 株式会社伊藤工務店 |
| 旧中里小学校駐車場整備建設工事 | 1,986,000円 | 有限会社ハヤシ水道設備 |
| 郷土資料館収蔵品等移設業務 | 1,114,000円 | 日本通運株式会社三重支店 |

(5) 青少年健全育成の推進

ア 青少年育成市民会議活動との連携充実

家庭、学校、関係機関の連携によって地域社会の育成能力を引き出し、青少年の健全育成を図るため、有害環境浄化活動、非行防止パトロール、未成年者喫煙防止キャンペーン、青少年健全育成事業及び青少年育成活動実践者の育成などをいなべ市青少年育成市民会議に業務委託して実施しました。

| いなべ市青少年育成市民会議 本部事業 | |
|---------------------------|----------------|
| 子どもの安全・安心を考える集い | チャレンジスポーツ |
| ふれあう心のメッセージ募集 | 秋の歩こう会 |
| ジュニア学習会(放課後子ども教室共催) | 元旦歩け歩け大会 |
| 夏祭り(いなべ市子ども会連合会共催) | ジュニア学習会 |
| わくわく子育ての集い(いなべ市子ども会連合会共催) | 子ども将棋大会 |
| 折り紙と人形劇の集い | 自然体験学習 |
| いなべ市青少年育成市民会議 支部事業・地区事業 | |
| 講演会 | 紫陽花の挿し穂贈呈 |
| 藤原町クリーン作戦 | 親子スポーツ大会 |
| たこづくり | 巡回指導(夏季、冬季、春季) |
| 花いっぱい運動(延期) | |

ふれあう心のメッセージ

テーマ 家族
 応募作品 3,190点
 入賞作品 19点
 表彰式 12月4日



(ふれあう心のメッセージ表彰式)

イ こどもをまもるいえ設置運動

「こどもをまもるいえ」は、子どもたちが安全に登下校できるように地域の協力によって設置され、子どもたちを犯罪から守り、被害を最小限に止めようとするものです。また、住民同士の連帯意識や相互扶助機能が低下し、地域犯罪抑止効果が弱体化しないよう、警察、地域住民、学校関係者、団体及びボランティア等が相互に連携し実施しています。令和5年3月現在、延べ905か所の家庭や事業所などに設置されています。

「こどもをまもるいえ」設置数 905か所

- a 北勢中学校区設置数 239か所(阿下喜60、治田65、十社56、山郷58)
- b 員弁中学校区設置数 270か所(員弁西111、員弁東159)
- c 大安中学校区設置数 147か所(笠間43、三里42、石樽34、丹生川28)
- d 藤原中学校区設置数 249か所(西藤原30、東藤原65、白瀬68、中里59、立田27)

ウ 子どもたちによる主体的活動への支援

(ア) 放課後子ども教室

子どもたちや子どもの活動に関わる人々がいきいきと輝くために地域の人々による地域の学校づくりを支援する組織として、こどもゆめ教室、放課後子ども教室ほくせい及び西っ子夢くらぶ（員弁西小学校放課後子ども教室）があります。

安全、安心な子どもの活動拠点として居場所を設け、文化芸術活動や地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会のなかで心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めました。

[令和4年度放課後子ども教室参加者延べ人数]

| 教室名 | レギュラースクール | オープンスクール | 計 |
|--------------|-----------|----------|---------|
| こどもゆめ教室 | 2,485人 | 1,049人 | 3,534人 |
| 放課後子ども教室ほくせい | 4,284人 | 1,638人 | 5,922人 |
| 西っ子夢くらぶ | 1,155人 | － | 1,155人 |
| 合計 | 7,924人 | 2,687人 | 10,611人 |



(こどもゆめ教室フェスティバル)



(ふわもこくらぶ)

(イ) 市子ども会連合会

子ども会は、子どもたちの交流の場であり、子どもたちの保護者の交流の場となっています。市子ども会連合会では、地区間で子どもたちの交流を深め、活動を通して子どもの心身のよりよい発達を促すことをねらいとして活動を行っています。今年度は、スポーツ大会や講演会などの活動を支援しました。

[主な活動]

| | |
|-------|--------|
| 育成会長会 | スポーツ大会 |
| 夏まつり | 子育て講演会 |



(スポーツ大会)

(6) 二十歳のつどい

令和4年4月の民法改正で成人年齢が18歳に引き下げられました。いなべ市では20歳を対象に「いなべ市二十歳のつどい」と名称を変更し開催しました。「二十歳のつどい実行委員会」が4中学校区単位で構成され、企画、運営及び司会進行等二十歳のつどいの一切を自主運営しました。



[令和5年二十歳のつどい 令和5年1月7日(土)]

| 区 分 | 対象者数(人) | | | 式典出席者数(人) | | | 出席率 | | |
|----------|---------|-----|-----|-----------|-----|-----|---------|--------|--------|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 男女計 |
| 大安中学校区会場 | 112 | 85 | 197 | 61 | 52 | 113 | 54.46% | 61.18% | 57.36% |
| 員弁中学校区会場 | 104 | 38 | 142 | 43 | 37 | 80 | 41.35% | 97.37% | 56.34% |
| 北勢中学校区会場 | 69 | 71 | 140 | 52 | 54 | 106 | 75.36% | 76.06% | 75.71% |
| 藤原中学校区会場 | 26 | 32 | 58 | 27 | 30 | 57 | 103.85% | 93.75% | 98.28% |
| 合 計 | 311 | 226 | 537 | 183 | 173 | 356 | 58.84% | 76.55% | 66.29% |

(7) 図書館の活動

『わたしの本棚、いなべの図書館』

市民への広報、啓発事業として4月に子どもの読書週間イベント、10月には「図書館まつり～おやこブックフェスティバル～」を開催しました。

図書館定例事業としては、図書館ボランティア及び職員による館内での絵本の読み聞かせや参加型イベントなどを実施しました。

その他、員弁図書館移転オープン1周年記念イベントや、くらしの保健室との共催事業「図書館で健康づくり」などを行いました。図書館の複本等不用な図書及び雑誌を市民へ提供するリユース会を4年ぶりに開催し、約2,339点を市民へ提供しました。

図書館システムでは、市内図書館のネットワーク化、インターネットによる蔵書検索によって利便性がさらに向上し、9月にはいなべ市電子図書館を開始しました。

物流面の市内図書館4館を巡回する図書館便(週2回)の実施により、年間で55,058冊の資料の物流がありました。

| 名 称 | 所在地、特徴 |
|-------|---|
| 北勢図書館 | いなべ市北勢町阿下喜3083番地1 |
| | 北勢市民会館に併設されており、万葉の里公園にちなみ万葉集関係のコーナーがあります。郷土資料や参考資料が充実しています。入り口玄関には、趣味の作品やコレクションを展示するミニギャラリーがあります。 |
| 員弁図書館 | いなべ市員弁町笠田新田111番地 |
| | 平成12年に開設された員弁図書館は、平成26年10月から員弁東小学校へ図書館機能の一部を移転し、その後、令和3年5月にいなべ市役所員弁庁舎へ移設されました。国道沿いにあり、立ち寄りやすく身近な図書館です。 |
| 大安図書館 | いなべ市大安町大井田1305番地 |
| | 三岐鉄道大安駅に併設しており、気軽に本に親しめる身近な図書館です。鉄道コーナーには、鉄道関連の一般書や絵本、雑誌が揃い、幅広い人気があります。 |
| 藤原図書館 | いなべ市藤原町市場493番地1 |
| | 藤原岳とふるさとの森に抱かれた丘の上、藤原文化センター2階の図書館は北から南に180度開かれた窓から四季折々の彩りを望むことができます。 子どもの読書活動推進の拠点として、絵本や紙芝居に特化した蔵書となっており、読み聞かせのための大型絵本や紙芝居なども充実しています。毎週おはなし会を開催しています。 |

ア 令和4年度 資料分類別年度末蔵書数及び増減冊数

単位:冊

| 区分 | | 北勢 | 員弁 | 大安 | 藤原 | 全館計 | 受入数 | 払出数 | 増減数 |
|-----|------|--------|--------|--------|--------|---------|-------|-------|------|
| 一般書 | 総記 | 987 | 221 | 491 | 0 | 1,699 | 64 | 68 | -4 |
| | 哲学 | 849 | 448 | 852 | 0 | 2,149 | 42 | 23 | 19 |
| | 歴史 | 3,792 | 854 | 2,231 | 0 | 6,877 | 109 | 246 | -137 |
| | 社会科学 | 3,701 | 1,128 | 2,025 | 0 | 6,854 | 243 | 202 | 41 |
| | 自然科学 | 2,774 | 716 | 1,548 | 0 | 5,038 | 209 | 83 | 126 |
| | 技術 | 3,220 | 1,048 | 3,317 | 0 | 7,585 | 294 | 69 | 225 |
| | 産業 | 1,176 | 232 | 2,077 | 0 | 3,485 | 86 | 28 | 58 |
| | 芸術 | 4,076 | 1,065 | 2,035 | 0 | 7,176 | 79 | 69 | 10 |
| | 言語 | 743 | 214 | 372 | 0 | 1,329 | 9 | 66 | -57 |
| | 文学 | 21,205 | 5,982 | 12,148 | 0 | 39,335 | 699 | 899 | -200 |
| 児童書 | 総記 | 184 | 105 | 151 | 44 | 484 | 27 | 6 | 21 |
| | 哲学 | 142 | 37 | 194 | 1 | 374 | 10 | 6 | 4 |
| | 歴史 | 994 | 395 | 711 | 19 | 2,119 | 94 | 38 | 56 |
| | 社会科学 | 924 | 281 | 804 | 52 | 2,061 | 109 | 34 | 75 |
| | 自然科学 | 2,280 | 591 | 1,219 | 134 | 4,224 | 151 | 35 | 116 |
| | 技術 | 863 | 254 | 822 | 160 | 2,099 | 86 | 32 | 54 |
| | 産業 | 533 | 137 | 456 | 42 | 1,168 | 34 | 14 | 20 |
| | 芸術 | 1,175 | 314 | 928 | 57 | 2,474 | 71 | 18 | 53 |
| | 言語 | 293 | 79 | 211 | 9 | 592 | 10 | 7 | 3 |
| | 文学 | 8,208 | 1,669 | 6,266 | 299 | 16,442 | 221 | 61 | 160 |
| | 紙芝居 | 697 | 187 | 545 | 956 | 2,385 | 19 | 1 | 18 |
| | 絵本 | 5,347 | 1,893 | 5,336 | 15,554 | 28,130 | 328 | 54 | 274 |
| 雑誌 | 雑誌 | 986 | 379 | 1,350 | 316 | 3,031 | 1,037 | 1,654 | -617 |
| AV | AV | 155 | 2 | 170 | 179 | 506 | 2 | 3 | -1 |
| 電子 | 電子 | 1,290 | | | | 1,290 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | | 66,594 | 18,231 | 46,259 | 17,822 | 148,906 | 4,033 | 3,716 | 317 |

イ 令和4年度 おはなし会、図書館事業開催状況

図書館主催事業の他、ボランティアグループとの共催によるおはなし等を開催しました。

| 区分 | 参加数 | 期日等 | 会場 | 備考 |
|------------------------|------|-------------------|--------------------|----------------|
| 北勢おはなし会 | 23人 | 9回 | 北勢図書館 絵本コーナー | 図書館職員 |
| くまのこ おはなし会 | 98人 | 10回 | 員弁図書館 絵本コーナー | 大安町おはなしの会くまのこ |
| くまのこ おはなし会 | 394人 | 45回 | 大安図書館こどものへや | 大安町おはなしの会くまのこ |
| こだま おはなし会 | 369人 | 33回 | 藤原図書館 おはなし広場 | 藤原おはなし会「こだま」 |
| たんぽぽ おはなし会 | 159人 | 12回 | 藤原図書館 おはなし広場 | よみきかせたんぽぽの会 |
| 子育て支援センター出前広場おはなし会 | 48人 | 4回 | 万葉の里公園 (北勢市民会館) | 図書館職員 |
| およげこいのぼり | 119人 | 4月16日 ～5月15日 | 藤原図書館 | 参加型イベント |
| 子どもの読書週間イベント | 164人 | 4月23日 | 大安公民館外 | |
| 員弁図書館移転オープン1周年記念イベント | 172人 | 5月7日 ～5月15日 | 員弁図書館 | |
| たなばたほしにねがいを | 160人 | 6月11日 ～7月7日 | 藤原図書館 | 参加型イベント |
| 図書館で健康づくり在宅医療 | 28人 | 6月20日 | 員弁図書館 | (協力)いなべ暮らしの保健室 |
| 図書館で健康づくり夏休み特別企画聴診器づくり | 55人 | 8月20日 | 員弁図書館 | (協力)いなべ暮らしの保健室 |
| 図書館で健康づくりフレイル予防 | 18人 | 9月20日 | 員弁図書館 | (協力)いなべ暮らしの保健室 |
| 図書館deトリックオアトリート | 145人 | 10月15日 ～10月30日 | 藤原図書館 | 参加型イベント |
| 図書館まつり～おやこブックフェスティバル～ | 356人 | 10月30日 | 藤原文化センター外 | |
| クリスマスのおくりもの | 147冊 | 12月1日 ～12月25日 | 藤原図書館 | 参加型イベント |
| 図書館で健康づくり終活 | 23人 | 12月19日 | 員弁図書館 | (協力)いなべ暮らしの保健室 |

[令和4年度に実施した主な事業／生涯学習課（社会教育）]

| | | | | |
|-------------------------|--------|-----------------|----------|--------------------|
| えほんくじ | 100冊 | 1月6日 ～1月22日 | 員弁図書館 | 参加型イベント |
| かくれんぼどうぶつ～冬の ガチャまつり～ | 124人 | 2月1日 ～2月26日 | 大安図書館 | 参加型イベント |
| 雪だるまかざろう | 180人 | 2月1日 ～2月26日 | 藤原図書館 | 参加型イベント |
| さくらはなさかせましょう | 123人 | 3月4日 ～3月26日 | 藤原図書館 | 参加型イベント |
| 図書館リユース会 | 2,339冊 | 3月10日 ～3月12日 | 藤原文化センター | |
| 図書館で健康づくり 認知 症世界の歩き方 | 19人 | 3月20日 | 員弁図書館 | (協力)いなべ暮 らしの保健室 |

展示

| 区分 | 期間 | 会場 | 備考 |
|---------------------|--------|--------------|------------------|
| 長島、いなべ、東近江3館合同展示 | 4月 | 北勢図書館ミニギャラリー | 長島、永源寺図書館 |
| 男女共同参画「きっかけは1冊の本から」 | 5、6月 | 北勢図書館ミニギャラリー | |
| おまつり | 7、8月 | 北勢図書館ミニギャラリー | |
| 認知症とともに | 9月 | 北勢図書館ミニギャラリー | 長寿福祉課 |
| 鉄道の日 | 10、11月 | 北勢図書館ミニギャラリー | 交通政策課 |
| 新しい年に何か始めませんか？ | 1月 | 北勢図書館ミニギャラリー | |
| ほくせい放課後こども教室作品展示 | 2、3月 | 北勢図書館ミニギャラリー | 放課後こども 教室ほくせい |

図書館見学等

| 区分 | 期間 | 会場 | 備考 |
|-----------------|------------------|-------|----|
| 北勢中学校「第1学年校外学習」 | 5月24日 | 北勢図書館 | |
| 員弁西小学校3年生図書館見学 | 5月26日 | 員弁図書館 | |
| 員弁西小学校2年生図書館見学 | 5月31日 | 員弁図書館 | |
| 員弁中学校教職員2、3年目研修 | 8月17日～ 8月19日 | 員弁図書館 | |
| 北勢中学校2年生職場体験学習 | 11月9日～ 11月10日 | 北勢図書館 | |
| 山郷小学校2年生図書館見学 | 11月24日 | 北勢図書館 | |

ウ 令和4年度 いなべ市図書館利用状況

【北勢図書館】

| 月 | 開館日数 | 蔵書冊数 | 貸出冊数 | 1日平均(冊) | 貸出者数(人) | 1日平均(人) | ※予約件数 |
|----|------|--------|--------|---------|---------|---------|-------|
| 4 | 22 | 66,215 | 4,929 | 224.0 | 1,583 | 72.0 | 627 |
| 5 | 21 | 66,221 | 4,786 | 227.9 | 1,538 | 73.2 | 528 |
| 6 | 22 | 66,347 | 5,464 | 248.4 | 1,610 | 73.2 | 607 |
| 7 | 23 | 66,438 | 6,903 | 300.1 | 2,024 | 88.0 | 675 |
| 8 | 21 | 66,532 | 6,470 | 308.1 | 1,928 | 91.8 | 595 |
| 9 | 19 | 65,723 | 5,243 | 275.9 | 1,897 | 99.8 | 580 |
| 10 | 22 | 65,766 | 5,760 | 261.8 | 2,117 | 96.2 | 628 |
| 11 | 21 | 65,775 | 5,665 | 269.8 | 1,919 | 91.4 | 690 |
| 12 | 19 | 65,860 | 5,069 | 266.8 | 1,676 | 88.2 | 611 |
| 1 | 18 | 65,445 | 5,090 | 282.8 | 1,718 | 95.4 | 652 |
| 2 | 12 | 65,513 | 4,132 | 344.3 | 1,465 | 122.1 | 562 |
| 3 | 23 | 66,594 | 5,114 | 222.3 | 1,739 | 75.6 | 673 |
| 計 | 243 | | 64,625 | | 21,214 | | 7,428 |

※予約件数には図書システムのインターネット予約件数を含む。

【員弁図書館】

| 月 | 開館日数 | 蔵書冊数 | 貸出冊数 | 1日平均(冊) | 貸出者数(人) | 1日平均(人) | 予約件数 |
|----|------|--------|--------|---------|---------|---------|-------|
| 4 | 22 | 18,174 | 2,994 | 136.1 | 777 | 35.3 | 175 |
| 5 | 21 | 18,282 | 3,458 | 164.7 | 807 | 38.4 | 87 |
| 6 | 15 | 17,735 | 2,414 | 160.9 | 548 | 36.5 | 65 |
| 7 | 23 | 17,810 | 4,538 | 197.3 | 1,052 | 45.7 | 219 |
| 8 | 21 | 17,881 | 3,693 | 175.9 | 890 | 42.4 | 133 |
| 9 | 19 | 17,728 | 2,969 | 156.3 | 712 | 37.5 | 102 |
| 10 | 22 | 17,753 | 3,166 | 143.9 | 808 | 36.7 | 109 |
| 11 | 21 | 17,817 | 3,501 | 166.7 | 789 | 37.6 | 213 |
| 12 | 19 | 17,933 | 2,928 | 154.1 | 669 | 35.2 | 117 |
| 1 | 18 | 17,932 | 3,404 | 189.1 | 720 | 40.0 | 115 |
| 2 | 20 | 18,033 | 3,035 | 151.8 | 750 | 37.5 | 106 |
| 3 | 23 | 18,231 | 3,181 | 138.3 | 769 | 33.4 | 102 |
| 計 | 244 | | 39,281 | | 9,291 | | 1,543 |

※休館期間中の作業による貸出を含む。

【大安図書館】

| 月 | 開館日数 | 蔵書冊数 | 貸出冊数 | 1日平均(冊) | 貸出者数(人) | 1日平均(人) | 予約件数 |
|----|------|--------|--------|---------|---------|---------|-------|
| 4 | 22 | 45,778 | 4,697 | 213.5 | 1,123 | 51.0 | 149 |
| 5 | 21 | 45,803 | 4,386 | 208.9 | 1,003 | 47.8 | 109 |
| 6 | 22 | 45,872 | 4,830 | 219.5 | 1,159 | 52.7 | 168 |
| 7 | 23 | 45,966 | 5,419 | 235.6 | 1,267 | 55.1 | 175 |
| 8 | 21 | 46,048 | 5,388 | 256.6 | 1,252 | 59.6 | 114 |
| 9 | 14 | 46,143 | 4,113 | 293.8 | 905 | 64.6 | 111 |
| 10 | 22 | 46,247 | 5,012 | 227.8 | 1,218 | 55.4 | 159 |
| 11 | 21 | 46,312 | 4,567 | 217.5 | 1,130 | 53.8 | 124 |
| 12 | 19 | 46,333 | 4,246 | 223.5 | 1,002 | 52.7 | 156 |
| 1 | 18 | 43,134 | 4,293 | 238.5 | 991 | 55.1 | 200 |
| 2 | 20 | 46,194 | 4,653 | 232.7 | 1,069 | 53.5 | 97 |
| 3 | 23 | 46,259 | 4,895 | 212.8 | 1,135 | 49.3 | 110 |
| 計 | 246 | | 56,499 | | 13,254 | | 1,672 |

※休館期間中の作業による貸出を含む。

【藤原図書館】

| 月 | 開館日数 | 蔵書冊数 | 貸出冊数 | 1日平均(冊) | 貸出者数(人) | 1日平均(人) | 予約件数 |
|----|------|--------|--------|---------|---------|---------|-------|
| 4 | 22 | 17,428 | 3,125 | 142.0 | 558 | 25.4 | 292 |
| 5 | 21 | 17,471 | 3,177 | 151.3 | 532 | 25.3 | 198 |
| 6 | 22 | 17,513 | 4,097 | 186.2 | 614 | 27.9 | 513 |
| 7 | 23 | 17,555 | 3,334 | 145.0 | 559 | 24.3 | 316 |
| 8 | 21 | 17,593 | 3,278 | 156.1 | 535 | 25.5 | 304 |
| 9 | 22 | 17,642 | 3,162 | 143.7 | 424 | 19.3 | 176 |
| 10 | 22 | 17,681 | 3,618 | 164.5 | 547 | 24.9 | 186 |
| 11 | 21 | 17,727 | 3,430 | 163.3 | 509 | 24.2 | 179 |
| 12 | 19 | 17,769 | 2,359 | 124.2 | 374 | 19.7 | 129 |
| 1 | 18 | 17,732 | 2,954 | 164.1 | 371 | 20.6 | 270 |
| 2 | 20 | 17,744 | 3,348 | 167.4 | 455 | 22.8 | 240 |
| 3 | 23 | 17,822 | 2,349 | 102.1 | 390 | 17.0 | 126 |
| 計 | 254 | | 38,231 | | 5,868 | | 2,929 |

※休館期間中の作業による貸出を含む。

(8) 国際交流の促進

いなべ市国際交流協会との連携を図り、国際交流や国際理解教育などを推進するため、協会が主催する海外紹介啓発事業、英語、中国語、韓国語講座など市民間の交流活動を支援しました。

| 事業名 | 回数 | 月 日 | 内 容 |
|----------------------|----|-----------|------------------|
| 海外紹介啓発、文化交流会、外国人講師派遣 | 2 | 10月30日（日） | ハロウィンパーティ |
| | | 12月25日（日） | クリスマス会 |
| 日本語ボランティアスタッフ研修 | 3 | 4月10日（日） | にほんご広場 リーダー会 |
| | | 5月21日（土） | にほんご広場 リーダー会 |
| | | 2月7日（火） | にほんご広場 リーダー会 |
| | | 3月7日（火） | にほんご広場 リーダー会 |
| | | 3月25日（土） | にほんご広場 リーダー会 |
| 語 学 講 座 | | 毎週木、日、月曜 | 英語講座（一般） 延べ192回 |
| | | 毎週土曜 | 英語講座（小学生） 延べ192回 |
| | | 毎週土曜 | 中国語講座 延べ48回 |
| | | 毎週金曜 | 韓国語講座 延べ48回 |

4 生涯学習課（社会体育）

(1) スポーツ活動の状況

ア 地域スポーツ推進事業

例年Eポート交流大会を通じて地域スポーツの推進と活性化を図り、スポーツフェスティバルでスポーツのスキルアップ及びスポーツの楽しさを発見する機会を得ていましたが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種目中止となりました。

子ども参加型のコーディネーショントレーニングを開催することで、地域スポーツの振興と普及を図ることができました。

| 種目 | 会場 | 内容 | 参加数 |
|--------------------------------|---------------------------------|---|------|
| スポーツフェスティバル | 員弁運動公園運動場、 野球場、サッカー場、 体育館 | 新型コロナウイルス感染対策 のため中止 | — |
| Eポート交流大会 | 中里貯水池 | | — |
| 美し国三重市町対抗駅伝 | 三重県庁前から スポーツの杜陸上競技場 | 駅伝大会 | 20人 |
| 子ども参加型講習会 (コーディネーショントレーニング) | 北勢市民会館 さくらホール | 放課後子ども教室びらけ教室「コ ーデネーショントレーニング」(年間8回) | 312人 |
| | 員弁運動公園体育館 柔剣道場 | 「親子で楽しくコーディネーショントレ ニング」(全2回) | 122人 |

イ スポーツ推進委員協議会

生涯スポーツ普及のため、各種事業を実施しました。学校、団体などに出向き、ニュースポーツ(カローリング、ヘルスバレーボール、ボッチャ)を紹介し、指導しました。

| 種目 | 会場 | 内容 | 参加数 |
|--|-----------|---------------|------|
| ニュースポーツ講習 (ヘルスバレーボール、カローリ ング、ボッチャ) | 市内小学校体育館他 | 団体健康増進事業(13回) | 623人 |



ニュースポーツ講習会の様子

ウ 海洋センター事業

海洋センター事業では、いなべ市大安町内の両ヶ池でインストラクターの指導のもと、カヌー、ボートやヨットの体験ができます。マリンスポーツをより多くの青少年が体験し、普段体験できない海洋性スポーツ、レクリエーションを通じて、水に親しみながら自然を相手にして、仲間と「バディ」を組んで助け合うことの大切さを学んでいます。本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため水辺の安全教室のみ実施となりました。

| 種 目 | 対象者 | 内 容 | 参加数 |
|------------------|---------|--------------------|------|
| B & Gカヌー教室 | 一般市民 | 新型コロナウイルス感染対策のため中止 | — |
| 海洋性レクリエーション実習、教室 | 学校、各団体等 | | — |
| 艇庫開放 | 一般市民 | | — |
| Eボート交流大会 | 一般市民 | | — |
| 水辺の安全教室 | 市内小学生 | 水辺の安全紙芝居等（9教室） | 282人 |

エ 温水プール建設事業

小学校のプール授業が天候に左右されることなく年間を通して行うことができ、市民の健康増進を図ることを目的に令和2年度から温水プールの建設を行っています。事業スケジュールは次のとおりです。

| 事業名 | 契約金額 | 契約業者 | 期間 |
|----------------------------|----------------|------------------------|-----------------|
| いなべ市民温水プール（仮称） 新築工事設計業務 | 74,767,000円 | 株式会社石本建築事務所 名古屋オフィス | 令和3年度 |
| いなべ市民温水プール（仮称） 新築工事 | 1,632,331,800円 | 株式会社安藤・間 三重営業所 | 令和3年度～ 令和5年度 |
| いなべ市民温水プール（仮称） 新築工事監理業務 | 22,880,000円 | 株式会社石本建築事務所 名古屋オフィス | 令和3年度～ 令和5年度 |

オ スポーツ少年団の活動

市内で31のスポーツ少年団が活動しています。大会、本部事業等は下表のとおりです。

(ア) 競技団体大会事業

| 事業名・大会名 | メイン会場 | 参加者数 |
|-------------------------|---------------|-------|
| 第17回いなべ市少年少女レスリング大会 | 員弁運動公園体育館 | 318人 |
| いなべ市中中学生招待サッカー大会 | 員弁運動公園運動場ほか | 11チーム |
| 第13回いなべカップミニバスケットボール大会 | 員弁運動公園体育館 | 16チーム |
| 第18回いなべ市長旗学童軟式野球大会 | 員弁運動公園野球場ほか | 14チーム |
| 第19回いなべ市長杯少年サッカー大会 | 員弁運動公園サッカー場ほか | 21チーム |
| 第12回いなべカップミニバスケットボール大会 | 員弁運動公園体育館 | 16チーム |
| 員弁ライオンズクラブ学童軟式野球新人大会 | 員弁運動公園野球場 | 11チーム |
| 第12回いなべ・桑名・東員学童軟式野球交流大会 | 員弁運動公園野球場 | 3チーム |

| | | |
|-----------------------|--------------|-------|
| 第19回いなべ市小学生バレーボール交流大会 | 員弁運動公園体育館 | 18チーム |
| 第19回いなべ市少年柔道錬成大会 | 員弁運動公園柔剣道場 | 50人 |
| いなべジュニアゴルフ選手権 | 東建多度カントリークラブ | 22人 |

(イ)三重県スポーツ少年団事業（日本スポーツ少年団登録団体対象）大会等事業

| 事業名・大会名 | 会 場 | 参加者数 |
|-----------------------------|---------------|------|
| 第31回三重県スポーツ少年団剣道交流大会 | 鈴鹿スポーツガーデン体育館 | 12人 |
| 第20回三重県スポーツ少年団バレーボール交流大会 | 鳥羽市民体育館ほか | 2チーム |
| 第34回東海ブロックスポーツ少年団バレーボール交流大会 | 静岡県 | 1チーム |
| 第28回三重県スポーツ少年団ミニバス交流大会 | 名張小学校体育館ほか | 1チーム |
| 第4回三重県スポーツ少年団柔道交流大会 | 三重武道館 | 6人 |

(ウ)三重県スポーツ少年団指導者連絡協議会（日本スポーツ少年団登録団体対象）

| 講習会名 | 会 場 | 参加者数 |
|---------------|-----------|------|
| スタートコーチ養成講習会 | 明和町会場 | 1人 |
| スタートコーチ養成講習会 | 亀山市会場 | 3人 |
| 桑員ブロック団員地域交歓会 | 木曾岬町体育館 | 15人 |
| 桑員ブロック指導者研修会 | 木曾岬町町民ホール | 12人 |

(E)その他事業（ボランティア活動・少年団交流事業）

| 事業名 | 会 場 | 参加者数 |
|---------------|------------|------|
| 清掃活動などのボランティア | 市内各地域 | 10団体 |
| 保護者・指導者研修会※ | | — |
| 団員交流会※ | | — |
| 衣料品回収 | 員弁運動公園柔剣道場 | 33人 |

※は新型コロナウイルス感染対策のため中止

カ 協会 事業報告

(ア) 各種講習会及び研修会

| 開催日 | 内 容 | 参加者数またはチーム数 |
|--------|-----------------------|-------------|
| 6月9日 | ゲートボール審判員更新講習（前期） | 12人 |
| 6月11日 | 第19回いなべ市バレーボール審判講習会 ※ | — |
| 6月11日 | サッカー審判取得講習会 ※ | — |
| 6月24日 | グラウンドゴルフ研修会 ※ | — |
| 11月10日 | ゲートボール審判員更新講習（後期） | 5人 |

| | | |
|----------|---------------------|-----|
| 2月18、19日 | スキー協会指導者養成技術理論研修会 ※ | — |
| 2月19日 | いなべ市柔道協会審判講習会 | 12人 |

(イ) 各種イベント事業

| 開催日 | 内 容 | 参加者数またはチーム数 |
|--------|-----------------------|-------------|
| 10月16日 | いなべ市スポーツフェスティバル2022 ※ | — |
| 2月19日 | 第16回美し国三重市町対抗駅伝 | 20人 |

(ウ) 各種スポーツ教室

| 開催日 | 内 容 | 参加者数またはチーム数 |
|-----------------|-------------------------------|-------------|
| 4月1日 ～3月31日 | いなべ市バドミントン大安教室 | 41人 |
| 4月3日 ～3月26日 | いなべ市ソフトテニス教室 | 29人 |
| 4月1日 ～3月31日 | いなべ市バドミントン藤原教室 | 60人 |
| 4月10日 ～3月27日 | いなべ市テニス教室 | 42人 |
| 4月17日 ～3月19日 | ランニング教室（12回） | 43人 |
| 7月10日～ | いなべ市水泳教室（7日間） | 31人 |
| 7月29日 | 第13回トヨタ車体スポーツ教室 （ハンドボール） ※ | — |
| 1月7日 | いなべ市少年サッカー教室 | 14人 |

(イ) 各種スポーツ大会

| 開催日 | 内 容 | 参加者数またはチーム数 |
|-----------------|--------------------------|-------------|
| 4月10日 | いなべ地区剣道大会 ※ | — |
| 4月10日 | いなべ市自治会対抗ソフトボール大会 ※ | — |
| 4月10日 | 2022年いなべソフトテニス大会（団体戦） | 6チーム（36人） |
| 4月30日 | いなべ地区陸上競技大会 ※ | — |
| 5月3、4日 | NP0法人いなべ市スポーツ協会スプリング杯 ※ | — |
| 5月8日 | 2022いなべ市民春季ソフトテニス大会 | 26チーム（52人） |
| 5月11日 ～10月2日 | いなべ地区壮年野球リーグ戦 | 5チーム |
| 5月12日 | 第18回いなべ市民・東員町民春季ゲートボール大会 | 6チーム（32人） |
| 5月14日 ～9月10日 | ソフトボールリーグ戦 | 4チーム |

[令和4年度に実施した主な事業／生涯学習課（社会体育）]

| | | |
|------------------|-----------------------------|-------------|
| 5月14日 | いなべ市バドミントン大会（個人ダブルス戦）※ | — |
| 5月15、22、29日 | 第19回いなべ自治会対抗野球大会（予選）※ | — |
| 5月15、22日 | J Aみえきた杯サッカー選手権大会 | 4チーム（80人） |
| 5月17日 ～10月22日 | いなべ市野球ナイターリーグ戦 | 10チーム |
| 5月18日 | 第19回いなべ市春季グラウンドゴルフ大会 | 183人 |
| 5月29日 | 第19回いなべ市春季テニス大会 ※ | — |
| 6月4日 | 第17回いなべ市スポーツ協会長杯リーグ決勝大会 | 4チーム（80人） |
| 6月4、5日 | 2022市民社会人サッカーリーグ（第1節） | 6チーム（100人） |
| 6月11日 | いなべ市クレール射撃大会 | 10人 |
| 6月12日 9月3日 | 2022市民社会人サッカーリーグ（第2節） | 6チーム（100人） |
| 6月12日 | ソフトテニス部「中1」全員大会 | 15人 |
| 6月19日 | 第18回いなべ市民バレーボール大会 ※ | — |
| 6月25、26日 | 2022市民社会人サッカーリーグ（第3節） | 6チーム（120人） |
| 7月2日 10月30日 | 2022いなべサッカー選手権大会 | 5チーム（120人） |
| 7月3日 | 2022いなべカップバスケットボール大会 | 7チーム（66人） |
| 7月17日 | 第19回いなべ市夏季（ミックス）テニス大会 | 12チーム（24人） |
| 7月23、24日 9月4日 | 2022市民社会人サッカーリーグ（第5節） | 6チーム（120人） |
| 8月7日 9月3日 | 2022市民社会人サッカーリーグ（第6節） | 6チーム（120人） |
| 8月21、28日 | 第19回いなべ郡市自治会対抗軟式野球決勝大会 ※ | — |
| 8月27、28日 | 2022市民社会人サッカーリーグ（第7節） | 4チーム（80人） |
| 8月28日 | 第19回いなべ水泳大会兼B & G海洋センター水泳大会 | 31人 |
| 8月29日 | 第25回いなべ市民ゴルフ大会 | 114人 |
| 9月3、17日 10月2日 | 2022市民社会人サッカーリーグ（第4節） | 6チーム（120人） |
| 9月4日 | 第19回いなべライオン杯バレーボール大会 ※ | — |
| 9月4日 | いなべソフトテニス大会 | 16チーム（32人） |
| 9月8日 | 第18回いなべ市民東員町民秋季ゲートボール大会 ※ | — |
| 9月11日 | 第9回CTYカップ 第18回いなべ市少年柔道大会 | 15チーム（163人） |
| 10月2、16、23日 | 第19回いなべクラブ対抗野球大会 ※ | — |
| 10月5日 | 第19回いなべ市秋季グラウンドゴルフ大会 ※ | — |
| 10月9日 | 2022三重平安閣スーパーカップサッカー大会 | 3チーム（60人） |
| 10月12日 | 第5回員弁郡郵便局長杯争奪グラウンドゴルフ大会※ | — |
| 10月15日 | 第19回いなべ市バドミントン大会(団体ダブルス戦) | 61人 |
| 10月23日 | 2022いなべ市民秋季ソフトテニス大会 | 32チーム（64人） |

[令和4年度に実施した主な事業／生涯学習課（社会体育）]

| | | |
|-----------------|---------------------------------------|-------------|
| 10月23日 | 第19回いなべ市民空手道選手権大会 | 61人 |
| 10月23日 | 第19回いなべ市バスケットボール選手権大会 | 4チーム（35人） |
| 10月23日 | 第19回いなべ市民秋季テニス大会 | 32チーム（64人） |
| 10月23日 | いなべ市ロードレース大会 | 37人 |
| 11月3日 | フットサル大会 ※ | — |
| 11月6日 | いなべ市ソフトボール大会 ※ | — |
| 11月6日 | いなべMixバスケットボール大会2022 | 9チーム（89人） |
| 11月21日 | 第15回いなべ市自治会対抗ゴルフ大会兼 第26回いなべ市民ゴルフ大会 | 28自治会（172人） |
| 11月27日 | 第19回いなべカップバレーボール大会 ※ | — |
| 11月27日 | 2022いなべカップサッカー大会 | 6チーム（110人） |
| 11月27日 12月4日 | いなべ市長距離記録会兼美し国駅伝選手選考会 | 30人 |
| 12月11日 | 2022いなべシニアサッカー兼 いなべ市生涯サッカー大会 | 3チーム（60人） |
| 2月12日 | 第19回いなべ卓球大会 ※ | — |
| 2月26日 | スポーツ協会長杯リーグ戦学童（開会式） | 10チーム |
| 3月12日 | 三重県ジュニアオープンレスリング大会 | 27チーム（230人） |

※は新型コロナウイルス感染対策のため中止

キ 施設毎利用者数（令和4年度）

| No | 施設名 | 施設種別 | 利用者数 |
|----|-----------------|----------|----------|
| 1 | 北勢武道場 | 柔道場 | 3,135 人 |
| 2 | 北勢其原グラウンド | 運動場 | 4,436 人 |
| 3 | 北勢中山グラウンド | 運動場 | 5,369 人 |
| 4 | 員弁運動公園体育館、柔剣道場 | 体育館 | 46,721 人 |
| 5 | 員弁運動公園運動場 | 運動場 | 10,815 人 |
| 6 | 員弁運動公園テニスコート | テニスコート | 4,194 人 |
| 7 | 員弁運動公園野球場 | 野球場 | 6,142 人 |
| 8 | 員弁運動公園サッカー場 | 運動場 | 6,325 人 |
| 9 | 員弁運動公園海洋センタープール | 屋外プール25m | 3,324 人 |
| 10 | 員弁御園グラウンド | 野球場 | 4,607 人 |
| 11 | 大安武道館 | 柔道場 | 13,349 人 |
| 12 | 大安西部運動場 | 運動場 | 2,375 人 |
| 13 | 大安スポーツ公園体育館 | 体育館 | 27,893 人 |

[令和4年度に実施した主な事業／生涯学習課（社会体育）]

| | | | |
|-----|----------------|-----------|-----------|
| 14 | 大安スポーツ公園野球場 | 野球場 | 4,569 人 |
| 15 | 大安スポーツ公園テニスコート | テニスコート | 11,279 人 |
| 16 | 大安スポーツ公園スパーク大安 | ゲートボールコート | 2,343 人 |
| 17 | 大安スポーツ公園運動場 | 運動場 | 4,313 人 |
| 18 | 大安海洋センター体育館 | 体育館 | 9,648 人 |
| 19 | 大安海洋センター武道場 | 剣道場 | 2,469 人 |
| 20 | 大安海洋センター艇庫 | その他 | —※ |
| 21 | 藤原運動場 | 運動場 | 2,811 人 |
| 22 | 藤原第1野球場 | 野球場 | 865 人 |
| 合 計 | | | 176,982 人 |

※上表は、令和4年4月1日～令和5年3月31日の体育施設利用許可申請書に記載された人数及び利用実績報告書に記載された人数をもとに取りまとめたものです。
 ※大安海洋センター艇庫は、新型コロナウイルス感染対策のため事業未実施

5 自然学習室

(1) 藤原岳自然科学館の活動（博物展示事業、自然教室事業、調査研究）

藤原岳自然科学館では、いなべ市、特に藤原岳周辺の恵まれた自然を活用し、自然科学の調査研究及び学習に資するため、博物展示及び自然教室を実施しました。

- ア 第44回児童生徒自然科学作品展
 開催期間 令和4年9月18日（日）
 ～ 10月2日（日）
 開催場所 藤原文化センター 大研修室
 期間中の入場者数 608人
 表彰式 令和4年10月15日（土）



- イ 企画展「秋の鳴く虫展」
 開催期間 令和4年9月18日（日）～ 10月16日（日）
 開催場所 藤原文化センター 2F市民ホール前
 展示内容 岐阜県大垣市在住の西田翔太郎氏の協力により、日本人の生活と深くかかわり、古くから詩歌にも詠まれてきた鳴く虫を、生体と標本、パネル等で展示し解説しました。
 虫売り屋台（復元）を設置するとともに、鳴く虫を描いた絵画を展示し、実際に虫が鳴いている様子の映像をモニターに映しました。

- 生体展示した種
- | | |
|---------|------------------------------------|
| キリギリス科 | ：ハタケノウマオイ |
| クツワムシ科 | ：クツワムシ |
| コオロギ科 | ：クマスズムシ、エンマコオロギ、ツツレサセコオロギ、ミツカドコオロギ |
| マツムシ科 | ：マツムシ、アオマツムシ、スズムシ、カンタン |
| ヒバリモドキ科 | ：マダラスズ、シバスズ、ヒゲシロスズ |
| ケラ科 | ：ケラ |
- 期間中の入場者数 約 970人



ウ 常設展示事業

(ア) 常設展示物の追加及び交換

昆虫と小動物の生体展示コーナーを適宜更新しました。

「ふるさとの森の今」と「藤原岳の植物と景観」の写真等を適宜更新しました。

(イ) 淡水魚飼育水槽等の管理

定期的に水槽の水替えと清掃を実施しました。

青川ネットワークの協力によりアマゴの卵の孵化の様子と孵化して間もない稚魚を展示しました。

(ウ) 標本の保守作業

昆虫標本等の防虫剤の入れ替えを実施しました。

エ 自然教室事業

年間をとおして植物、動物（鳥類、昆虫類等）、キノコ、岩石、星座などに関する 22 講座を企画しました。

また、「万葉人の愛した植物を通して～植物学の事始め」と「昆虫少年・少女のための基礎講座」と題して、植物と昆虫に関する連続講座をそれぞれ3回ずつ実施しました。

「植物学の事始め」ではこれまでのまとめとして受講者が執筆した『一木一草』の冊子を作成し、特別講座を3月に開催しました。

年間の参加者数は 673 人で、詳細は別表のとおりです。



オ 調査研究

定期的に市内各地で動植物の分布、貴重種の有無などを調査し、資料収集を実施しました。

収集資料を整理、保存し、展示に活用するほか、重要な知見については、館報『藤原岳』第 44 巻（2023 年 2 月発行）で報告しました。

調査地点の詳細は別表のとおりです。



(2) その他の活動

ア 広報活動

- (ア) ホームページで最新の情報を発信
催し物の案内をいなべ市ホームページの「イベント情報」に掲載
- (イ) 情報誌 Link への情報掲載
催し物の案内を「くらしの情報」欄に掲載
- (ウ) 藤原岳自然科学館パンフレットの配布
藤原岳登山口休憩所及び坂本休憩所等に配布
- (エ) 年間行事予定ポスター及びチラシの配布
 - a いなべ市、東員町の各小中学校に配布
 - b 藤原岳登山口休憩所及び坂本休憩所等に掲示
- (オ) マスコミによる藤原岳自然科学館の紹介、資料提供の協力等
 - 随時 桑員ホームニュースに自然教室の開催案内を掲載
 - 6月 Link 7月号写真、原稿協力
いなべ10「いなべの自然みつけ隊」撮影開始（毎月撮影、月末放映）
 - 7月 ぼろん8月号取材（“親子で体験” オススメスポット4選）
 - 8月 NHKまるっと！みえ「標本の名前を聞く会」撮影
 - 9月 中日新聞で「第44回児童生徒自然科学作品展」と「秋の鳴く虫展」を紹介
 - 10月 中日新聞で「第46回児童生徒自然科学研究発表会」を紹介
中日新聞とNHK取材 特別企画展「ネコギギといなべの川にすむ魚たち」
 - 2月 中日新聞取材（ふるさとの森セツブンソウ、フクジュソウ）
NHK取材（ふるさとの森セツブンソウ、フクジュソウ）

イ 小中学校の理科学習等の支援活動

- (ア) 市内の小中学校等での学習支援活動
 - 6月16日（木） 藤原小中学校特別支援学級 館内見学、ふるさとの森散策、工作活動
- (イ) 遠足等での施設見学受け入れ
 - 4月21日（木） 藤原小学校1、2年生遠足 ふるさとの森で春さがし
 - 4月28日（木） 藤原小学校3、4年生遠足 屋根のない学校で自然観察
 - 10月27日（木） 治田小学校2年生遠足 館内見学、ふるさとの森で自然観察
 - 11月2日（水） 藤原小学校1、2年生遠足 ふるさとの森で秋さがし、ネコギギ展見学
 - 11月18日（金） 員弁西小学校2年生遠足 ふるさとの森で自然観察、栞づくり
 - 11月24日（木） 山郷小学校2年生遠足 ふるさとの森で自然観察、栞づくり
 - 12月9日（金） 聖母の家学園社会見学 ふるさとの森で自然観察、体育館で説明



(ウ) 図書館とのコラボレーション事業

10月30日(日) 藤原文化センターで開催された図書館まつり～おやこブックフェスティバル～で、「葉っぱのしおりづくり」、「ドングリごま作製」のワークショップのほか、ふるさとの森ガイドツアーを実施し、秋の自然を紹介しました。



(イ) 諸団体への協力

11月12日(土) グリーンクリエイティブいなべ主催のイベント(Inabe Green Lab. Vol.2)に協力し、屋根のない学校で自然観察ツアーを実施しました。



ウ 研修、視察等

視察研修は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止

【自然教室事業の開催状況】

| 開催日 | 教室名 | 場 所 | 内 容 | 参加者数 |
|----------|-----------------|--------------------|--------------------------------|------|
| 4月16日(土) | 春の動植物をたずねて | 藤原岳山麓 | 藤原文化センター～大貝戸～坂本のコースで、春の自然を観察 | 32人 |
| 4月30日(土) | 岩石の標本をつくろう | 員弁川 (北勢町内) | 岩石について標本の作り方や保存方法を学び、川原で岩石を採集 | 43人 |
| 5月15日(日) | ため池の生物を調べよう | 屋根のない学校 | オタマジャクシやヤゴなど水の中で暮らす生き物を観察 | 31人 |
| 5月21日(土) | 初夏の動植物をたずねて | 登奈井尾林道 (北勢町内) | 登奈井尾林道を歩いて、夏鳥や昆虫、初夏に咲く花などを観察 | 32人 |
| 5月28日(土) | 甲虫の標本をつくろう | 藤原文化センター ふるさとの森 | 甲虫を採集し、標本の作り方と保存方法を学ぶ | 32人 |
| 6月4日(土) | ホタルを見る会 | 藤原岳山麓 | ホタルについて形態や生態などを学習してから、近くの小川で観察 | 46人 |
| 6月11日(土) | 植物標本をつくろう | 藤原文化センター ふるさとの森 | 植物を採集し、標本の作り方と保存方法を学ぶ | 24人 |
| 6月18日(土) | チョウの標本をつくろう | 藤原文化センター ふるさとの森 | チョウを採集し、その標本づくりと保存方法を学ぶ | 23人 |
| 6月25日(土) | キノコを見る会 | 藤原文化センター ふるさとの森 | ふるさとの森で里山のキノコを観察 | 18人 |
| 7月2日(土) | 光に集まる虫を調べよう | 藤原文化センター | クワガタやガなどの光に集まるさまざまな虫を観察 | 20人 |
| 7月9日(土) | 夏休みの自然研究の仕方を聞く会 | 藤原文化センター | 採集方法や標本の作り方、自然研究の仕方を指導 | 21人 |
| 7月16日(土) | 身近な植物を調べよう | 藤原文化センター ふるさとの森 | 植物の特徴を学習し、野外で採集した植物の名前を図鑑で調べる | 9人 |
| 7月23日(土) | 宇賀川の自然調べ | 宇賀川 (大安町内) | 宇賀川の水生生物や岩石などを観察 | 40人 |
| 8月6日(土) | 親と子の自然教室 | 宇賀溪 | 川の増水により中止 | 中止 |

[令和4年度に実施した主な事業／自然学習室]

| | | | | |
|-----------|------------|---------------------|--------------------------------|-----|
| 8月20日(土) | 標本の名前を聞く会 | 藤原文化センター | 自由研究で作った標本の名前や研究内容について指導 | 26人 |
| 9月24日(土) | いなべ公園の自然観察 | いなべ公園 (員弁町内) | いなべ公園を散策して、野鳥、昆虫、木の実などを観察 | 25人 |
| 10月22日(土) | 秋の動植物をたずねて | 藤原岳山麓 | 藤原文化センター～大貝戸～坂本のコースで、秋の自然を観察 | 24人 |
| 11月5日(土) | クモを調べる会 | 藤原文化センター ふるさとの森 | クモを観察、採集し、顕微鏡で形態を観察 | 16人 |
| 12月10日(土) | 冬の野鳥を見る会 | 両ヶ池周辺 (大安町内) | 両ヶ池周辺のカモ類や冬の野鳥を観察 | 26人 |
| 1月21日(土) | 冬の自然観察 | 藤原文化センター 屋根のない学校 | 藤原岳山麓を散策し、動物の足跡や生き物の冬越しのようすを観察 | 27人 |
| 2月25日(土) | 冬の星空を見よう | 藤原文化センター | 冬の星座や月、星雲、星団などを観察 | 31人 |
| 3月18日(土) | 早春の花を見る会 | 藤原岳山麓 | 藤原文化センター～大貝戸～坂本のコースで早春の自然を観察 | 24人 |

【連続講座事業の開催状況】 万葉人の愛した植物を通して～植物学の事始め

| 開催日 | 教室名 | 場 所 | 内 容 | 参加者数 |
|-----------|-------------------------------|----------|------------------------|------|
| 6月17日(金) | 植物学の事始め(1) 「アジサイと万葉植物園」 | 北勢市民会館 | アジサイと万葉集に詠まれている植物などを観察 | 18人 |
| 9月30日(金) | 植物学の事始め(2) 「秋の植物と万葉集」 | 藤原文化センター | 百人一首に詠まれている植物を観察 | 16人 |
| 11月11日(金) | 植物学の事始め(3) 「色づきはじめた植物と万葉集」 | 藤原文化センター | 身近な植物である野菜の観察と学習 | 15人 |
| 3月17日(金) | 万葉集特別講座 | 藤原文化センター | 『一木一草』完成記念特別講座 | 44人 |

【連続講座事業の開催状況】 昆虫少年・少女のための基礎講座

| 開催日 | 教室名 | 場 所 | 内 容 | 参加者数 |
|----------|------------|---------------------|---|------|
| 6月26日(日) | めざせ昆虫博士(1) | 藤原文化センター ふるさとの森 | ・昆虫に関する基礎学習 ・文化センター周辺での採集・ 標本の作り方実習 | 16人 |
| 7月30日(土) | めざせ昆虫博士(2) | 藤原文化センター 屋根のない学校 | ・昆虫に関する基礎学習、屋根 のない学校周辺での採集 (トラップ設置あり) ・夜間灯火採集(ライトトラッ プ) | 17人 |
| 8月27日(土) | めざせ昆虫博士(3) | 藤原文化センター ふるさとの森 | ・藤原文化センター周辺での採 集、標本作製の復習 | 21人 |

【自然科学作品展示事業の開催状況】

| 開催日 | 事業名 | 場 所 | 内 容 | 参加者数 |
|---------------------------|-------------------------|----------|---|-----------------------------|
| 9月18日(日) ～ 10月2日(日) | 第44回 児童生徒自然科学作品 展 | 藤原文化センター | 市内の児童及び生徒が夏休 み期間中に研究、作製した 標本などを展示 | 出展数 115作品 来場者 608人 |

【自然科学研究発表事業の開催状況】

| 開催日 | 事業名 | 場 所 | 内 容 | 参加者数 |
|-----------|---------------------------|----------|-----------------------------------|-----------------------------|
| 10月15日(土) | 第46回 児童生徒自然科学研究 発表会 | 藤原文化センター | 児童生徒自然科学作品展の 出展者による研究成果の発 表 | 発表者数 4組4人 来場者 117人 |

【企画展事業の開催状況】

| 開催日 | 事業名 | 場 所 | 内 容 | 参加者数 |
|----------------------------|--------|----------|--|-------|
| 9月18日(日) ～ 10月16日(日) | 秋の鳴く虫展 | 藤原文化センター | ・鳴く虫約15種の生体展示 ・コオロギ、バッタ類の標本 展示 ・鳴いている様子の映像展示 ・パネル等による展示と解説 | 約970人 |

【藤原岳自然科学館展示コーナー 月別入館者数】

(単位：人、子ども：中学生以下)

| 年 月 | 男 性 | | 女 性 | | 団 体 | 合 計 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | 大人 | 子ども | 大人 | 子ども | | |
| 令和4年4月 | 118 | 98 | 127 | 89 | 247 | 679 |
| 5月 | 155 | 114 | 162 | 114 | 233 | 778 |
| 6月 | 96 | 75 | 115 | 65 | 447 | 798 |
| 7月 | 114 | 118 | 120 | 101 | 291 | 744 |
| 8月 | 158 | 185 | 206 | 152 | 215 | 916 |
| 9月 | 160 | 142 | 187 | 130 | 616 | 1,235 |
| 10月 | 221 | 188 | 325 | 175 | 380 | 1,289 |
| 11月 | 305 | 183 | 375 | 222 | 704 | 1,789 |
| 12月 | 88 | 78 | 106 | 68 | 104 | 444 |
| 令和5年1月 | 64 | 62 | 66 | 55 | 33 | 280 |
| 2月 | 168 | 109 | 234 | 60 | 39 | 610 |
| 3月 | 141 | 74 | 155 | 96 | 103 | 569 |
| 計 | 1,788 | 1,426 | 2,178 | 1,327 | 3,412 | 10,131 |

【令和4年度 藤原岳自然科学館 調査研究活動記録】

| 月 日 | 調査場所 | | |
|--------|------------|-----------|---------|
| 4月1日 | 藤原町下相場 | | |
| 4月6日 | 大安町平塚 | 大安町両ヶ池 | |
| 4月8日 | 藤原町篠立 | 藤原町山口 | 藤原町大貝戸 |
| 5月6日 | 藤原町西野尻 | | |
| 5月10日 | 大安町平塚 | | |
| 5月18日 | 藤原岳 | | |
| 6月9日 | 大安町野入溜 | | |
| 6月15日 | 北勢町別名 | 北勢町大谷林道 | |
| 6月24日 | 北勢町二之瀬 | 藤原町冷川谷 | |
| 6月29日 | 員弁町平古 | | |
| 7月1日 | 北勢町悟入谷 | 北勢町樽沢池 | 北勢町田代ヶ池 |
| 7月20日 | 北勢町岡森川 | | |
| 7月21日 | 大安町自然水族館 | | |
| 7月21日 | 大安町野入溜 | | |
| 7月29日 | 大安町宇賀溪 | | |
| 8月24日 | 大安町野入溜 | | |
| 9月8日 | 大安町野入溜 | | |
| 9月28日 | 大安町野入溜 | | |
| 10月8日 | 藤原町篠立 | | |
| 10月12日 | 藤原町屋根のない学校 | 藤原町篠立 | 北勢町岡森川 |
| 11月4日 | 大安町野入溜 | 藤原町篠立 | 藤原町古田 |
| 11月16日 | 藤原町上相場 | 藤原町ふるさとの森 | |
| 2月17日 | 藤原町大貝戸 | 藤原町坂本 | |
| 3月15日 | 藤原町下相場 | | |
| 3月22日 | 大安町石樽南 | | |
| 3月31日 | 藤原町下相場 | | |

(3) 屋根のない学校事業

屋根のない学校では、自然の中で自然に親しみ自然に触れる体験活動や地域の歴史、文化に触れる活動を通じて、五感を育み感性豊かな子どもを育てるため、「びっくり生きものアラカルト」「昆虫と遊ぼう」「人びとのいのちと暮らしを守る植物」「田んぼと畑の学校」「自然いっぱい遊びにCLG (Challenge)」「川で遊ぼう！～水の中の生きものさがし～」「親子工作教室」「カメラやスマホで写真撮影」の8つの教室を、1年を通して開設しました。各教室の受講者が交流する合同教室も含めて、9教室で47回開催し、延べ538人の参加がありました。

ア びっくり生きものアラカルト

| 開催日 | 内 容 | 参加者数 |
|----------|--------------------|------|
| 5月7日(土) | 光る生き物を見てみよう! | 13人 |
| 6月4日(土) | マス釣りを体験しよう! | 31人 |
| 7月2日(土) | “水”の実験・“火”の実験 | 13人 |
| 8月6日(土) | 笹竹で工作をしてみよう!(ヒンメリ) | 6人 |
| 9月3日(土) | 植物遊び | 13人 |
| 11月5日(土) | ドングリを集めてみよう! | 2人 |
| 12月3日(土) | 魚に触れてみよう・磁石の実験 | 4人 |
| 3月4日(土) | ニワトリの解剖に挑戦! | 4人 |
| | 計 | 86人 |

イ 昆虫と遊ぼう

| 開催日 | 内 容 | 参加者数 |
|-----------|----------------------------|------|
| 5月14日(土) | トンボやチョウなどの虫捕りをしよう | 30人 |
| 6月11日(土) | ホタルの観察をしよう。光り方は?いっしょに確かめよう | 27人 |
| 7月9日(土) | トンボを観察しよう | 21人 |
| 8月13日(土) | 新型コロナウイルス感染対策のため中止 | — |
| 9月10日(土) | トンボを探そう | 13人 |
| 10月8日(土) | アカトンボを探そう | 3人 |
| 11月12日(土) | 越冬するトンボ | 8人 |
| 12月10日(土) | 虫たちのベッドルームにお邪魔虫 | 9人 |
| 3月11日(土) | 春にみられるチョウのいろいろ | 15人 |
| | 計 | 126人 |

ウ 人びとのいのちとくらしを守る植物

| 開催日 | 内 容 | 参加者数 |
|-----------|--------------------|------|
| 6月11日(土) | 私たちのまわりでくらす植物 | 4人 |
| 7月9日(土) | 葉っぱのすごい力 | 4人 |
| 8月13日(土) | 新型コロナウイルス感染対策のため中止 | — |
| 9月10日(土) | バナナは草にできる果物である | 2人 |
| 10月8日(土) | 植物のタネ(種子)のひろがる方法 | 4人 |
| 11月12日(土) | キク科の花 | 4人 |
| 12月10日(土) | もーいくつねるとお正月 | 5人 |
| 1月14日(土) | 木の生長と年輪 | 4人 |
| 2月11日(土) | 早春の草花と花木たち | 5人 |
| 3月11日(土) | 春の野を彩る草花 | 6人 |
| | 計 | 38人 |

エ 田んぼと畑の学校

| 開催日 | 内 容 | 参加者数 |
|-----------|-----------------|------|
| 5月28日(土) | 田植え体験 | 29人 |
| 6月11日(土) | サツマイモ苗植え付け体験 | 7人 |
| 7月24日(日) | 勾玉づくり体験 | 14人 |
| 9月18日(日) | お話、田んぼと畑の観察 | 4人 |
| 10月10日(月) | 祭りと田舎のくらし、種まき体験 | 9人 |
| 10月16日(日) | サツマイモ掘り | 14人 |
| 11月19日(土) | 鳴谷神社と聖宝寺を散策 | 2人 |
| 3月4日(土) | 種まき体験 | 8人 |
| | 計 | 87人 |

オ 自然いっぱい遊びにCLG

| 開催日 | 内 容 | 参加者数 |
|-----------|----------------------|------|
| 6月4日(土) | 校内散策と万華鏡作りにChallenge | 9人 |
| 7月2日(土) | 七夕飾り作りにChallenge | 16人 |
| 8月6日(土) | 竹細工にChallenge | 14人 |
| 9月3日(土) | 消臭予防の炭焼きにChallenge | 11人 |
| 10月16日(日) | 野外運動会にChallenge | 10人 |
| 11月5日(土) | パズルと焼き芋にChallenge | 10人 |
| 12月3日(土) | クリスマス飾りにChallenge | 10人 |
| | 計 | 80人 |

カ 川で遊ぼう！～水の中の生きものさがし～

| 開催日 | 内 容 | 参加者数 |
|----------|--------|------|
| 7月24日（日） | 水生昆虫観察 | 24人 |
| 8月27日（土） | 水生昆虫観察 | 31人 |
| | 計 | 55人 |

キ 親子工作教室

| 開催日 | 内 容 | 参加者数 |
|----------|-------------------|------|
| 6月19日（日） | 森の木や竹で楽器を作りましょう | 18人 |
| 9月18日（日） | 牛乳パックでおもちゃを作りましょう | 12人 |
| | 計 | 30人 |

ク カメラやスマホで写真撮影

| 開催日 | 内 容 | 参加者数 |
|-----------|-------------|------|
| 5月7日（土） | 自然を楽しみ発見しよう | 4人 |
| 11月19日（土） | 中止 | — |
| | 計 | 4人 |

ケ 合同講座

| 開催日 | 内 容 | 参加者数 |
|----------|----------|------|
| 4月17日（日） | 開校式と体験教室 | 19人 |
| 5月14日（土） | 教材園作り | 13人 |
| | 計 | 32人 |

「びっくり生きものアラカルト」



「昆虫と遊ぼう」



「人びとのいのちと暮らしを守る植物」



「田んぼと畑の学校」



「自然いっぱいの遊びにCLG」



「川で遊ぼう！」



「親子工作教室」



「カメラやスマホで写真撮影」



(4) 希少動植物保全事業

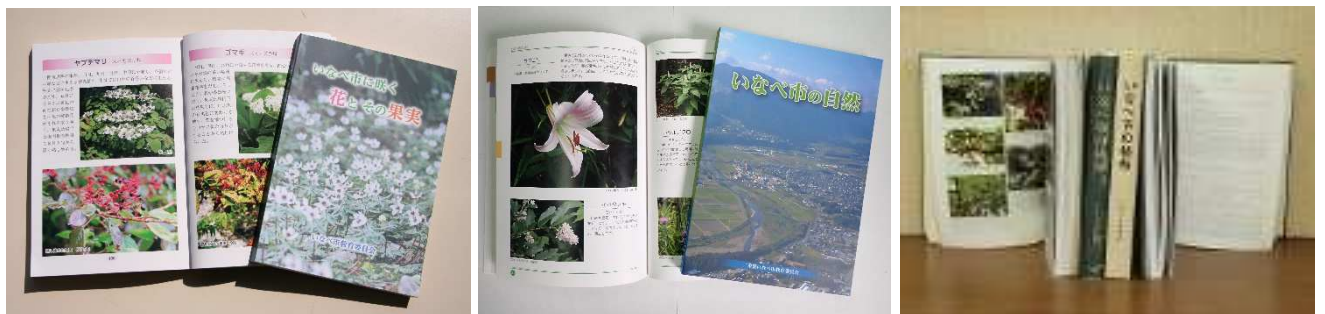
ア 希少動植物等の保護

月に数回、市内各地を定期的に調査し、希少動植物等の分布や生育、生息状況を把握しています。

イ 『いなべ市に咲く花とその果実』、『いなべ市の自然』、『いなべ市の植物』の販売

写真集『いなべ市に咲く花とその果実』、『いなべ市の自然』について、市ホームページで紹介し、藤原文化センターの窓口及び郵送にて継続的に販売しています。

これらの書籍類については、自然教室等の参加者にも適宜紹介して販売を促進するとともに、自然保護意識の普及啓発に活用しています。



(5) ふるさとの森事業

ア 自然科学館自然教室等での活用

「甲虫の標本をつくろう」(5月)、「植物標本をつくろう」(6月)、「チョウの標本をつくろう」(6月)、「キノコを見る会」(6月)、「身近な植物を調べよう」(7月)、「クモを調べる会」(11月)、「早春の花を見る会」(3月)など自然教室や連続講座「昆虫少年・少女のための基礎講座(6月、7月、8月)」での観察場所やサンプル採集の練習場所としてふるさとの森を活用しています。

新たに三つ折りA5版のパンフレットを作成し、セツブンソウやフクジュソウ、イチリンソウ、カタクリ、ササユリなど季節の花を観察に訪れた来館者をふるさとの森へ案内し、植物その他について解説を実施しています。



「ふるさとの森」パンフレット (三つ折りA5版)

イ ふるさとの森の自然の紹介

年間を通して、自然科学館入口に掲示している「今日のふるさとの森」コーナーの写真と説明の入れ替えを定期的に変更しています。パンフレットを見て位置が分かるよう表示方法を変更しました。



ウ ふるさとの森の維持、管理

定期的に落葉や枯れ枝等の除去、樹木の伐採や剪定、ササや雑草の刈り取りをし、来訪者が観察しやすい環境を維持管理しています。希少植物保護のため、肥料の施肥など土壌改良作業も実施しています。

また、シルバー人材センターに委託し、年に1回全面的な草刈りを実施しています。



除草後の様子



色づき始めたシデ、モミジ林

(6) 大井田西部公園事業

ア いなべ市水辺の里公園

いなべ市の水辺の自然を再現し、現在は少なくなった水辺の植物や水生生物を保護しながら、かつて豊かだった水辺環境の自然を観察、学習できるように維持管理をしています。

自然教室「宇賀川の自然調べ」(7月)では、川で水生生物を観察後、宇賀川に生息する淡水魚の泳ぐ姿を観察しました。

定期的に水槽ガラスの清掃と水路内の泥掃きを行い、年に1回シルバー人材センターに委託して周辺の草刈りを実施しています。



淡水魚や水生動物、水生植物の様子をガラス窓から直接観察できます。



里川の中下流域を再現



参 考 资 料

令和5年度 児童及び生徒数、学級数

() は特別支援学級：外数 ※学級数の☆は「加配学級」

令和5年5月1日現在

| 小学校 | 児童 | | | | | | | | | | | | 合計 | | | |
|--------|-------------|-----|-------------|-----|-------------|-----|-------------|-----|-------------|-----|-------------|-----|---------------|------|------------|-----|
| | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 4年 | | 5年 | | 6年 | | 児童数 | 学級数 | | |
| | 児童数 | 学級数 | 児童数 | 学級数 | 児童数 | 学級数 | 児童数 | 学級数 | 児童数 | 学級数 | 児童数 | 学級数 | | | | |
| 1 阿下喜 | (1) 24 | 1 | () 26 | 1 | () 26 | 1 | (2) 25 | 1 | (2) 20 | 1 | (1) 21 | 1 | (6) 142 | 148 | (2) 6 | 8 |
| 2 治田 | () 19 | 1 | () 15 | 1 | (1) 15 | 1 | (3) 19 | 1 | (1) 21 | 1 | () 18 | 1 | (5) 107 | 112 | (1) 6 | 7 |
| 3 十社 | (3) 20 | 1 | (2) 17 | 1 | (1) 18 | 1 | (1) 15 | 1 | (1) 15 | 1 | () 17 | 1 | (8) 102 | 110 | (2) 6 | 8 |
| 4 山郷 | () 47 | 2 | (2) 32 | 1 | (2) 29 | 1 | (3) 31 | 1 | (2) 43 | 2 | (2) 40 | ☆2 | (11) 222 | 233 | (3) 9 | 12 |
| 5 員弁西 | (2) 44 | 2 | (1) 60 | 2 | (5) 55 | 2 | (2) 52 | 2 | (1) 57 | 2 | (2) 57 | 2 | (13) 325 | 338 | (3) 12 | 15 |
| 6 員弁東 | (1) 45 | 2 | (1) 43 | 2 | (2) 33 | 1 | (1) 44 | 2 | () 27 | 1 | (2) 34 | 1 | (7) 226 | 233 | (2) 9 | 11 |
| 7 笠間 | (2) 29 | 1 | () 27 | 1 | () 31 | 1 | (1) 24 | 1 | () 26 | 1 | (1) 39 | ☆2 | (4) 176 | 180 | (1) 7 | 8 |
| 8 三里 | () 47 | 2 | (3) 49 | 2 | () 46 | 2 | (3) 41 | 2 | (2) 31 | 1 | (3) 48 | 2 | (11) 262 | 273 | (2) 11 | 13 |
| 9 石樽 | (1) 45 | 2 | (4) 35 | 1 | (7) 45 | 2 | (4) 41 | 2 | (2) 46 | 2 | (3) 25 | 1 | (21) 237 | 258 | (5) 10 | 15 |
| 10 丹生川 | (1) 14 | 1 | (1) 9 | 1 | () 18 | 1 | () 17 | 1 | (2) 24 | 1 | (1) 17 | 1 | (5) 99 | 104 | (2) 6 | 8 |
| 11 藤原 | () 35 | 1 | (2) 30 | 1 | (3) 34 | 1 | (1) 35 | 1 | (2) 37 | ☆2 | (1) 41 | 2 | (9) 212 | 221 | (2) 8 | 10 |
| 合計 | (11) 369 | 16 | (16) 343 | 14 | (21) 350 | 14 | (21) 344 | 15 | (15) 347 | 15 | (16) 357 | 16 | (100) 2110 | 2210 | (25) 90 | 115 |

| 中学校 | 生徒 | | | | | | 合計 | | | |
|------|-------------|-----|-------------|-----|-------------|-----|--------------|------|------------|----|
| | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 生徒数 | 学級数 | | |
| | 生徒数 | 学級数 | 生徒数 | 学級数 | 生徒数 | 学級数 | | | | |
| 1 北勢 | (3) 95 | 3 | (2) 98 | 3 | (5) 113 | ☆4 | (10) 306 | 316 | (2) 10 | 12 |
| 2 員弁 | (4) 88 | 3 | (3) 95 | 3 | (5) 89 | 3 | (12) 272 | 284 | (3) 9 | 12 |
| 3 大安 | (9) 138 | 4 | (13) 130 | 4 | (13) 134 | 4 | (35) 402 | 437 | (5) 12 | 17 |
| 4 藤原 | (4) 38 | ☆2 | (4) 47 | 2 | (1) 36 | ☆2 | (9) 121 | 130 | (3) 6 | 9 |
| 合計 | (20) 359 | 12 | (22) 370 | 12 | (24) 372 | 13 | (66) 1101 | 1167 | (13) 37 | 50 |

☆教諭1人あたりの児童及び生徒数☆

| | |
|-------|-------|
| 小学校 | 中学校 |
| 17.0人 | 16.0人 |

※「教諭」のみ的人数で算定

いなべ市内小中学校 児童及び生徒数の推移

令和5年5月1日現在

| 年度 校種 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | R15 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 中学校全体 | 1,185 | 1,167 | 1,144 | 1,114 | 1,100 | 1,097 | 1,094 | 1,109 | 1,072 | 1,057 | 1,006 | 991 |
| 小学校全体 | 2,218 | 2,210 | 2,170 | 2,152 | 2,116 | 2,063 | 2,060 | 2,002 | 2,003 | 1,982 | 1,965 | 1,948 |
| 合計 | 3,403 | 3,377 | 3,314 | 3,266 | 3,216 | 3,160 | 3,154 | 3,111 | 3,075 | 3,039 | 2,971 | 2,939 |

| 年度 学校名 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | R15 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 北勢中学校 | 326 | 316 | 297 | 302 | 303 | 296 | 285 | 300 | 303 | 290 | 263 | 245 |
| 員弁中学校 | 296 | 284 | 285 | 272 | 279 | 279 | 299 | 292 | 280 | 265 | 270 | 280 |
| 大安中学校 | 443 | 437 | 427 | 417 | 401 | 410 | 405 | 413 | 396 | 406 | 378 | 376 |
| 藤原中学校 | 120 | 130 | 135 | 123 | 117 | 112 | 105 | 104 | 93 | 96 | 95 | 90 |

| 年度 学校名 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | R15 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 阿下喜小学校 | 144 | 148 | 158 | 156 | 158 | 151 | 143 | 144 | 136 | 139 | 132 | 134 |
| 治田小学校 | 117 | 112 | 105 | 99 | 86 | 86 | 87 | 83 | 86 | 83 | 86 | 81 |
| 十社小学校 | 107 | 110 | 105 | 100 | 97 | 84 | 80 | 67 | 66 | 65 | 61 | 63 |
| 山郷小学校 | 225 | 233 | 231 | 220 | 222 | 227 | 233 | 224 | 221 | 223 | 222 | 220 |
| 員弁西小学校 | 351 | 338 | 314 | 286 | 285 | 262 | 244 | 243 | 249 | 259 | 245 | 246 |
| 員弁東小学校 | 227 | 233 | 245 | 278 | 277 | 298 | 297 | 290 | 290 | 277 | 279 | 268 |
| 笠間小学校 | 183 | 180 | 167 | 183 | 186 | 186 | 200 | 192 | 197 | 186 | 188 | 186 |
| 三里小学校 | 269 | 273 | 261 | 271 | 262 | 250 | 239 | 240 | 241 | 237 | 240 | 243 |
| 石樽小学校 | 261 | 258 | 281 | 275 | 269 | 273 | 291 | 292 | 290 | 296 | 304 | 294 |
| 丹生川小学校 | 107 | 104 | 98 | 83 | 75 | 63 | 64 | 58 | 56 | 54 | 53 | 54 |
| 藤原小学校 | 227 | 221 | 205 | 201 | 199 | 183 | 182 | 169 | 171 | 163 | 155 | 159 |

いなべ市内小中学校 学級数の推移

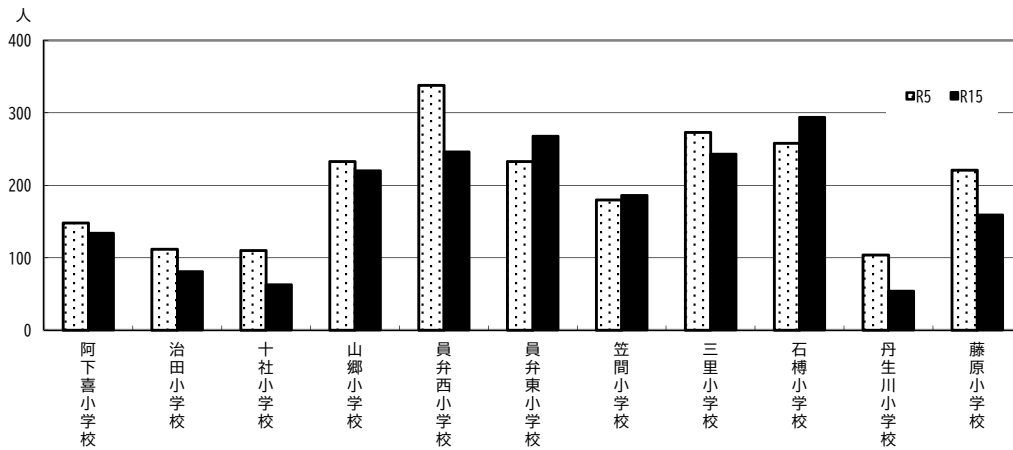
令和5年5月1日現在

※ 学級数については「標準学級数」とする

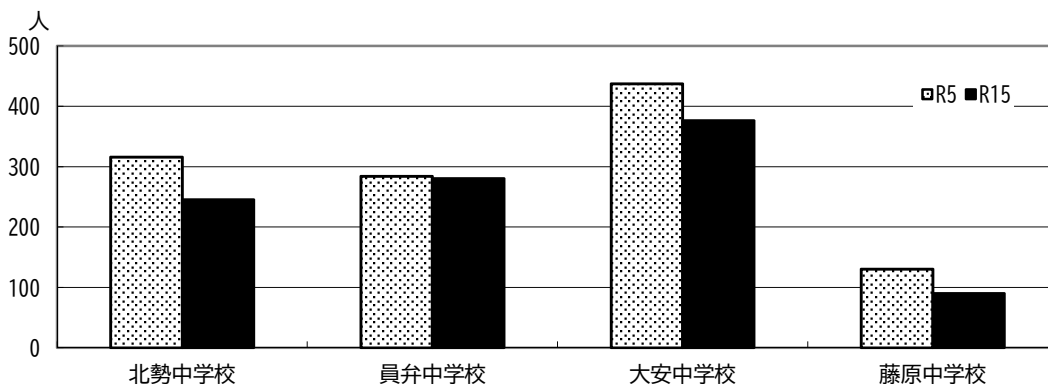
| 年度 学校名 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | R15 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 北勢中学校 | 12 | 11 | 11 | 11 | 13 | 13 | 13 | 12 | 11 | 10 | 9 | 8 |
| 員弁中学校 | 11 | 12 | 12 | 11 | 10 | 12 | 12 | 11 | 11 | 11 | 9 | 9 |
| 大安中学校 | 17 | 17 | 17 | 16 | 16 | 17 | 17 | 16 | 14 | 13 | 11 | 11 |
| 藤原中学校 | 6 | 7 | 8 | 7 | 6 | 5 | 5 | 5 | 4 | 3 | 3 | 3 |

| 年度 学校名 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | R15 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 阿下喜小学校 | 8 | 8 | 8 | 7 | 7 | 7 | 7 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 治田小学校 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 十社小学校 | 7 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 7 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 山郷小学校 | 9 | 11 | 11 | 10 | 11 | 12 | 11 | 11 | 11 | 12 | 11 | 10 |
| 員弁西小学校 | 15 | 15 | 13 | 12 | 12 | 12 | 12 | 10 | 11 | 12 | 12 | 12 |
| 員弁東小学校 | 10 | 11 | 12 | 13 | 13 | 14 | 13 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 |
| 笠間小学校 | 8 | 7 | 7 | 8 | 8 | 8 | 9 | 8 | 8 | 7 | 7 | 7 |
| 三里小学校 | 13 | 13 | 13 | 14 | 13 | 12 | 10 | 10 | 10 | 10 | 11 | 12 |
| 石樽小学校 | 15 | 15 | 15 | 15 | 14 | 14 | 13 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 |
| 丹生川小学校 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 6 | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 |
| 藤原小学校 | 9 | 9 | 8 | 8 | 8 | 7 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |

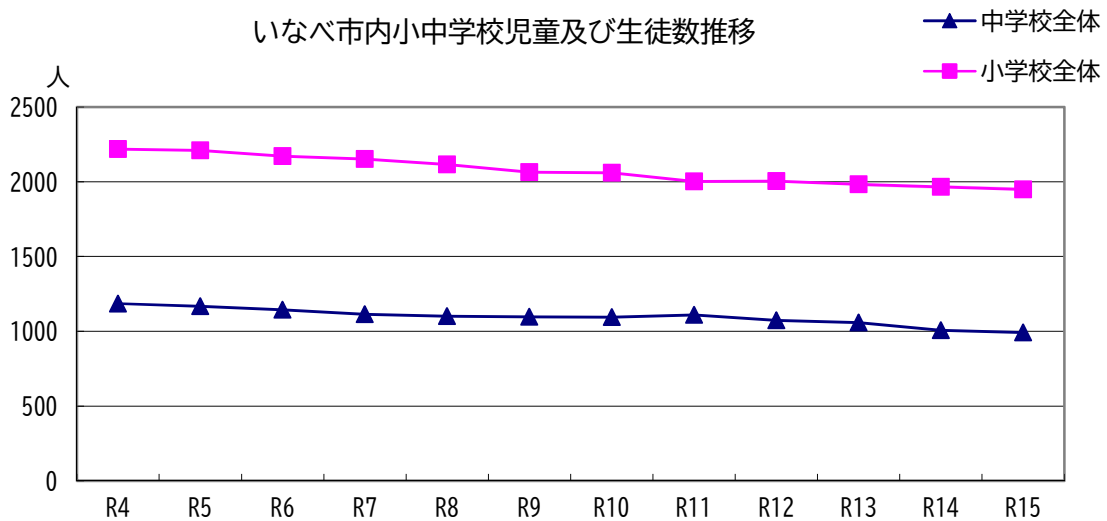
いなべ市内小学校 現在と10年後の児童数



いなべ市内中学校 現在と10年後の生徒数



いなべ市内小中学校児童及び生徒数推移



令和5年度 小中学校教職員数

令和5年5月1日現在

| 小学校 | 県費教職員 | | | | | | | | | | 市費教職員 | | | | 合計 | |
|--------|-------|----|-----|----|----|---|-----|------|------|------|-------|-------|------|------|----|-----|
| | 校長 | 教頭 | 教諭等 | | 講師 | | | 養護教諭 | 栄養教諭 | 事務職員 | 計 | 非常勤講師 | 支援員等 | 用務員等 | | 調理員 |
| | | | 男 | 女 | 男 | 女 | 非常勤 | | | | | | | | | |
| 1 阿下喜 | 1 | 1 | 3 | 6 | | 1 | | 1 | | 1 | 14 | 1 | 4 | 1 | 3 | 23 |
| 2 治田 | 1 | 1 | 4 | 4 | | | 1 | | 1 | 1 | 13 | 1 | 2 | 1 | 3 | 20 |
| 3 十社 | 1 | 1 | 4 | 5 | | | | | 1 | 1 | 13 | 1 | 2 | 1 | 3 | 20 |
| 4 山郷 | 1 | 1 | 4 | 9 | | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 22 | 1 | 7 | 1 | 4 | 35 |
| 5 員弁西 | 1 | 1 | 5 | 12 | | | 2 | 1 | | 1 | 23 | 2 | 4 | 2 | | 31 |
| 6 員弁東 | 1 | 1 | 3 | 7 | | 2 | 1 | 1 | | 1 | 17 | 1 | 4 | 1 | | 23 |
| 7 笠間 | 1 | 1 | 3 | 9 | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 18 | 1 | 2 | 1 | | 22 |
| 8 三里 | 1 | 1 | 5 | 9 | 1 | | 2 | 1 | | 1 | 21 | 2 | 4 | 2 | | 29 |
| 9 石樽 | 1 | 1 | 6 | 12 | | 1 | 3 | 1 | | 1 | 26 | 3 | 5 | 2 | | 36 |
| 10 丹生川 | 1 | 1 | 3 | 6 | | | | 1 | | 1 | 13 | 1 | 1 | 1 | | 16 |
| 11 藤原 | 1 | 1 | 4 | 7 | | 1 | 1 | 1 | | 1 | 17 | | 3 | 1 | | 21 |
| 合計 | 11 | 11 | 44 | 86 | 1 | 7 | 13 | 11 | 2 | 11 | 197 | 14 | 38 | 14 | 13 | 276 |

| 中学校 | 県費教職員 | | | | | | | | | | 市費教職員 | | | | 合計 | |
|------|-------|----|-----|----|----|---|-----|------|------|------|-------|-------|------|------|----|-----|
| | 校長 | 教頭 | 教諭等 | | 講師 | | | 養護教諭 | 栄養教諭 | 事務職員 | 計 | 非常勤講師 | 支援員等 | 用務員等 | | 調理員 |
| | | | 男 | 女 | 男 | 女 | 非常勤 | | | | | | | | | |
| 1 北勢 | 1 | 1 | 10 | 10 | | 2 | 3 | 1 | | 1 | 29 | 2 | 4 | 2 | | 37 |
| 2 員弁 | 1 | 1 | 6 | 9 | 2 | 1 | 2 | 1 | | 1 | 24 | 2 | 3 | 2 | | 31 |
| 3 大安 | 1 | 1 | 14 | 13 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 36 | 1 | 1 | 2 | | 40 |
| 4 藤原 | 1 | 1 | 5 | 6 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 22 | 2 | 2 | 1 | | 27 |
| 合計 | 4 | 4 | 35 | 38 | 6 | 5 | 9 | 4 | 2 | 4 | 111 | 7 | 10 | 7 | 0 | 135 |

| 小学校 ・ 中学校 | 県費教職員 | | | | | | | | | | 市費教職員 | | | | 合計 | |
|-----------------|-------|----|-----|-----|----|----|-----|------|------|------|-------|-------|------|------|----|-----|
| | 校長 | 教頭 | 教諭等 | | 講師 | | | 養護教諭 | 栄養教諭 | 事務職員 | 計 | 非常勤講師 | 支援員等 | 用務員等 | | 調理員 |
| | | | 男 | 女 | 男 | 女 | 非常勤 | | | | | | | | | |
| 総合計 | 15 | 15 | 79 | 124 | 7 | 12 | 22 | 15 | 4 | 15 | 308 | 21 | 48 | 21 | 13 | 411 |

【備考】

1 県費教職員について

- (1) 教諭には指導教諭、主幹教諭、充指導主事、市研修員再任用者、育児短時間勤務者を含む。
- (2) 講師のうち代替（産育休等）、初任研、研修員対応の臨時的任用講師、及び初任研関係、育短勤務者の補充、体育実技補助の非常勤講師は除く。
- (3) 養教、栄教、事務は臨時的任用等を含む。ただし、代替（産育休等）の臨時的任用は除く。

2 市費教職員について

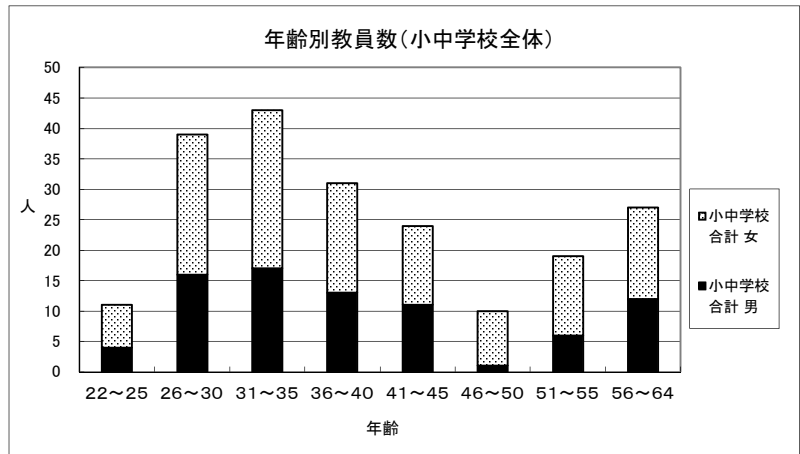
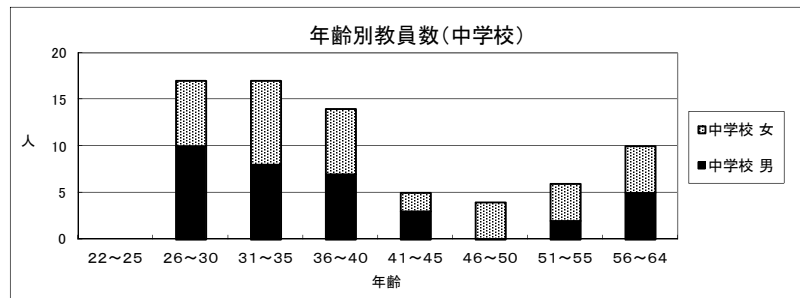
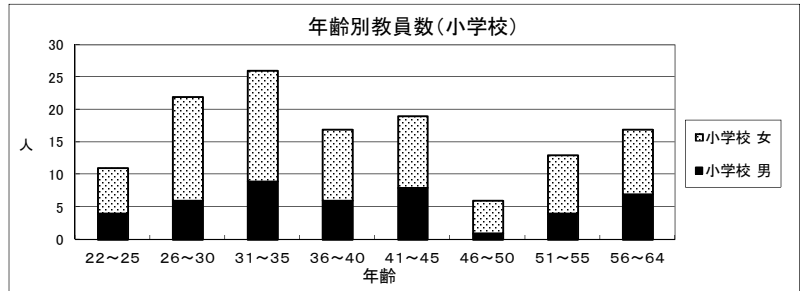
- (1) 支援員等には、国際化対応指導員を含む。

令和5年度 小中学校教諭等の男女別、年齢別構成

※年齢は令和5年4月1日現在

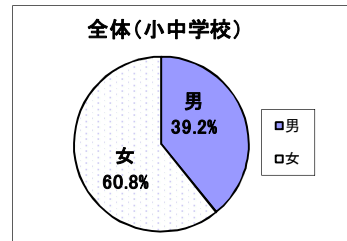
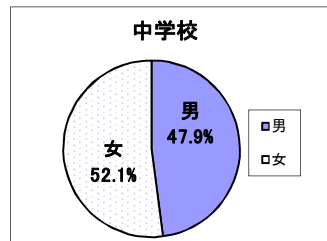
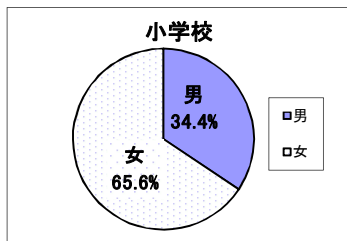
| 年齢(歳) | 小学校 | | 中学校 | | 計 |
|---------|------|------|------|------|------|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | |
| 22 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 23 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| 24 | 2 | 2 | 0 | 0 | 4 |
| 25 | 1 | 4 | 0 | 0 | 5 |
| 26 | 0 | 1 | 3 | 1 | 5 |
| 27 | 3 | 2 | 0 | 1 | 6 |
| 28 | 1 | 2 | 2 | 0 | 5 |
| 29 | 1 | 4 | 1 | 3 | 9 |
| 30 | 1 | 7 | 4 | 2 | 14 |
| 31 | 1 | 2 | 0 | 1 | 4 |
| 32 | 2 | 5 | 2 | 2 | 11 |
| 33 | 2 | 5 | 1 | 4 | 12 |
| 34 | 2 | 2 | 2 | 2 | 8 |
| 35 | 2 | 3 | 3 | 0 | 8 |
| 36 | 1 | 1 | 2 | 0 | 4 |
| 37 | 0 | 3 | 1 | 2 | 6 |
| 38 | 1 | 0 | 0 | 3 | 4 |
| 39 | 3 | 4 | 1 | 2 | 10 |
| 40 | 1 | 3 | 3 | 0 | 7 |
| 41 | 1 | 5 | 1 | 0 | 7 |
| 42 | 1 | 1 | 1 | 0 | 3 |
| 43 | 3 | 2 | 1 | 0 | 6 |
| 44 | 2 | 2 | 0 | 1 | 5 |
| 45 | 1 | 1 | 0 | 1 | 3 |
| 46 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 47 | 0 | 3 | 0 | 1 | 4 |
| 48 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 |
| 49 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 50 | 1 | 1 | 0 | 1 | 3 |
| 51 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 |
| 52 | 3 | 1 | 0 | 0 | 4 |
| 53 | 0 | 3 | 1 | 1 | 5 |
| 54 | 0 | 2 | 0 | 1 | 3 |
| 55 | 0 | 2 | 0 | 1 | 3 |
| 56 | 3 | 0 | 1 | 1 | 5 |
| 57 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 58 | 0 | 2 | 0 | 1 | 3 |
| 59 | 2 | 3 | 0 | 2 | 7 |
| 60 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 |
| 61 | 0 | 2 | 1 | 0 | 3 |
| 62 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 63 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| 64 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 平均年齢(歳) | 小学男 | 小学女 | 中学男 | 中学女 | 小中全体 |
| | 40.1 | 39.5 | 38.7 | 40.7 | |
| | 39.7 | | 38.0 | | |

| 年齢(歳) | 小学校 | | | | 中学校 | | | | 小中学校合計 | | | |
|-------|-----|----|-----|--------|-----|----|----|--------|--------|-----|-----|--------|
| | 男 | 女 | 計 | % | 男 | 女 | 計 | % | 男 | 女 | 計 | % |
| 22~25 | 4 | 7 | 11 | 8.4% | 0 | 0 | 0 | 0.0% | 4 | 7 | 11 | 5.4% |
| 26~30 | 6 | 16 | 22 | 16.8% | 10 | 7 | 17 | 23.3% | 16 | 23 | 39 | 19.1% |
| 31~35 | 9 | 17 | 26 | 19.8% | 8 | 9 | 17 | 23.3% | 17 | 26 | 43 | 21.1% |
| 36~40 | 6 | 11 | 17 | 13.0% | 7 | 7 | 14 | 19.2% | 13 | 18 | 31 | 15.2% |
| 41~45 | 8 | 11 | 19 | 14.5% | 3 | 2 | 5 | 6.8% | 11 | 13 | 24 | 11.8% |
| 46~50 | 1 | 5 | 6 | 4.6% | 0 | 4 | 4 | 5.5% | 1 | 9 | 10 | 4.9% |
| 51~55 | 4 | 9 | 13 | 9.9% | 2 | 4 | 6 | 8.2% | 6 | 13 | 19 | 9.3% |
| 56~64 | 7 | 10 | 17 | 13.0% | 5 | 5 | 10 | 13.7% | 12 | 15 | 27 | 13.2% |
| 計 | 45 | 86 | 131 | 100.0% | 35 | 38 | 73 | 100.0% | 80 | 124 | 204 | 100.0% |



教諭男女別人数 (指導・主幹・再任用を含む)

| | 男 | 女 | 計 |
|-----|----|-----|-----|
| 小学校 | 45 | 86 | 131 |
| 中学校 | 35 | 38 | 73 |
| 合計 | 80 | 124 | 204 |



奨学金制度、私学助成制度

◆奨学金制度

いなべ市在住の優秀な学生生徒であって、経済的理由により修学が困難な者に対し、奨学金を貸付け、有用な人材育成を図っています。

奨学金貸与額

| 区分 | 額 | 貸与月額 | 貸与期間 |
|--------|---|-----------|--------|
| 高等学校 | | 10,000円以内 | 正規修業期間 |
| 高等専門学校 | | 15,000円以内 | 正規修業期間 |
| 大 学 | | 20,000円以内 | 正規修業期間 |

◆私学助成制度

私立学校の教育振興、経営の健全性を高めるための助成措置を行っています。

私立高校に通学する市内在住生徒一人当たり 4,000円 (令和4年度)

教育研究所資料

令和5年度 教育研究所運営方針

1 基本方針

心豊かでたくましい子どもを育成するために、学校、家庭及び関係機関と緊密な連携を保ちながら、下記の事業を推進し、いなべ市の教育の発展に寄与することに努める。

- (1) 今日的な教育課題、いなべ市の教育課題についての調査及び研究を行う。
- (2) 教職員としての専門的知識や技能を高め、資質、指導力の向上を図るための研修を行う。
- (3) 他機関・外部講師と連携をとって研修、研究の支援を行う。
- (4) 資料・図書を収集整備し、資料提供を行う。(資料、情報センターとしての機能を充実させる。)
- (5) 研究普及活動を中心に教育現場や市民との連携を密にした広報活動を行う。
- (6) その他、教育委員会が必要と認めることを連携して行う。

『 いなべの教育の泉 』

～みんなの手と心で創る教育研究所～

「土の中から湧き出る泉」

子ども、保護者、地域に信頼される“いなべの地域に根ざす教育”の泉

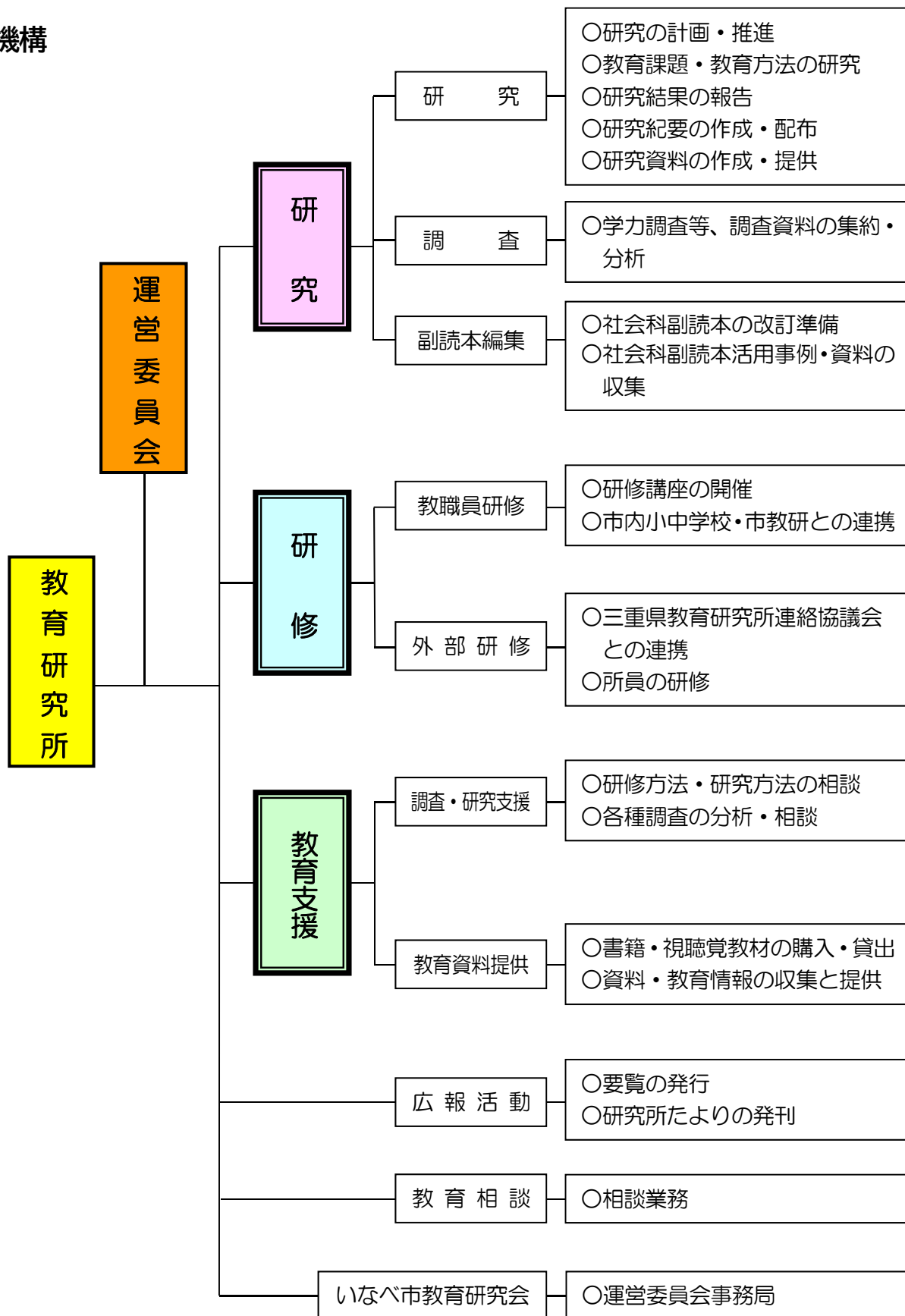
「人が自然と寄り集まる泉」

聞きたい、話したい、学び合いたい思いを持ち寄って集い、高め合う泉

「潤いをつくる源としての泉」

豊かな心と感性・確かな学力・人とのつながり、教育の潤いをつくる泉

運営機構



事業概要

1 研究事業

本市の当面する教育課題の中から、学校教育に関わる諸課題の調査・研究を行います。

(1) 教育課題の研究

今日的な教育課題、いなべ市の教育課題について、調査及び研究を行います。

(2) 調査、統計、資料作成

学力調査等の各種調査、統計に関する分析を行い、資料作成や提供をします。

(3) 研究のまとめ

研究の成果をまとめた研究紀要を作成し、配布します。

(4) 社会科副読本の活用

小学校3・4年生社会科副読本の改訂準備を行います。

2 研修事業

教職員の資質向上、指導力向上を図るため、研修講座を実施します。

(1) スペシャリスト直伝、教科研修 ～その道のプロから授業づくりの極意を学ぼう～

年間を通して、授業の達人から、授業力アップのポイントや教材について具体的に学ぶことを支援する講座です。

(2) 一人力・仲間力UP！ 教育課題研修 ～いなべの未来を創るのはわたしたち！～

様々な教育課題や教職員の経験年数に合わせて、より深く学び、新たな実践が創造できるよう支援する講座です。

(3) 出前研修 ～校内研修や部会研修を支援～

いなべ市内小中学校、いなべ市教育研究会を対象として、校内研修・研究会の学習会を支援する講座です。

3 教育支援事業

(1) 調査、研究支援

○関係機関や外部講師と連携を図りながら、研修方法や研究方法についての相談業務を行います。

○学力調査等の結果を活用し、研修方法や研究方法についての相談業務を行います。

(2) 教育資料提供

○教育図書、視聴覚資料等の教育資料を整備、充実し、研修や研究、実践に広く活用できるよう情報の提供を行います。

○校務支援システムや共有フォルダを活用し、教育に関わる資料の提供を行います。

○各種研究機関の研究資料の収集と提供を行います。

○各校の研修、研究資料の収集と提供を行います。

4 広報活動事業

教育研究所における諸活動についての理解を深めるために、広報活動を行います。

○研究所要覧の作成と配布をします。

○研究、教育に関する情報を提供します。

○研究所たよりを発刊し、情報や資料を提供します。

5 その他

- 学校教育・家庭教育に関わる教育相談を行います。
- いなべ市教育研究会事務局を担当し、いなべ市教育研究会の運営を行います。
- 初任者研修、教職6年次研修、中堅教諭等資質向上研修等に関わる事務を行います。
- 小学校教員の英語力向上のための研修会を行います。
- 教科用図書無償給与に関わる事務を行います。
- GIGAスクール構想の実現に向けたICT活用推進のための会議、研修会を行います。

<これまで取り組んだ研究主題>

| | |
|--------|--|
| 平成18年度 | ①子どもの生活づくり ②「つくり手」を育む人権教育 |
| 平成19年度 | ①コミュニケーション能力をどう育成するか ②生活リズムと自己肯定感 |
| 平成20年度 | ①算数科における考える力、活用について ②小学校英語活動～扉をひらく～ |
| 平成21年度 | ①子どもの目が輝く外国語活動 ②科学的思考力、表現力を育む小学校理科の授業 |
| 平成22年度 | ①「言葉」を重視する小学校理科の授業 ②安心して学べる環境づくり～豊かな心を育む道德教育～ |
| 平成23年度 | ①豊かな心を育み、よりよく生きる力を培う道德教育 ②言葉の重視と体験の充実をめざした小学校社会科の授業 |
| 平成24年度 | ①社会形成力を育む小学校社会科の授業づくり ②よりよい生活の実現に向けて、実践的な態度の育成を図る家庭科教育 |
| 平成25年度 | ①「学ぶ意欲」の向上をめざして ②子どもたちが意欲的に取り組むための理科授業の在り方 |
| 平成26年度 | ①「観察・実験」を中心とした体験活動の充実を図る小学校理科授業 ②不登校児童生徒の減少のために |
| 平成27年度 | ①主体的に学ぶ力を育む問題解決学習 ②ICTを活用した授業づくり |
| 平成28年度 | ①協働的な学びを育むICTを活用した授業づくり ②ユニバーサルデザインの視点を活かした授業づくり |
| 平成29年度 | ①子どものアセスメントをもとにしたユニバーサルデザインの授業づくり ②一人ひとりの自己実現を可能にする人権教育 |
| 平成30年度 | ①タブレット端末等を活用した授業づくり ②教師も児童も「国語が好き！」を目指す |
| 平成31年度 | ①教師も児童も「国語が好き！」をめざす ②情報活用の実践力を育む有効な指導方法の研究 |
| 令和2年度 | ①書くことが好きな子を育てる作文系統指導 ②特別支援学級における個に応じたタブレット端末等の活用法 |
| 令和3年度 | ①発達段階に応じた「情報活用の実践力」の育成 ②「個別最適な学び」の実現のために |
| 令和4年度 | ①国語科における教員の指導観と指導方法について ②今年度のいなベンチャーの取組みと今後の方向性についての一試案 |

令和5年度 研修講座一覧

A. スペシャリスト直伝・教科研修～その道のプロから授業づくりの極意を学ぼう！～

| 番号 | 開催日 | 曜 | 開始 | 終了 | 講座名 | 所属・講師 | 内容 | 会場 |
|-----|------|---|-------|-------|------------------|--|--|---------------------|
| A-1 | 7/31 | 月 | 13:30 | 16:30 | 授業づくり：算数 | 筑波大学附属小学校教諭 森本 隆史 | 「子どもから引き出す」を授業観として大切に、「子どもたちが 主役の授業」を実践してみえる森本隆史先生。そんな森本先生か ら、授業を変える言葉と子どもとのかわり方を具体的な教材を 用いた模擬授業を通して学ぼう。 | 員弁コミュ ニティプラ ザ |
| A-2 | 8/1 | 火 | 13:30 | 16:30 | 授業づくり：国語 | 関西学院初等部教諭 森川 正樹 | 「書くこと指導」を通して「書きたくてたまらない子」を育てる 実践や「子どもが熱中する授業づくり」など、多くの研究をされ ている森川正樹先生から、「クラス全員が楽しく熱中する」国語 の授業づくりについて学ぼう。 | 大安公民館 大会議室 |
| A-3 | 8/7 | 月 | 13:30 | 16:30 | 「いのちの授業」を つくる | いのちをバトンタッチする会 代表 鈴木 中人 岐阜聖徳学園大学教授 玉置 崇 | 自らの経験をもとに、全国で「いのちの授業」をされている鈴木 中人さん。校長時代に、鈴木さんの「いのちの授業」で、生徒の 変容を目の当たりにされた玉置崇先生。お二人から、「いのちの 授業」の価値や実践のヒントをお話いただけます。 | 大安公民館 大会議室 |
| A-4 | 8/25 | 金 | 13:30 | 16:30 | 授業づくり | 立正大学心理学部教授 鹿嶋 真弓 | 予測困難な時代を生き抜くために、子どもが主体となる授業への 転換が求められている。「知りたい!」知的好奇心を刺激する「問 いを創る授業」を実践されている鹿嶋真弓先生から、子どもが主 体となる「授業づくり」について学ぼう。 | 員弁コミュ ニティプラ ザ |
| A-5 | 8/29 | 火 | 9:30 | 11:30 | 授業づくり：体育 | ハドル・スポーツクラブ 平井 博史 他 | 鉄棒・マット運動・跳び箱の指導や補助に困っていませんか。保 育施設や小学校に講師派遣をされているハドル・スポーツクラブ の先生方から、安全で、子どもたちが「できた!」と感じられる 体育の授業づくりについて学ぼう。 | 員弁中学校 体育館 |

B. 一人力 仲間力UP! 教育課題研修～いなべの未来を創るのはわたしたち!～

| 番号 | 開催日 | 曜 | 開始 | 終了 | 講座名 | 所属・講師 | 内容 | 会場 |
|-----|------|---|-------|-------|--|--------------------------------|--|---------------------|
| B-1 | 7/24 | 月 | 13:30 | 16:30 | 児童生徒理解 ～「いい子症候群」 との関わりに生かす コーチング～ | (株)ゆめかな代表取締役 石川 尚子 | 「いい子」に見えるその子は、実は「いい子」でいようと しすぎる子」なのかもしれません。自分の人生を自分の 力で生きた子どもを育てるために、コーチングを専門と する石川尚子先生から、「真」の自己肯定感の育み方を学 ぼう。 | 大安公民館 大会議室 |
| B-2 | 7/26 | 水 | 13:30 | 16:30 | 学校と著作権 | 東京理科大学教授 宮武 久佳 | 「教育現場ではコピーしても大丈夫」と思っていないせんか。 「著作権ハンドブック」の著者である宮武久佳先生か ら、学校における「著作権の基本的な考え方」について学 びます。先生方の質問に答える「著作権Q&A」も実施予 定です。 | 員弁コミュ ニティプラ ザ |
| B-3 | 7/28 | 金 | 13:30 | 16:30 | 学級づくり ～特別支援教育の視 点から～ | 杉並区立済美養護学校 主任教諭 川上 康則 | 豊富な教育実践をもとに研修会を開催されている川上康 則先生。特別支援教育の視点から、子ども一人一人の特 性を理解し、『教室のあの子』とのかかわり方を考える「子 ども理解を大切に学級づくり」について学ぼう。 | 員弁コミュ ニティプラ ザ |
| B-4 | 8/21 | 月 | 13:30 | 16:30 | 教師論 ～未来への学び～ | 熊本大学大学院教育学研究科 特任教授 前田 康裕 | 大人気シリーズ『まんがで知る教師の学び』の著者、前田 康裕先生。先生が大切にされ実践してみえた事例や理論 から、「これからの学校教育を担う私達の学びとは何か」 「どんな考え方を身につけておくとういのか」をお話いた します。 | 石博小学校 石博ホール |
| B-5 | 8/22 | 火 | 13:30 | 16:30 | 教育に生かす ポジティブ心理学 | 関西医科大学医学部 心理学教室教授 西垣 悦代 | 「ポジティブ心理学」は、個人や集団がよりよく生きる (Well-being)ための研究と実践です。西垣悦代先生から、 「ポジティブ心理学」とは何か、教育場面でどう活用す るかにについて、わかりやすくお話いただけます。 | 大安公民館 大会議室 |
| B-6 | 8/24 | 木 | 13:30 | 16:30 | スマホ・ゲーム依存 の予防と対応 | MIRA-i公認心理師 森山 沙耶 | 民間会社で初めてネット・ゲーム依存専門の予防回復支 援の組織MIRA-iを立ち上げた森山沙耶先生。森山先生か ら「ネット・ゲームとの適切なつきあい方」「ネット・ゲ ーム依存への予防・回復方法」「学校としてできること」 を学ぼう。 | 員弁コミュ ニティプラ ザ |

*この他にも、発達支援課との連携として開催する「特別支援教育研修」、校内研修を支援する「出前研修」が予定されています。

いなべ市立小中学校使用教科書一覧

令和5年度 使用小学校用教科書（北勢第1地区）

| | | | | | |
|----|----|----|----|----|-----|
| 国語 | 書写 | 社会 | 地図 | 算数 | 理科 |
| 光村 | 光村 | 日文 | 帝国 | 東書 | 啓林館 |

| | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|-----|----|
| 生活 | 音楽 | 図工 | 家庭 | 保健 | 外国語 | 道徳 |
| 啓林館 | 教芸 | 日文 | 東書 | 光文 | 東書 | 教出 |

令和5年度 使用中学校用教科書（北勢第1地区）

| | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|
| 国語 | 書写 | 社会 | | | 地図 | 数学 | 理 科 |
| | | 地理 | 歴史 | 公民 | | | |
| 光村 | 光村 | 帝国 | 東書 | 日文 | 帝国 | 啓林館 | 啓林館 |

| | | | | | | | |
|-----|----------|----|----------|-------|----|-----|-----|
| 音 楽 | | 美術 | 保健 体育 | 技術・家庭 | | 英 語 | 道 徳 |
| 一般 | 器楽 合奏 | | | 技術 | 家庭 | | |
| 教芸 | 教芸 | 日文 | 東書 | 東書 | 東書 | 光村 | 日文 |

放課後児童クラブ実施状況

| クラブ名 | 住所 | 代表者 | 電話番号 | 平成 | 平成 | 平成 | 令和 | 令和 | 令和4年度 | | | | |
|-----------------|-------------------|-------|-------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|------|----|-----|------|
| | | | | 29 | 30 | 31 | 2 | 3 | 在籍児童数 | | | 職員数 | 開設日数 |
| | | | | 児童数 | 児童数 | 児童数 | 児童数 | 児童数 | 1～3年 | 4～6年 | 計 | | |
| はっぴーきっず | 北勢町垣内 480番地2 | 伊藤歌奈子 | 72-6400 | 18 | 16 | 21 | 24 | 25 | 27 | 5 | 32 | 6 | 250 |
| なかよし ハッピーきっず | 北勢町其原 95番地6 | 伊藤 葵 | 72-5444 | 35 | 36 | 41 | 34 | 30 | 22 | 5 | 27 | 9 | 250 |
| さくらんぼ | 大安町平塚 1203番地2 | 荒木 佳子 | 78-3050 | 30 | 30 | 30 | 33 | 33 | 29 | 7 | 36 | 6 | 250 |
| いしぐれっこ | 大安町石樽南 335番地 | 堀内さおり | 080- 4211-6329 | 30 | 29 | 37 | 23 | 31 | 20 | 1 | 21 | 9 | 250 |
| スプリング | 員弁町楚原 644番地19 | 多湖 香 | 74-5559 | 44 | 34 | 33 | 31 | 36 | 27 | 12 | 39 | 4 | 250 |
| ふじっ子くらぶ | 藤原町下野尻 963番地 | 川瀬 幸子 | | 12 | 14 | 7 | 3 | 3 | 0 | 3 | 3 | 5 | 250 |
| smile | 大安町門前 518番地10 | 杉本 弘子 | 070- 5252-3016 | 21 | 25 | 23 | 29 | 33 | 21 | 6 | 27 | 6 | 250 |
| すきっぷ きっず | 北勢町阿下喜 2542番地6 | 鈴木 直子 | 87-7305 | 19 | 21 | 27 | 32 | 30 | 22 | 5 | 27 | 7 | 250 |
| サクラ | 員弁町楚原 644番地19 | 岸本 尚子 | 74-6565 | 16 | 35 | 44 | 32 | 31 | 31 | 4 | 35 | 4 | 250 |
| おおざくら | 大安町丹生川 上650番地1 | 羽場 広務 | 35-5337 | 13 | 19 | 18 | 26 | 23 | 13 | 12 | 25 | 13 | 250 |
| 真名 | 藤原町市場 494番地2 | 渡邊智恵美 | 090- 7314-9963 | 4 | 9 | 17 | 24 | 29 | 17 | 10 | 27 | 4 | 250 |
| 学童石樽 | 大安町石樽南 335番地 | 寺本 洋樹 | 080- 4211-6329 | / | / | / | 12 | 14 | 7 | 6 | 13 | 6 | 250 |
| とやしろっこ | 北勢町畑毛 634番地 | 本多 益 | 070- 1674-0336 | / | / | / | / | / | 13 | 7 | 20 | 7 | 250 |

指定文化財一覧表

| 指定 | 種別 | 指定番号 | 名称 | 所在地 | 概要及び指定年月日 | |
|--------------|----------------|-------|---------------------|--|--|--|
| 国指定 | 記念物 特別天然記念物 | | カモシカ | 鈴鹿山系 | 広く本州及び四国、九州山岳地帯に生息繁殖する本邦特有の極めて貴重なウシ科の動物。昭和9年5月1日指定。 | |
| | | 天然記念物 | | イヌワシ | 鈴鹿山系 | 翼を広げると2mにもなる大型の猛禽類。三重県内では、鈴鹿山脈で生息している。昭和40年5月12日指定。 |
| | | | | ネコギギ | 員弁川水系 | 東海3県の伊勢湾に注ぐ河川の中、上流域のみに生息するギギ科の淡水魚。昭和52年7月2日指定。 |
| 県指定 | 有形文化財 建造物 | | 宝篋印塔 | 北勢町川原 | 南北朝時代の仏塔。塔の主「浄心妙因」は、初代美濃国守護「土岐頼貞」の妻といわれる。昭和28年5月7日指定。 | |
| | | 彫刻 | | 誕生釈迦仏立像 | 員弁町上笠田 | 白鳳時代の仏像。銅製で像高9cm。右手を高く挙げ、天上天下唯我独尊の形を示す。平成10年3月17日指定。 |
| | | | 薬師如来像 | 大安町門前 | 制作年代、作者不明。木造桧材寄木造で像高89.4cmの結跏趺坐（けっかふざ）。昭和54年3月27日指定。 | |
| | 民俗文化財 有形 | | 刻限日影石 | 員弁町笠田新田 | 江戸時代。笠田新田、大泉新田両地区の水争いを収めるため、大泉新田の里親 懸野松右衛門が考案した日時計。昭和42年2月10日指定 | |
| 記念物 天然記念物 | | 篠立の風穴 | 藤原町篠立 | 石灰岩中にできた洞穴。洞穴内にはキクガシラコウモリ、ウエノホラケヤスデなどの貴重な生物が生息する。昭和52年3月28日指定。 | | |
| 市指定 | 民俗文化財 有形 | 19 | 坂本の曳山車 附 坂本青年団文書 | 藤原町坂本 | 明治時代。素木造り。囃子を演奏する上山と、子ども狂言を行う舞台を備えた下山からなる。滋賀県の長浜の職人桐山弥七作。平成18年6月26日いなべ市指定。 | |
| | | 6 | 八幡祭 | 北勢町阿下喜 | 阿下喜の大西神社の祭礼。毎年7月下旬に「みこし渡御」が行われる。平成15年3月3日北勢町指定。 | |
| | | 13 | 大井田弁天祭 | 大安町大井田 | 毎年8月25日に行われる。提灯をつるした山車を引いて、清水を汲み取り村社へ供える水取神事。平成9年1月22日大安町指定。 | |
| | | 14 | 鴨神社夜火松明 | 大安町丹生川上 | 3年に一度の鴨神社大祭に行われる。周囲4.5m、重さ900kgの大松明に火をともして行う奇祭。平成9年1月22日大安町指定。 | |
| | | 15 | 坂本曳山車囃子 | 藤原町坂本 | 鳴谷神社例祭の曳山行事で奏でられる。囃子は「祇園囃子」「しやぎり」「山車おろし」の3曲がある。昭和58年5月12日藤原町指定。 | |
| | | 16 | 下野尻春日神社 奉納獅子舞 | 藤原町下野尻 | 「狂乱牡丹の舞」の称する獅子舞で、春日神社の例祭に奉納される。昭和58年5月12日藤原町指定。 | |
| | 記念物 史跡 | 4 | 治田城跡 | 北勢町麓村 | 中世の城館跡。山頂から中腹にかけて、三段に削平し城を構築。主郭の規模は東西約130m×南北約150m。平成15年3月3日北勢町指定。 | |
| | | 5 | 田辺城跡 | 北勢町田辺 | 中世の城館跡。北勢地方有数の大規模な城跡で、主郭は土塁と二重の空堀に囲まれる。平成15年3月3日北勢町指定。 | |
| | | 7 | 金井城址 | 員弁町北金井 | 永正2年（1505年）に種村大蔵大夫高盛が築いたとされる。南北約120m×東西約60mを測り、西には空堀をめぐらす。昭和58年2月14日員弁町指定。 | |
| | | 8 | 岡一号古墳 | 員弁町東一色 | 全長40mの前方後円墳。大正時代に水晶製勾玉などが発見されたと伝えられる。昭和58年2月14日員弁町指定。 | |
| | | 12 | 片樋マンボ | 大安町片樋 | 江戸時代後期に水田用水確保のために作られた地下水集水施設。全長約1,000m。平成9年1月22日大安町指定。 | |

| | | | | |
|-------|----|------------------------------------|---------|--|
| 天然記念物 | 1 | 寝櫃の木 | 北勢町南中津原 | 幹周り1m前後の櫃の木が7本地面を這うように生育。平成15年3月3日北勢町指定。 |
| | 2 | 大櫃の木 | 北勢町南中津原 | 幹周り5.5m、樹高10m。平安時代末期の植栽と伝えられる。平成15年3月3日北勢町指定。 |
| | 3 | 石神社の社叢 | 北勢町飯倉 | ツブラジイなど石神社の周囲の巨樹。平成15年3月3日北勢町指定。 |
| | 9 | 楨ノ木 | 員弁町畑新田 | 樹高15m。樹齢700年と伝えられる。昭和58年2月14日員弁町指定。 |
| | 10 | コノハナザクラ | 員弁町坂東新田 | 4月下旬に開花する八重のヤマザクラの変種。平成11年8月18日員弁町指定。 |
| | 11 | 石部神社の杉並木 | 大安町石樽南 | 石部神社の参道にある23本のスギをはじめ、桧などの巨樹を含む。平成9年1月22日大安町指定。 |
| | 17 | 鳴谷神社社叢 | 藤原町坂本 | スギをはじめとした鳴谷神社の周囲の巨樹。平成9年11月11日藤原町指定。 |
| | 18 | 龍王さんの大杉 | 藤原町篠立 | 幹周り4.5m。木の根元には山岳信仰の修行場があったと伝えられる。平成13年12月21日藤原町指定。 |
| | 20 | 篠立郷境より上流の三国谷に生息する無斑型（イワメ）を含むアマゴ個体群 | 藤原町篠立 | 員弁川水系の三国谷に生息するアマゴ個体群。通常のアマゴに見られるパーマーク、朱点、黒点がないイワメが混在する。平成18年7月21日いなべ市指定。 |

※特別天然記念物及び天然記念物については、現在いなべ市内で確認できるものを記載している。

登録文化財一覧表

| 指定 | 種別 | | 指定番号 | 名称 | 所在地 | 概要及び指定年月日 |
|-----|-------|-------|------|--------------------|-----------|---|
| 国登録 | 有形文化財 | 建造物 | | 桐林館 (旧阿下喜小学校校舎) | 北勢町阿下喜 | 木造、平屋建、瓦葺、入母屋造(塔屋付)、345㎡。昭和12年3月10日、阿下喜町立尋常高等小学校として落成。昭和56年6月まで学校校舎として供用された。その後第1線校舎を一部改修し校舎後方へ復元配置した。平成26年10月7日登録。 |
| 国登録 | 有形文化財 | 建造物 | | 旧阿下喜小学校門及び石柵 | 北勢町阿下喜 | 正門(石造)間口6.0m、門(石造)間口2.8m、石柵(石造)総延長71m。大正9年から大正15年にかけて阿下喜町立尋常高等小学校の前身建物や役場の門及び石柵として整備。平成26年10月7日登録。 |
| 市登録 | 記念物 | 天然記念物 | 1 | 新町の「カンモモ」 | 北勢町新町鈴原地内 | 文久元年10月、和子内親王が將軍家茂へ降嫁となって江戸へ向かう途中の美濃赤坂の御泊所へ寒桃の実が持参献上された。また数少ない野生種の可能性がある。平成25年4月1日登録。 |

体育施設一覧表

令和5年4月1日現在

| No. | 設置年度 | 施設名称 | 施設所在地 | 敷地面積 (概数) | 階数 | 施設規模 | 施設仕様 | 施設内容 | 駐車場 | 付属施設等 |
|-----|-------|-------------------------|------------------------|--------------|-------------|-----------------------------------|------------------------------------|---|--------------|--|
| 1 | S. 57 | 北勢武道場 | 511-0428 北勢町阿下喜1980 | 601 ㎡ | 1階 | 競技用面積 377㎡ (柔道0畳) | 鉄骨造り、 室内 畳敷き | 柔道場2面 (旧小学体育館使用。 S30年代建築) | 共用40台 | 更衣室2、 会議室、 男女トイレ |
| 2 | S. 46 | 北勢 其原グラウンド | 511-0426 北勢町其原707 | 9,305 ㎡ | --- | 競技用面積 8,000㎡ | 周囲フェンス及びネット、 山砂 | 多目的運動場 (野球場1面相当) | 70台 | 照明設備なし |
| 3 | H. 5 | 北勢 中山グラウンド | 511-0433 北勢町中山5-2 | 13,826 ㎡ | --- | 競技用面積 8,600㎡ | 周囲フェンス及びネット、 洗い砂 | 多目的運動場 (野球場1面相当)、 バックネットあり | 共用50台 | 照明設備なし |
| 4 | S. 59 | 員弁運動公園 体育館・柔剣道場 | 511-0202 員弁町楚原936 | 9,420 ㎡ | 2階 (体育館) | 競技用面積 1,750㎡ | 鉄骨造、板張り (体育館・剣道場)、 畳敷き(柔道場) | バレーコート3面相当 (バドミントン2面、バト ミントン6面) 柔道場・剣道場各 1面<併設> | 共用40台 | ステージ、サキットレ ーニング室、和 室、会議室、観 客席331席(2 階)、障害者用ト イレ |
| 5 | S. 59 | 員弁運動公園 運動場 | 511-0202 員弁町楚原936 | 10,184 ㎡ | --- | 競技用面積 10,184㎡ | 周囲フェンス及びネット、 アンツカ | 多目的運動場1面 (野球、サッカー) | 共用58台 | 男女トイレ、 障害者用トイレあり |
| 6 | H. 6 | 員弁運動公園 テニスコート | 511-0202 員弁町楚原936 | 3,000 ㎡ | --- | 競技用面積 2,915.21㎡ | 周囲フェンス及びネット、 ゴムコート(砂入り人工芝) | テニスコート4面 (全天候型) コート張替H24年度 | 共用50台 | 照明設備あり |
| 7 | H. 8 | 員弁運動公園 野球場 | 511-0202 員弁町楚原936 | 9,374 ㎡ | 1階 (ハンフ) | センター110m、両 翼90m、 9,373.98㎡ | 周囲フェンス及びネット、 アンツカ、天然芝 | 野球場1面 (外野天然芝) | 共用83台 | ハンフ、 照明設備あり、 観客席(オープンスタ ンド) |
| 8 | H. 8 | 員弁運動公園 サッカー場 | 511-0202 員弁町楚原936 | 13,000 ㎡ | --- | 競技用面積 12,763㎡ | 周囲フェンス及びネット、 天然芝 | サッカー場1面 (天然芝生養生期 間あり) | 共用14台 | 観客席(オープンスタ ンド)※周囲650m ランニングコース、照 明設備あり |
| 9 | H. 9 | 員弁運動公園 海洋センター プール | 511-0202 員弁町楚原936 | 3,182 ㎡ | 2階 (管理棟) | 競技用面積 208.18㎡ | 屋外プール | 25m(8コ-ZH1.4m) 1面、幼児用プール 1面(7月~8 月) | 体育館用 を利用 | 更衣室2、ピ ー、男女トイレ、貸 カあり |
| 10 | H. 25 | 員弁御園 グラウンド | 511-0222 員弁町御園580-1 | 16,714 ㎡ | 1階 (倉庫) | 競技用面積 9,992㎡ | 周囲フェンス及びネット、 真砂土 | 野球場1面 (少年野球2面) | 88台 | 男女トイレ、 (照明設備なし) |
| 11 | H. 2 | 大安武道館 | 511-0266 大安町石樽南335 | 830 ㎡ | 1階 | 柔道場1面、 剣道場1面 | 鉄骨造り、 板張り(剣道 道)、 畳敷き(柔道場) | 柔道場1面、剣道 場1面 | 共用34台 | 更衣室 男女イ レ、和室1室 |
| 12 | S. 59 | 大安西部運動場 | 511-0272 大安町鍋坂2225 | 7,000 ㎡ | --- | 多目的運動場 | 周囲フェンス及びネット、 砂 | 多目的運動場 (野球場用バックネット) | 20台 (枠なし) | 男女トイレ、 (照明設備なし) |
| 13 | S. 54 | 大安スポーツ公 園体育館 | 511-0292 大安町大井田2704 | 2,300 ㎡ | 1階 | 競技用面積 1,049㎡ バレーコート 2面相当 | 鉄骨コンクリート 造垂鉛メッキ鋼板 葺平屋建、板張り | バレーコート2面相当 (バドミントン6面、 支柱3面分)、移 動式バドミントン コート1対 | 共用42台 | 更衣室、男女イ レ、 観客席 (イス360席) |
| 14 | S. 53 | 大安スポーツ公 園野球場 | 511-0292 大安町大井田2704 | 12,150 ㎡ | 1階 (ハンフ) | センター110m、両 翼91m | 周囲フェンス及びネット、 真砂土、 芝生 | 野球場1面、 外野芝生 | 共用76台 | 男女トイレ、観 客 席(オープンスタ ンド) |
| 15 | S. 58 | 大安スポーツ公 園テニスコート | 511-0292 大安町大井田2704 | 3,200 ㎡ | --- | テニスコート4面 | 周囲フェンス及びネット、 ゴムコート(砂入り人工芝) | テニスコート4面(照明 設備あり(手動 式)、全天候型) | 共用19台 | 男女トイレ |

| No. | 設置年度 | 施設名称 | 施設所在地 | 敷地面積【概数】 | 階数 | 施設規模 | 施設仕様 | 施設内容 | 駐車場 | 付属施設等 |
|-----|-------|------------------|-------------------------|-------------|-------------|-----------------|--------------------------|---|--------------|--|
| 16 | H. 6 | 大安スポーツ公園スパーク大安 | 511-0292 大安町大井田2704 | 1,600 ㎡ | 1階 | ゲートボール場 2面 | 鉄骨造り、 砂入人工芝 | ゲートボール場2面相当 (テニスコート1面相当)、 屋根付 | 共用19台 | (クラブハウス内)男女 トイレ、障害者用 トイレあり、照明設 備あり |
| 17 | S. 53 | 大安スポーツ公園運動場 | 511-0292 大安町大井田2704 | 5,800 ㎡ | --- | 多目的運動場 | 周囲フェンス、 砂 | 多目的運動場 (サッカー、ソフトボール、 ゲラウンドゴルフ利用可) | 共用97台 | 男女トイレ、 (照明設備なし) |
| 18 | S. 53 | 大安海洋センター 一体育館 | 511-0284 大安町梅戸2341-1 | 8,231 ㎡ | 1階 | バレーコート 2面相当 | 鉄骨造り、 板張り | バレーコート2面相当 (バスケットボール1面相当) | 共用60台 | 大安海洋センター武 道場と共用(男女 トイレ、更衣室 2、会議室、事 務室) |
| 19 | S. 53 | 大安海洋センター 一武道場 | 511-0284 大安町梅戸2341-1 | 535 ㎡ | 1階 | 剣道場2面 | 鉄骨造り、 板張り | 剣道場2面 <大安海洋センター体 育館に併設> | 共用60台 | 併設体育館と共 用(男女トイレ、 更衣室2、会議 室、事務室) |
| 20 | S. 54 | 大安海洋センター 一艇庫 | 511-0273 大安町平塚1558 | 2,956 ㎡ | 1階 (艇庫) | 倉庫1棟、 貸出用ボート | 鉄骨平屋建 | 艇庫 (ヨット、カヌー、ボ ート) | 20台 (枠なし) | (ボート、カヌーを隣 接の池で利用) 更衣室、トイレ |
| 21 | S. 63 | 藤原運動場 | 511-0511 藤原町市場493-1 | 10,000 ㎡ | --- | 競技用面積 9,000㎡ | 周囲フェンス及びネッ ト、アンツカ | 多目的運動場 (陸上200mトラック、 投てき、三段跳び跳 場、サッカー場1面相当) | 共用 350台 | 男女トイレ、 照明設備あり |
| 22 | S. 54 | 藤原第1野球場 | 511-0511 藤原町市場137-3 | 10,000 ㎡ | 1階 (バンチ) | 両翼87m | 周囲フェンス及びネッ ト、グリーンストーン | 野球場1面 | 共用50台 | 男女トイレ、観客 席(オープンスタ ンド)、照明設備 あり |

※「駐車場」の欄内中、「共用」とは、ほかの施設の駐車場としても使用するため、一施設で駐車台数が確保されているものではないことを示す。